

昭和47年 3月31日 港湾局長決定  
昭和47年 4月 1日 施 行  
昭和49年 7月 1日 一 部 改 正  
昭和57年 4月 1日 改 正  
平成12年 4月 1日       ”  
平成22年 4月 1日       ”  
平成24年 4月 1日       ”

# 工事記録写真撮影基準

平成24年4月

東京都港湾局

# はじめに

工事記録写真は、施工状況の記録や工事完成後に明視できない箇所の出来形の資料となるもので、施工管理上重要なものの一つとして位置づけられている。

施工管理は、受注者が自らの責任において行うものである。本基準要領では、工種、箇所、撮影時期等を具体的に表示することにより、目的に沿った写真を撮影するとともに適正な施工の確保をも期するものである。

今回の基準、撮影要領の改定では建設局工事記録写真撮影基準(H19.4)、国土交通省港湾工事共通仕様書(H21.4)等との整合性を図り、電子媒体による写真の撮影と整理を行うとともに、工種の掲載順序は港湾局積算基準の掲載順序と同一とした。また、内容は主に港湾土木関係を国土交通省(H21.4)の仕様書にあわせ充実を図った。

なお、港湾工事以外の橋梁(一部)、電線共同溝、街築工等の工種は、建設局の仕様書によることとした。

主な改定内容は次の通りである。

1. 電子媒体による写真の撮影及び整理を原則とした。
2. 撮影要領を全面的に見直し、港湾土木関係は国土交通省港湾工事共通仕様書(港湾局工事写真管理基準)を採用し、掲載順序は港湾局積算基準と同一とした。同仕様書に無い事項は旧基準をそのまま採用し、さらに、橋梁(一部)、電線共同溝、街築工、トンネル工は建設局の仕様書を採用することとした。
3. 建築、電気設備、機械設備の工事については、財務局の基準を準用した。
4. 建設業許可等標識について、施工体系図、施工体制台帳、建設業務許可、労災の標識を追加した。

# 目 次

I 工事記録写真撮影基準	1
第1章 総 則	1
第1節 一般事項	1
1.1.1 目的	1
1.1.2 適用範囲	1
1.1.3 監督員の定義	1
第2節 撮影計画	1
1.2.1 工事記録写真撮影計画書	1
1.2.2 電子媒体	1
第2章 撮影の要点	1
第1節 一般事項	1
2.1.1 撮影要領	1
2.1.2 撮影時期	2
2.1.3 黒板記載事項	2
2.1.4 撮影済みの写真の確認・整理	2
2.1.5 災害、事故等の緊急報告	2
第2節 撮影方法	2
2.2.1 施工位置、区間の確認	2
2.2.2 形状寸法の確認	2
2.2.3 撮影方向	2
2.2.4 拡大撮影	2
2.2.5 重複する被写体の撮影	2
2.2.6 暗部の撮影	2
2.2.7 全景撮影	2
第3章 整理の要点	3
第1節 一般事項	3
3.1.1 写真の色彩及び大きさ	3
3.1.2 工事記録写真帳の形状	3
第2節 整理、提出、保存方法	3
3.2.1 工事記録写真帳の編集	3
3.2.2 写真の説明	3
3.2.3 工事記録写真帳の表紙記入事項	3
3.2.4 工事記録写真帳の提出・部数	4

3.2.5	電子媒体	4
3.2.6	写真及び原本の整理、保存	4
	附則	4
	用語説明	5
	提出書類様式例	6
	写真撮影計画図（記入例）	7
II	工事別撮影要領一覧表	8
1	土木（造園工事含む）	9
(1)	陸上土木	9
	一般事項	9
	材料検査	9
	品質管理	10
	基礎工	11
	法面工	11
	一般構造物	12
	舗装修理工・急速打替	13
	橋梁工	13
	維持修繕・交通安全	14
	河川維持及び養生	15
	公園整備	15
	建設副産物等のリサイクル状況	15
	その他	16
(2)	港湾土木	17
	浚渫・土捨工	17
	海上地盤改良工	21
	基礎工	27
	本体工	31
	被覆・根固工	55
	上部工	59
	付属工	62
	消波工	67
	裏込・裏埋工	69
	埋立工	71
	陸上地盤改良工	74
	土工	77

舗装工	8 0
維持補修工	8 3
構造物撤去工	8 6
仮設工	8 7
雑工	8 9
(3) 撮影の要点及び撮影例	9 1
A. 参考・撮影の要点 (土木)	9 1
B. 参考・撮影例 (土木)	9 9
2 建築、電気設備、機械設備	1 0 9
(1) 共通事項	1 0 9
(2) 建築	1 1 0
(3) 電気設備	1 1 9
(4) 機械設備	1 2 2

## 第1章 総 則

### 第1節 一般事項

#### 1.1.1 目的

この基準は、東京都港湾局が施工する請負工事の監督及び検査の適正化を図るため記録写真の撮影及び整理について基本的な事項を定め、受注者が工事の経過及び施工管理、出来形管理等を適切に記録することを目的とする。

#### 1.1.2 適用範囲

この基準は、東京都港湾局が施工する請負工事に適用する。  
受注者は、この基準に基づき工事記録写真を撮影しなければならない。

ただし、この基準に定めのないものについては、建設局の工事記録写真撮影基準等を参考にし適切に工事の経過等を記録すること。

なお、他基準等を使用する場合は、工事写真撮影計画書にその旨記載するとともに監督員の指示に従い撮影すること。

#### 1.1.3 監督員の定義

この基準において「監督員」とは、東京都工事施工規定第2条第7号に規定する監督員をいう。

### 第2節 撮影計画

#### 1.2.1 工事記録写真撮影計画書

受注者は、標準仕様書に基づき工事記録写真の撮影に先立ち監督員の指示に従い様式甲第109号（別紙様式）により工事写真撮影計画書を提出する。各種構造物の写真撮影計画図（別紙例参照）・機器等の撮影内容表（撮影要領一覧表参照）を添付して提出すること。

ただし、軽微な工事等にあつては、監督員の指示により省略することができる。

#### 1.2.2 電子媒体

受注者は、電子媒体により工事記録写真の撮影・整理することを基本とし、その旨を撮影計画書に明記し、監督員の承諾を得なければならない。

## 第2章 撮影の要点

### 第1節 一般事項

#### 2.1.1 撮影要領

撮影要領は黒板等を被写体とともに写し込み、添尺等の留意点は、撮影要領による。

- 2.1.2 撮影時期 撮影計画を撮影責任者のみでなく工事関係者にもあらかじめ周知させておき、撮影時期を失しないようにすること。特に工事完了後確認することが困難な箇所（水中又は地下に埋没する箇所等）については、目盛の零位点に留意し、規模、構造を明確には握できるようにすること。
- 2.1.3 黒板記載事項 黒板には、工事件名、工種、撮影年月日、必要に応じ測点、設計寸法、実測寸法、説明図、立会者及び検査員等を鮮明に記入すること。
- 2.1.4 撮影済みの写真の確認・整理 撮影済みの映像（電子媒体）は、すみやかに確認すること。確認した写真は、常に工事記録写真帳へ整理し、適時監督員の点検を受けること。
- 2.1.5 災害、事故等の緊急報告 工事中に災害及び事故が発生し、緊急にその状況を報告する必要がある場合は、原則としてデジタルカメラを使用すること。

## 第2節 撮影方法

- 2.2.1 施工位置、区間の確認 撮影区間については、起終点及び中間地点（数点）にポール等を立て位置（測点）の表示を行い撮影すること。
- 2.2.2 形状寸法の確認 構造物等については、付近を整理整頓して、形状寸法、位置等が判別できるように黒板と箱尺、ポール又はリボンロッド等を目的物に添えること。  
この場合において、位置の確認を容易にするため、背景を入れること。
- 2.2.3 撮影方向 撮影は原則として方向を一定にして行うこと。特に、同一箇所を施工の各段階ごとに撮影する必要がある場合は、位置の確認を容易にするため同一背景を画面に入れること。
- 2.2.4 拡大撮影 一部を拡大して撮影する必要がある場合には、その箇所の全景を撮影したのち、拡大撮影する部分の位置が確認できるように撮影すること。
- 2.2.5 重複する被写体の撮影 被写体が重なる等判別が困難な場合は、原則としてその中間に紙等遮へい物を挿入すること。
- 2.2.6 暗部の撮影 夜間及び基礎等暗部の撮影については、照明に注意し、鮮明な映像が得られるようにすること。
- 2.2.7 全景撮影 着手前、完成後、施工状況全景及び船団構成状況等の全景写真はつなぎ写真とすることができる。

# 第3章 整理の要点

## 第1節 一般事項

### 3.1.1 写真の色彩及び 大きさ

写真は、カラーとする。

写真の大きさは、サービスサイズを標準とすること。

なお、全景写真については、キャビネ版又は、パノラマ版とすることができる。また、監督員の指示がある場合及び密着写真とした方が良いもの等はこの限りではない。

### 3.1.2 工事記録写真帳 の形状

工事記録写真帳は市販A-4又は4つ切り版アルバムとする。

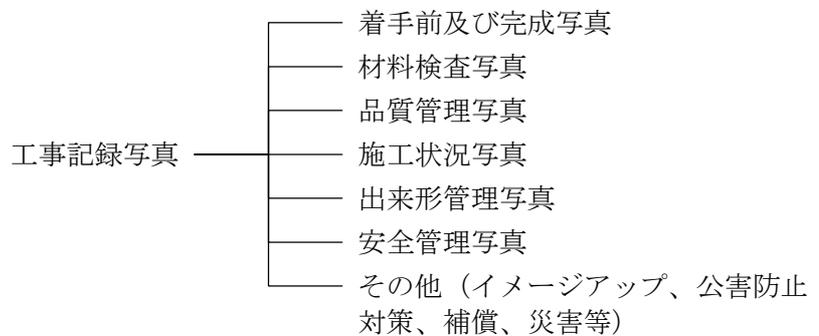
また、電子媒体の場合はA-4版とする。

## 第2節 整理、提出、保存方法

### 3.2.1 工事記録写真帳 の編集

写真は、工事の施工順序に従い、工種ごとに系統だてて各工程各段階毎（着手前、施工状況、出来形管理、完成）に目次をつけ編集すること。ただし、材料検査、安全管理、品質管理は分類し整理すること。

また、連続繰り返し工事等については監督員の指示によりダイジェスト版を作成する。なお、写真の分類は次の通りである。



### 3.2.2 写真の説明

写真画面における黒板等により説明が不十分な場合には、見取り図等などにより補足すること。

### 3.2.3 工事記録写真帳 の表紙記入事項

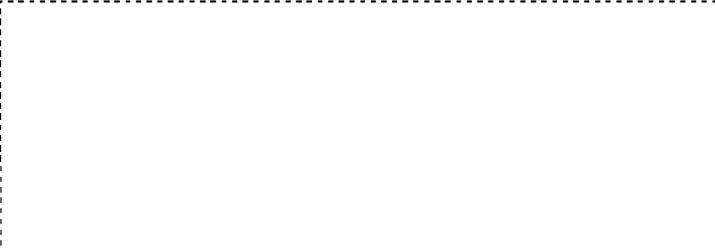
工事記録写真帳の表紙には、施工年度、工事番号、工事件名、工事場所（件名に表示される場合は、省略することができる）、請負社名及び工事担当課を記入すること。なお、工種別に分冊するときには工種を、また2冊以上になるときは一連番号を付記すること。

3.2.4 工事記録写真帳 の提出・部数	工事記録写真帳及び電子媒体は、工事完成時にダイジェスト版と共に各1部提出するものとする。
3.2.5 電子媒体	<p>(1) 電子媒体は、原則としてCD-ROMとしこれ以外の電子媒体の場合については、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>(2) 電子媒体は有効画素数100万画素以上、プリンターはフルカラー600dpi以上とし、インク・用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。</p> <p>なお、記録画像ファイル形式はJPEG形式(非圧縮～圧縮率1/8まで)とすること。</p> <p>(3) 受注者は、電子媒体による工事記録写真の撮影・整理等を行う場合において、監督員の指示があった場合は、その指示のあった工種について、電子媒体以外の通常の撮影手段による撮影・整理等を行わなければならない。</p>
3.2.6 写真及び原本の 整理、保存	<p>工事関係写真の整理及び原本の扱いは次によるものとする。</p> <p>(1) 受注者は、工事過程が容易に把握できるように整理し、必要に応じて目次を設けること。</p> <p>ただし、施工出来形管理と材検、安全、品質管理、その他は、それぞれに分類して整理するものとする。</p> <p>(2) 受注者は、工事関係写真及び原本電子媒体)を工事完了後に整理し、3年間保管し監督員の請求に対し直ちに提出できるよう管理すること。</p> <p>(3) 受注者は、整理・提出する際には、閲覧ソフトを添付すること。</p>
附則	<p>1. 準用規程</p> <p>撮影要領一覧表中の各種構造物・機器等の内容表該当職種に、必要とする区分がない場合は、他職種にある区分を準用するものとする。</p> <p>2. 適用期日</p> <p>この基準は、平成22年4月1日から適用する。</p>

## 用語説明

- 1 CD-ROM : 「シーディーロム」と読む。音楽のCDの基本技術を用いた情報記憶装置。約600MB分の情報を記憶させることができる。外見はCDと同じで、1枚あたりの製造単価が100円程度と安価で、大量のデータの配布に適している。
- 2 MB : M e g a B y t e の略。「メガバイト」と読む。情報の単位。メモリーの場合1Mバイト=1024Kバイトとするのが一般的だが、ディスクの場合は1Mバイト=1000Kバイトとする場合が多い。
- 3 J P E G : J o i n t P h o t o g r a p h i c E x p e r t s G r o u p の略。「JPEG」と読む。この画像形式は、デジタルスチルカメラではポピュラーな形式となっており、多くの機種が画像を記録する際、JPEG形式を採用している。画像の特色は通常なら大きな容量になるフルカラーの写真をほとんど劣化させないでコンパクトなファイル容量にできることである。
- 4 圧縮 (data compression) : データやプログラムなどのサイズを小さくすること。データの圧縮方法は大きく分けて可逆圧縮と非可逆圧縮の2つがある。上記「JPEG」方式は静止画データの非可逆圧縮方式である。
- 5 画素数 (T o t a l P i x e l s) : コンピュータ用の画像入出力機器のドットの数。画像はドット (画素) の集合体として表示されるが、ドットが多いほど綺麗な (細かい) 画像となる。
- 6 dpi : (d o t s p e r i n c h) の略。「ディーピーアイ」と読む。画面やプリンターの解像度を表す単位。1インチ (25.4mm) の間に打てる点 (ドット) の数を示す。この数が多いほど、解像度が高く、よりきめの細かい表現が可能となる。

提出書類様式例



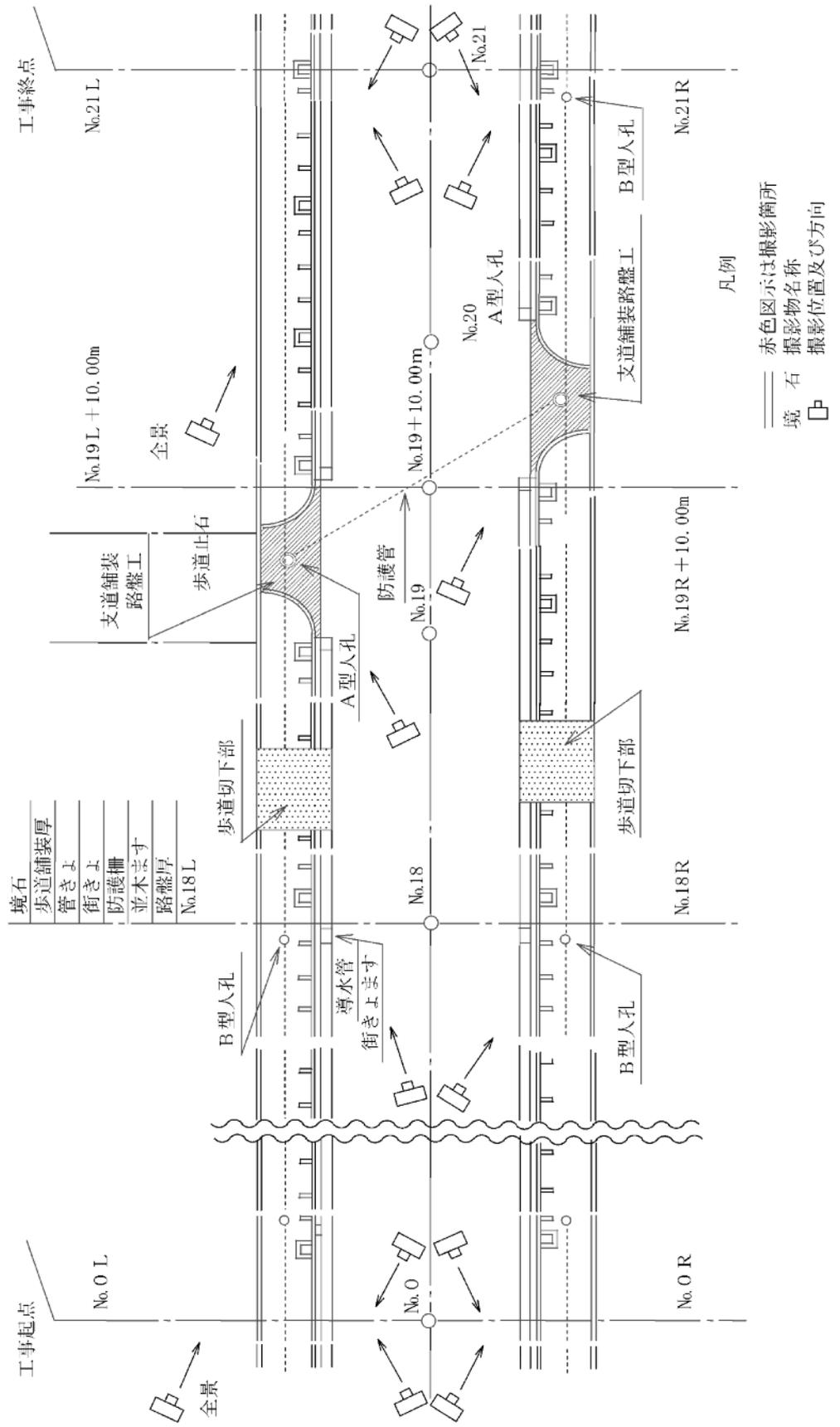
文書番号 (工事番号)	
----------------	--

工事写真撮影計画書	
平成 年 月 日	
(発注者あて)	
殿	
住所	
請負者	
氏名	
(法人の場合は名称及び代表者の氏名)	
現場代理人氏名	
印	
下記工事について別添工事写真撮影計画書を提出します。	

文書番号 (契約番号)			
工 事 作 名			
工 事 場 所			
契 約 金 額	¥ (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥)		
契 約 年 月 日	平成 年 月 日	工 期	

監理業務受託者	事務所名	担当者名	印
---------	------	------	---

写真撮影計画図 (記入例)



## II 工事別撮影要領一覧表

(注意事項)

撮影にあたっては、目的を十分に配慮して撮影すること。

1. 本撮影要領一覧表の撮影箇所及び撮影頻度は、標準を示したものであり、工事内容により必要に応じて増減することができる。
2. 撮影頻度中の1施工単位とは、施工箇所の1ブロックをいう。ただし、1ブロックでも、形状寸法、規格等が変わるごとに1施工単位とする。
3. 同一工法の施工状況写真は、各施工段階を撮影した1サイクル写真とする。
4. 品質管理写真のうち各種試験を公的機関に委嘱する場合は、試験実施状況写真を省略する。

# 1 土木（造園工事含む）

## （1）陸上土木

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
一般事項				
一 般 事 項	施工前及び施工後の全景	同一位置から施工前と施工後を対比できるよう、起終点はポール表示をする。	施工前後	海上は必要により位置浮標等を設置する。 施工体系図 施工体制台帳 建設業務許可 労災の標識 建退共成立の標識等
	仮設物、許認可掲示	現場事務所全景、許認可掲示板	完成時、掲示時	
	工事完了後確認することが困難な箇所等	水中又は地中埋設又は工事施工進捗により、後の確認不可能な箇所	その都度	
	障害物及び発生材等	発生状況、処理状況、形状寸法、位置等	その都度	
	立会確認を要する事項	材料検査、試験、搬入数量確認、支障物接近、埋設物、事故、災害	その都度	
	各種試験及び調査（立会を要しない）	試験調査実施状況、その結果	その都度	
	施工状況	各工種の施工状況を部分、全景を確認できるよう。	その都度	
	施工仮設、重機、作業船 安全管理施設器具	施工、完成、搬入・撤去状況 各種保安・安全標識、施設器具、保安要員、交通整理員、安全訓練、警戒船等状況	完成、搬入、撤去時 設置・配置、実施毎	
	施工、出来形管理 災害及び事故報告	工種、段階完了、寸法確認 工事中災害及び事故の発生、規模数、現場緊急復旧状況	施工段階完了、確認時 その都度	
	図面、契約内容と不一致箇所等 環境対策	図面と現地の不一致内容、形状、数 調査、汚濁防止施設	その都度 調査時、設置撤去時	
材料検査				
材 料 検 査	セメント改良材等袋物材料	材料品名付（全数）、全数量空袋、検査状況	現場搬入時、使用後全量検査時	
	使用材料（袋物以外）	形状寸法、数量、検査試験状況	使用前、検査時	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
品質管理				
品質管理	コンクリート	骨材粒度、スランプ、強度試験、空気量、塩化物量測定	各試験、測定時	骨材は現場練りのみ 1回
	ガス圧接 既製杭工	外観、引張試験、超音波探傷検査 浸透探傷、超音波探傷検査、放射線透過試験	各試験時 各試験時	
	アスファルト合材	骨材粒度、マーシャル配合試験、合材温度測定	各試験、測定時	
	タイロット(タイワイヤ含む)材 路床路盤	形状寸法確認、組立引張試験	確認、試験時	
	盛土材料	粒度密度試験、支持力、ブルーフローリング測定 粒度密度、突固め含水量試験支持力、コーン指数の測定	各試験、測定時 各試験、測定時	
	鋼橋	材料、現場溶接試験、高力ボルト、TC	各試験時、締め付け1橋1回	
	PC橋	ボルト締め付け状況 プレストレス導入状況	導入時、主桁横桁床版毎に1回	
	路上再生路盤工	含水量、粒度、液性塑性限界、CBR試験(材料)、配合試験、アスファルト乳剤及びセメント量、密度、含水量(施工)	試験時、材料毎に1回	
	路上表層再生工	旧アスファルト針入度(材料)密度、再生用添加剤、粒度再生アスファルト量(施工)	材料毎に1回 各確認時	
	防食工材 注)各種試験実施状況は、資料採取状況写真を含む。	材質確認、寸法計量確認		

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
基礎工				
基 礎 工	床付	施工状況、幅、全景	施工後、40m/回又は施 工単位	打込み計測記録用標 示付
	栗石、砕石基礎	施工状況、厚さ、幅、全景	締固め中・後、40m/回又 は施工単位	
	土台木基礎	据付寸法	据付後、40m/回	
	コンクリート基礎	施工状況、厚さ、幅	型枠外し後、40m/回	
	既製杭等	杭の保管状況(全景、枕木、楔、安全 対策)	保管時	
	鋼矢板	杭の吊上げ、積込み、荷卸(積込機械 含む)	作業時	
	鋼杭	杭の運搬状況(荷崩れ防止、運搬状 況)	積込後、到着時	
	鋼管矢板	導材の設置状況(使用機械、構造判明 できるよう)全景	施工中、測定中	
	コンクリート杭	杭の建込み状況、(位置出し吊込み、 建込み)	施工時	
	コンクリート矢板	杭の打込み状況(ハンマ型式打込記 録、飛油騒音対策)全景	施工中、測定中 全数	
	杭頭処理	継杭溶接状況 杭頭処理状況	施工中・後、2方向全数 施工中・後	
	品質管理 出来形確認	規格寸法、測定状況 計測・作業状況	計測時 計測時	
	場所打杭	位置決め、径、掘削深さ・長さ 配筋寸法、径、打込杭頭処理状況	各作業計測時、全数	
	深礎工	径、数量、長さ配筋、ライナープレート 設置状況、土質サンプリング(変化毎)	掘削中・後、測定・採取時、 全数	
	オープンケーソン基礎	刃口、金物 土質サンプリング(変化毎)	製作後、据付後 掘削中	
ニューマチックケーソン基礎	幅(径)、高さ、厚さ、配筋(製作スパン 毎)	設置後、型枠外し後		
鋼管井筒基礎	載荷状況 封鎖コンクリート打設状況 中埋状況	載荷時、基毎 施工時、基毎 施工時、基毎		
法面工				
法 面 工	芝付工 種子吹付	土羽土の厚さ、締固め状況、全景 材料の使用量確認、土羽土の厚さ、施 工状況、全景	施工中、80m/回 混合前1回 施工中、1,000/回	

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
法 面 工	セメント類吹付	清掃状況、ラス、鉄網の重ね合わせ寸法、厚さ(検側孔)全景	作業後、吹付前後 400/回	
	落石防止網	アンカー基礎の形状寸法、アンカーの位置間隔、全景	型枠外し後、寸法変わる 毎、施工後	
	プレキャスト法枠工	施工状況、法長、全景	施工後 100m/回	
	アンカー工	削孔深さ、配置状況、全景	1施工単位回	
一般構造物				
一 般 構 造 物	ブロック積(張)、石積(張)	胴込、裏込厚、法長又は高さ施工状況、全景	施工中・後、40m/回	
	コンクリート法枠工	裏込厚、幅、高さ、厚さ又は法長、施工状況、全景	施工中・後、40m/回	
	コンクリート擁壁工	裏込厚、幅、高さ、厚さ又は法長、施工状況、全景	施工中、型枠外し後40m/ 回	
	プレキャスト擁壁工	据付状況、高さ、全景	埋戻し前、100m/回	
	現場打コンクリートボックス工	幅、高さ、厚さ、施工状況、全景	型枠外し後、100m/回	
	プレキャストボックス工	据付状況、高さ、全景	埋戻し前、100m/回	
	街きょ工、境石工	幅、高さ、厚さ、施工状況、全景	施工後、40m/回 300m以上、60m/回	
	L型、LO型、U型	幅、高さ、厚さ、施工状況、全景	施工後、40m/回 300m以上、60m/回	
	歩道止石工	幅、高さ、厚さ、施工状況、全景	施工後、40m/回 300m以上、60m/回	
	並木ます工	形状寸法、施工状況、全景	施工後	
	管きょ工	基礎及び砂埋戻し、配管、取付状況、全量	施工後、据付後、人孔間1 箇所	
	導水管工	基礎及び本館、榫接続状況	据付後、1/5箇所	
	集水ます工	基礎、幅、高さ、厚さ施工状況	施工後、1/5箇所	
	人孔工	基礎、幅、高さ、厚さ施工状況	施工後、1/3箇所	
	汚水管工	基礎及び本管、榫接続状況	施工後、人孔間1箇所	
	汚水ます工	基礎、幅、高さ、厚さ施工状況	施工後、人孔間1箇所	
	防護管きょ工	基礎、据付、コンクリート打設状況、全景、幅、高さ、厚さ	巻立前・後、40m/回	
	コンクリート側溝工	基礎、コンクリート打設状況、全景、幅、深さ、厚さ	型枠外し後、40m/回	

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
舗装修理工・急速打替				
舗 装 修 理 工 ・ 急 速 打 替	表層、アスファルト舗装工	動的安定度、現場透水量、すべり抵抗 値試験、全景	各試験毎	
	取り壊し工	既設舗装厚さ測定	取り壊し中 施工回毎	
	路盤工	床付整正、敷均し、転圧状況、厚さ、 幅、計測各層毎、全景	整正後、施工中 各層施工毎、又は60m/回	
	アスファルト舗装工	タック・プライムコート、合材敷均し、転 圧状況 厚さ・幅転圧後計測、全景	散布完了後、施工中各層 毎施工日に1回 転圧完了後各層毎施工日 に1回、又は60m/回	
	路上再生路盤工	施工継ぎ目(横断断層) 抜き取りコア厚さ、平坦性測定全景 敷均し厚、転圧・整正状況 厚さ、全景	床付完了時各層毎施工日 に1回 コア全数、実施中 施工中各層毎500m/回 整正後各層毎200m/回	
路上表層工	整正状況、全景	散布時各層毎200m/回		
橋梁工				
橋 梁 工	下部工躯体 PC橋(ポステン桁)	幅、厚さ、高さ、測定全景 シーす、PC鋼線配置状況 幅、厚さ、高さ、仕上り面 中詰及びグラウト状況	型枠外し後基/回 打設前桁毎に1回 型枠取外し後桁毎に1回 施工中、スパンに1回	
	鋼橋工場製作	原寸、工作状況、検査(確認時) 仮組立寸法、計測状況	施工中1橋に1回又は工事 に1回 仮組立検査時1橋に1回 又は1工事に1回	
	床版	配筋、厚さ(下、上かぶり) 組立後、全景 ケレン状況(鋼桁との接触面伸縮装置 取付状況	打設前・中・後 1スパンに1回、主桁間1箇 所以上 施工中、適時 取付後、適時	
	防水橋面舗装	施工状況	施工後、各層毎	
	塗料	出来高(全景、厚さ)測定 ケレン(塗替)、塗装状況 材料仕様書(塗装缶)確認	施工後、各層毎 施工前・中・後スパン毎 部材別、層毎 使用前後、全量	

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
橋 梁 工	架設	塗膜厚測定 搬入、支承取付状況  桁架設状況	各層毎スパンに1回 搬入、取付時 (1スパンに1回) 架設中、架設工法変わる 毎に1回	
	桁、支承、ボルト、溶接	ボルト締付、溶接	確認時	
	親柱工	基礎コンクリート形状寸法 全景	各柱毎	
	橋灯工	基礎建込み、配管(線) 取付状況全景	適時	
	高欄工	アンカーボルト、組立取付状況、全景	適時	
	排水工	排水管、固定、柵、グレーチング取付 状況	適時	
	アスファルト舗装	局部打換、パッチング、施工状況、全 景	施工前・中・後、施工日に1 回	
維持修繕・交通安全				
維持 修 繕 ・ 交 通 安 全	路面切削	施工状況、深さ	施工前後、60m/回	
	道路除草	施工状況、全景	施工前後、1回	
	防護柵類(新設、修理)	基礎幅、深さ、施工状況、全景	施工前後、施工単位毎	
	標識類(新設、修理)	基礎幅、深さ、施工状況、全景	施工前後、基礎毎 5箇所につき1回	
	照明灯類	基礎幅、深さ、施工状況、全景 5箇所につき1回	施工前後、基礎毎	
	CCBOX特殊部	施工中基礎状況、据付状況	施工中、3箇所につき1カ 所	
	CCBOX管路部	布設状況、全景	施工中・後、50m/箇所	
	清掃(路面)	施工状況、全景	施工前後、コース毎、1施 工単位に1回	
	清掃(側柵)	施工状況、全景	施工前後、1施工単位に1 回	
	清掃(ガードレール)	施工状況、全景	施工前後、コース毎、1施 工単位に1回	
	区画線路面表示	施工状況、全景	施工前後、施工日に1回	
	街路樹(植樹、補強補植等)	材料使用量確認、全景	施工前後、全数	
	街路樹(剪定)	施工状況、全景	施工前後、適時	
街路樹(薬剤散布、施肥)	施工状況、全景	施工前・中・後 施工単位2回		

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
維持補修・交通安全	除雪	施工状況、機種、全景	全数量 施工前・中・後 コース毎施工時に1回 機種毎、施工日に1回	
	凍結防止剤散布	施工状況、材料使用量、全景	施工中、使用前後 全量	
河川維持及び養生				
河川養生維持及び	河川除草	施工状況、除草処理状況	施工前・後 200m/回	
	除草及び集草処理	施工状況、除草処理状況	施工前・中・後 200m/回	
	除草剤散布	施工状況、材料使用量	施工前・後 200m/回 全景	
公園整備				
公園整備	遊戯施設(砂場、遊器具、彫刻等)	基礎及び配筋コンクリート 寸法、出来高、全景	施工後、箇所毎	
	休養施設(屋外卓、ベンチ等)	基礎及び配筋コンクリート 寸法、出来高、全景	施工後、1/20基	
	管理施設(擬木柵、波柵、パイプ柵等)	基礎及び配筋コンクリート 寸法、出来高、全景	施工後、100m毎	
	その他(標識類、水飲、くずかご、吸殻入れ等)	基礎及び配筋コンクリート 寸法、出来高、全景	施工後、1/20基	
	給水施設(管路等)	根切、布設状況 標杭設置状況	施工後、1/50m 施工中、1/5本	
	建柱工事(照明灯等)	基礎、建込施工状況、出来高	施工中、1/5本	
	地中電線路等	ケーブル等埋設、標杭設置状況	施工中、1/50m, 1/5本	
	地中埋設物(柵類等)	施工状況	施工中、1/5箇所	
建設副産物等のリサイクル状況				
建設状況副産物等のリサイクル	建設発生土	運搬状況、運搬経路 現場内利用状況、工事間利用状況、 ストックヤード状況受入地状況(再資源化施設等を含む)	運搬中適宜 処理中適宜	
	建設廃棄物	運搬状況、運搬経路 現場内利用状況、工事間利用状況、 再資源化施設状況、最終処分場状況 (直接最終処分の場合)	運搬中適宜 処理中適宜	

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
建設副産物等のリサイクル状況	緑のリサイクル	運搬状況、運搬経路 現場内利用状況、工事間利用状況、 再資源化施設状況、最終処分場状況 (直接最終処分の場合)	運搬中適宜 処理中適宜	
	現場での分別の状況	現場内・現場事務所等における建設発生土、建設廃棄物及び一般廃棄物の分別状況、収集状況	処理中適宜	
	再生資源の利用状況	再生砕石、再生アス混、改良土、粒状改良土、流動化処理土、メロレンガ、コンクリート塊、建設泥土等の再生資源の利用状況	使用状況適宜	
	<p>注意1) 運搬状況の撮影に当たっては、積込状況、土質、運搬車両のナンバープレート等が確認できるように行うこと。</p> <p>注意2) 運搬経路の撮影に当たっては、主要な交差点や幹線道路等が確認できるように行うこと。</p> <p>注意3) 現場内利用や工事間利用状況の撮影に当たっては、利用工事の確認ができるように背景が確認できるものとする事。 (ストックヤードも同様)</p> <p>注意4) 再資源化施設状況や最終処分状況の撮影に当たっては、原則として施設名称等が確認できるように行うこと。</p> <p>注意5) 建設副産物等のリサイクルの状況写真については、他の工種で撮影した写真と兼ねることができる</p>			
その他				
その他	段階確認、施工状況、立会施工	実施状況	実施中 各項目毎に1回	
	補償関係	損害又は損害状況	(発生前)、発生時、発生後 ※( )は可能な場合	
	災害写真	被災状況及び被災規模	(発生前)、発生時、発生後 ※( )は可能な場合	
	環境対策・イメージアップ等	各種施設設置状況	設置後各種類毎1回	

(2) 港湾土木

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備考
浚渫・土捨工	1 節 浚渫・土捨工			
	1. ポンプ浚渫	1. 施工管理	現地搬入前、現地搬入時	全景及び数量が判明
	1) ポンプ浚渫	使用船舶機械等（作業現場）	施工中	できるよう背景を入れる（警戒船含む）
		位置測量（浚渫位置測量状況）	測量時、作業中	法線又は区域標識を入れる
	施工状況（浚渫状況）	浚渫作業時、作業船毎	浚渫位置が判明できる背景を入れる	
	施工状況（排砂状況）	排砂時		
	施工状況（中継船設置・撤去）	設置撤去の作業時		
	障害物除去（障害物積込状況）	積込時		
	障害物除去（運搬船に積込まれた状態）	積込完了時、運搬毎適宜	運搬個数が判明、或いは障害物の大きさが判明できるようテープ等を同時撮影、など	
	障害物除去（障害物捨込状況）	捨込時	障害物の状況に応じ撮影	
	処理場搬入状況			
	海洋汚染防止対策（形状寸法、設置撤去状況）	施工前、施工中		
	余水吐濁り防止処置状況	設置後、撤去後	全景は位置が判明できる背景を入れる	
	2. 出来形管理			
	出来形の確認（測定状況）	測量作業時		
	測定、障害物撤去確認作業状況	測量確認時		
	障害物撤去確認磁気探査状況	調査時		
	3. 品質管理			
	土質調査状況	浚渫作業時	位置・深度・層を明示	
	水質調査状況	調査時		
	2) 排砂管設備			
	1. 施工管理			
	排砂管設備（排砂管、零号等設置撤去）	布設撤去の作業時	設置状況が判明できるように撮影	
2. グラブ浚渫工				
1) グラブ浚渫	1. 施工管理			

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
浚 渫 ・ 土 捨 工		使用船舶機械等（作業現場）	現地搬入前または現地搬入時	<p>全景及び数量が判明できるように撮影法線または区域標識を入れる。</p> <p>船団の配置及び浚渫位置が判明できるように背景を入れる</p> <p>位置、深度または層を明記</p> <p>運搬個数が判明、或いは障害物の大きさが判明できるようテープ等を同時撮影、など</p> <p>障害物の状況に応じ撮影</p> <p>全景は位置が判明できる背景を入れる</p> <p>位置・深度・層を明示</p> <p>運搬経路が判明できるように背景を入れる</p> <p>土捨区域を明示</p> <p>全景及び数量が判明</p>	
		位置測量（浚渫位置測量状況）	測量時		
		施工状況（浚渫状況）	浚渫作業時、作業船毎		
		施工状況（土質状況）	浚渫作業時		
		障害物除去（障害物積込状況）	積込時		
		障害物除去（運搬船に積込まれた状態）	積込完了時、運搬毎適宜		
		障害物除去（障害物捨込状況） 処理場搬入状況	捨込時 処理場搬入時全量 処理施設全量		
		海洋汚染防止対策（形状寸法、設置撤去状況）	施工前、施工中		
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測量作業時		
		測定、障害物撤去確認作業状況 障害物撤去確認磁気探査状況	測量確認時 調査時		
		3. 品質管理 土質調査状況 水質調査状況	浚渫作業時 調査時		
		2) 土運船運搬 1. 施工管理 土砂の運搬状況（運搬時積載状況） 土砂捨場状況	土砂運搬時 土船毎、土捨場位置明示		
		3. 揚土土捨工 1) バージアン ローダ揚土	1. 施工管理 使用船舶機械等（作業現場）		現地搬入前または現地

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
浚 渫 ・ 土 捨 工	2) 空気圧送揚土 3) リクレーマ揚土 4) バックホウ揚土	バージアンローダ揚土、空気圧送揚土（排砂状況）  海洋汚染防止対策  リクレーマ揚土、バックホウ揚土（土砂の揚土状況）	搬入時 排砂時  余水吐における濁り防止処置、設置及び状態  揚土作業時	できるように撮影  図面及び特記仕様書（以下：「特」という）の内容に対応させる
	4. 硬土盤浚渫工 1) 硬土盤浚渫	1. 施工管理 使用船舶機械等（作業現場）  位置測量（浚渫位置測量状況）  施工状況（浚渫状況）  施工状況（土質状況）  障害物除去（障害物積込状況） 障害物除去（運搬船に積込まれた状態）  障害物除去（障害物捨込状況）	現地搬入前または現地搬入時 測量時  浚渫作業時、作業船毎  浚渫作業時  積込時 積込完了時、運搬毎適宜  捨込時	全景及び数量が判明できるように撮影 法線または区画標識を入れる  船団の配置及び浚渫位置が判明できるように背景を入れる 位置、深度または層を明記  運搬個数が判明、或いは障害物の大きさが判明できるようテープ等を同時撮影、など 障害物の状況に応じ撮影
	2) 土運船運搬	1. 施工管理 土砂の運搬状況（運搬時積込状況）	土砂運搬時	運搬経路が判明できるように背景を入れる
	5. 岩盤浚渫工 1) 砕岩浚渫	1. 施工管理 使用船舶機械等（作業現場）	現地搬入前または現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備考
浚 渌 ・ 土 捨 工	2) 土運船運搬  6. バックホー浚渌工 1) バックホー浚渌	位置測量（浚渌位置測量状況）	測量時	法線または区画標識を入れる
		施工状況（浚渌状況）	浚渌作業時、作業船毎	船団の配置及び浚渌位置が判明できるよう背景を入れる
		施工状況（土質状況）	浚渌作業時	位置、深度または層を明記
		障害物除去（障害物積込状況）	積込時	運搬個数が判明、或いは障害物の大きさが判明できるようテーブル等を同時撮影、など
		障害物除去（運搬船に積込まれた状態）	積込完了時、運搬毎適宜	
		障害物除去（障害物捨込状況）	捨込時	全景は位置が判明できる背景を入れる
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測量作業時	全景は位置が判明できる背景を入れる
		1. 施工管理 土砂の運搬状況（運搬時積載状況）	土砂運搬時	運搬経路が判明できるよう背景を入れる
		1. 施工管理 使用船舶機械等（作業現場）	現地搬入前または現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影
		位置測量（浚渌位置測量状況）	測量時	法線または区画標識を入れる
		施工状況（浚渌状況）	浚渌作業時、作業船毎	船団の配置及び浚渌位置が判明できるよう背景を入れる
		施工状況（土質状況）	浚渌作業時	位置、深度または層を明記
		障害物除去（障害物積込状況）	積込時	運搬個数が判明、或いは障害物の大きさが判明できるようテーブル等を同時撮影、など
		障害物除去（運搬船に積込まれた状態）	積込完了時、運搬毎適宜	

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
浚 渌 ・ 土 捨 工	2) 土運船運搬	<p>障害物除去（障害物捨込状況）</p> <p>2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）</p> <p>1. 施工管理 土砂の運搬状況（運搬時積載状況）</p>	<p>捨込時</p> <p>測量作業時</p> <p>土砂運搬時</p>	<p>障害物の状況に応じ 撮影</p> <p>全景は位置が判明で きる背景を入れる</p> <p>運搬経路が判明でき るよう背景を入れる</p>
海 上 地 盤 改 良 工	<p>2節 海上地盤改良工</p> <p>1. 床掘工</p> <p>1) ポンプ床掘</p> <p>2) グラブ床掘</p> <p>3) 硬土盤床掘</p> <p>4) 砕岩床掘</p> <p>5) バックホー床掘</p>	<p>1. 施工管理 使用船舶機械等（作業現場）</p> <p>床掘（床掘位置測量状況）</p> <p>床掘（中継船設置、撤去）</p> <p>床掘（床掘状況）</p> <p>障害物除去（障害物積込状況）</p> <p>障害物除去（運搬船に積込まれた状 態）</p> <p>障害物除去（障害物捨込状況）</p> <p>2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）</p> <p>1. 施工管理 使用船舶機械等（作業現場）</p> <p>床掘（床掘位置測量状況）</p> <p>床掘（床掘状況）</p>	<p>現地搬入前または現地 搬入時</p> <p>測量時</p> <p>設置撤去の作業時</p> <p>浚渌作業時、作業船毎 積込時</p> <p>積込時</p> <p>積込完了時、運搬毎適宜</p> <p>捨込時</p> <p>測量作業時</p> <p>現地搬入前または現地 搬入時</p> <p>測量時</p> <p>床掘作業時、作業船毎</p>	<p>全景及び数量が判明 できるように撮影 法線又は区域標識を 入れる</p> <p>床掘位置が判明でき る背景を入れる</p> <p>運搬個数が判明、或い は障害物の大きさが 判明できるようテー プ等を同時撮影、など 障害物の状況に応じ 撮影</p> <p>全景は位置が判明で きる背景を入れる</p> <p>全景及び数量が判明 できるように撮影 法線又は区域標識を 入れる</p> <p>船団の配置及び床掘 位置が判明できる背 景を入れる</p>

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備考
海上 地盤 改良 工	2. 排砂管設備工  3. 土運船運搬工  4. 揚土土捨工 1) バージアン ローダ揚土 2) 空気圧送揚土 3) リクレーマ揚土 4) バックホウ揚土  5. 置換工 1) 置換材 2) 置換材均し	障害物除去（土質状況）	床掘作業時	位置、深度又は層を明記
		障害物除去（障害物積込状況）	積込時	同上
		障害物除去（運搬船に積込まれた状態）	積込完了時、運搬毎適宜	運搬個数が判明、或いは障害物の大きさが判明できるようテープ等を同時撮影、など 障害物の状況に応じ撮影
		障害物除去（障害物捨込状況）	捨込時	
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測量作業時	全景は位置が判明が判明できる背景を入れる
		1. 施工管理 排砂管設備（排砂管、零号等設置撤去）	布設撤去の作業時	設置状況が判明できるように撮影
		1. 施工管理 土砂の運搬状況（運搬時積載状況）	土砂運搬時	運搬経路が判明できる背景を入れる
		1. 施工管理 使用船舶機械等（作業現場）	現地搬入前または現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影
		バージアンローダ揚土、空気圧送揚土（排砂状況） 海洋汚染防止対策	排砂時	
		リクレーマ揚土、バックホウ揚土（土砂の揚土状況）	揚土作業時	「特」の内容に対応させる
		1. 施工管理 使用船舶機械等（運搬船舶機械）	投入時	全景が判明できるように撮影
		使用船舶機械等（均し船舶機械）	均し作業時	均し用具は、作業前に撮影
その他（海洋汚染防止対策）	対策を講じた時			
その他（飛砂防止対策）	対策を講じた時			

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
海上地盤改良工		2. 品質管理 材料の確認 (材料)	現地搬入時 (種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	全景について、位置が判明できる背景を入れる	
		材料の確認 (品質試験状況)	試験時		
		3. 出来形管理 出来形の確認 (測定状況)	測定時		
	6. 圧密・排水工				
	1) サンドドレーン	1. 施工管理 使用船舶機器等 (杭打船舶機械)	組立完了後船舶機械毎打設		
		使用船舶機器等 (記録計器)	打設時		
		使用船舶機器等 (測量櫓等)	測量中、櫓等毎		
		使用船舶機器等 (砂運搬船舶機械)	運搬中		
		2. 品質管理 材料の確認 (材料)	現場搬入時 (種類、品質及び形状寸法の異なる時)		
		材料の確認 (品質試験状況)	試験時		
2) 敷砂	1. 施工管理 使用船舶機械等 (運搬船舶機械)	投入時	全景が判明できるように撮影 均し用具は作業前に撮影		
3) 敷砂均し	使用船舶機械等 (均し船舶機械)	均し作業時			
	その他 (海洋汚染防止対策)	対策を講じた時			
	その他 (飛砂防止対策)	対策を講じた時			
	2. 品質管理 材料の確認 (材料)	現場搬入時 (種類、品質及び形状寸法の異なる時)			
	材料の確認 (品質試験状況)	試験時			
	3. 出来形管理 出来形の確認 (測定状況)	測定時			
4) 載荷土砂	1. 施工管理		全景は、位置が判明できる背景を入れる		

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
海上 地盤 改良 工		使用船舶機械等（砂運搬船、機械）	運搬時、船舶機械毎	
		使用船舶機械等（排砂管設備）	敷設時、排砂中	
		使用船舶機械等（浚渫船（採取船））	浚渫中	
		その他（海洋汚染防止対策）	対策を講じた時	
		2. 品質管理		
		材料の確認（材料）	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	
	材料の確認（品質試験状況）	試験時		
	3. 出来形管理			
	出来形の確認（測定状況）	測定時		
	5) ペーパードレーン	1. 施工管理		
	使用船舶機器等（杭打船舶機械）	組立完了後船舶機械毎打設		
	使用船舶機器等（記録計器）	打設時		
使用船舶機器等（測量櫓等）	測量中、櫓等毎			
使用船舶機器等（砂運搬船舶機械）	運搬中			
2. 品質管理				
材料の確認（材料）	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる時）			
材料の確認（品質試験状況）	試験時			
6) グラベルマット	1. 施工管理			
使用船舶機械等（運搬及び均し（船舶）機械）	作業時			
施工状況（碎石投入状況）	投入時、規格毎及び作業機規格及び作業機械・船舶毎			
施工状況（碎石均し状況）	同上			
その他（海洋汚染防止対策）	対策を講じた時			
2. 品質管理				
材料の確認（材料）	現場搬入時（種類、品質			

全景について、位置が判明できる背景を入れる

全景が判明できるように撮影  
均し用具は作業前に撮影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
海上地盤改良工	7. 締固工	材料の確認（品質試験状況） 3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	及び形状寸法の異なる 毎） 試験時  測定時	全景は位置が判明で きる背景を入れる
	1) サンドコンパクションパイル	1. 施工管理 使用船舶機器等（杭打船舶機械）  使用船舶機器等（記録計器） 使用船舶機器等（測量檣等） 使用船舶機器等（砂運搬船舶機械） 2. 品質管理 材料の確認（材料）  材料の確認（品質試験状況）	組立完了後船舶機械毎 打設時 打設時 測量中、檣等毎 運搬中  現場搬入時（種類、品質 及び形状寸法の異なる 毎） 試験時	
	2) 盛上土砂撤去	1. 施工管理 使用船舶機器等  施工状況（撤去状況） その他（海洋汚染防止対策） 2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	施工時  撤去中 対策を講じた時  測定時	使用機械器具が判明 できるように撮影
	3) 敷砂	1. 施工管理	施工前、投入時	全景、背景がわかるよう撮影（警戒船含む）
	4) 敷砂均し	使用船舶機械等（運搬船舶機械）	施工前、均し作業時	”
		使用船舶機械等（均し船舶機械）	施工前、均し作業時	”
		その他（海洋汚染防止対策）	対策を講じた時	均し用具は作業前に
		その他（飛砂防止対策）	対策を講じた時	形状寸法が判明でき
		2. 品質管理	現場搬入時（種類、品質	るよう撮影
		材料の確認（材料）	及び形状寸法の異なる 時）	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考		
海上地盤改良工	8. 固化工	材料の確認（品質試験状況）	試験時	全景は位置が判明できる背景を入れる  作業船団の全景を撮影	
	1) 深層混合処理杭	3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時		
		1. 施工管理 使用船舶機器等（改良船、材料運搬船、潜水土船、引船、揚錨船） 施工状況（測量櫓設置、撤去状況）	搬入時、船舶機械毎 艀装後、施工中 測量櫓設置時、改良船位誘導時		
		施工状況（障害物撤去状況）	障害物調査、撤去時		
		施工状況（改良杭打設状況）	試験杭打時、作業時		
		施工状況（海洋汚染防止対策、形状寸法）	対策を講じた時		
		施工状況（改良船計器類（代表的計器））	計測時		
		2. 品質管理 材料の確認（固化材料、全量） 材料の確認（品質管理試験状況）	現場搬入時、材料毎 試験時、試験種類毎		
		2) 盛上土砂撤去	1. 施工管理 使用船舶機器等（使用船舶、機械等）		施工時
			施工状況（撤去状況） その他（海洋汚染防止対策）		撤去中 対策を講じた時
		3) 事前混合処理	2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）		測定時
	1. 施工管理 使用船舶機器等（主要船舶機械）		搬入時、船舶機械毎		
材料の貯蔵（貯蔵状況）	貯蔵時				
プラントの設備（全景及び細部） 施工状況（混合処理状況）	施工時 混合作業時				

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
海上地盤改良工	4) 敷砂 5) 敷砂均し	施工状況（処理土運搬状況） 施工状況（処置土投入状況） 2. 品質管理 材料の確認（固化材料） 材料の確認（品質管理試験状況） 1. 施工管理 使用船舶機械等（運搬船舶機械） 使用船舶機械等（均し船舶機械） その他（海洋汚染防止対策） その他（飛砂防止対策） 2. 品質管理 材料の確認（材料） 材料の確認（品質試験状況） 3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	運搬時 投入時 現場搬入時、材料毎 試験時、試験種類毎 施工前、投入時 施工前、均し作業時 対策を講じた時 対策を講じた時 現場搬入時（種類、品質 及び形状寸法の異なる 時） 試験時 測定時	全景、背景がわかるよ う撮影（警戒船含む） 〃 均し用具は作業前に 形状寸法が判明でき るように撮影 全景は位置が判明で きるよう背景を入れ る入れる
基礎工	3節 基礎工 1. 基礎盛砂工 1) 盛砂 2) 盛砂均し	1. 施工管理 使用船舶機械等（運搬船舶機械） 使用船舶機械等（均し船舶機械） その他（海洋汚染防止対策） 2. 品質管理 材料の確認（材料） 材料の確認（品質試験状況） 3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	投入時 均し作業時 対策を講じた時 現場搬入時（種類、品質 及び形状寸法の異なる 毎） 試験時 測定時	全景が判明できるよ うに撮影 均し用具は、作業前に 撮影 全景は、位置が判明で きる背景を入れる

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
基 礎 工	2. 洗掘防止工工	1. 施工管理 マット類の確認（補強材セット状況） マット類の確認（アスファルトコンクリート打設状況） マット類の確認（搬入仮置） マット類の確認（アンカー取付、加工） マット類の確認（運搬） 敷設状況（敷設状況と使用船舶機械）	作業中、完了時  アスファルトコンクリート打設時 搬入仮置時 取付加工時  運搬時 敷設時	作業状況が判明できるように撮影
		2. 出来形管理 出来形の確認（敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認）	敷設完了時	確認箇所が判る背景を入れる
	3. 基礎捨石工	1. 施工管理 準備、仮設（ストックヤード、仮設道路等） 陸上運搬（ストック、積込み、運搬状況）  捨石投入状況（潜水夫指示状況） 捨石均し状況（潜水夫作業状況）	仮設道路、ストックヤード使用前後 運搬時  投入時、捨石規格毎及び作業船種毎 規格及び作業船種毎	使用機械作業状況等が判明できるように撮影 確認箇所が判る背景を入れる 確認箇所が判る背景を入れる
	1) 基礎捨石			
	2) 捨石本均し			
	3) 捨石荒均し			
		2. 品質管理 材料試験（試験状況）  材料の確認（産地・規格・捨石寸法・数量）	試験時  搬入時、規格毎、各船毎	公的機関が実施する場合は省略できる スタッフ、テープ等を同時撮影
		3. 出来形管理 出来形確認（測量状況）	測量作業時、規格毎	全景が判るように撮影
	4. 袋詰コンクリート工	1. 施工管理 使用船舶機械等（使用船舶、機械等）  コンクリート袋詰状況 設置状況	施工時  施工時 施工時	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備考
基 礎 工	5. 基礎ブロック工 1) 基礎ブロック製作	2. 出来形管理 出来形の確認（出来形寸法等の測定 状況、設置（積上）状態）	出来形測定時	
		1. 施工管理 ヤード等（ヤード及び設備）	着工時全景	ヤード全景及び設備 が判明できるように 撮影
		使用船舶機械等（クレーン等）	作業時	使用する機械等の種 類が判明できるよう に撮影
		函台（製作函台） コンクリート養生状況	着工時 養生中適時	
		2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及 び養生状況）	試験時、養生時	但し、JIS 工場の場合 は省略
		強度試験状況	試験時	設計基準強度の撮影 は $\sigma 28$ のみ
		現場試験（スランプ、空気量、温度 測定状況）	供試体作成時	
		3. 出来形管理 鉄筋（組立てかぶり）	組立完了時	組立完了状況が判明 できるように撮影
		鉄筋（組立て（底板）） 鉄筋（組立て（フーチング）） 鉄筋（組立て（外壁、隔壁）） 鉄筋（組立て（ハンチ部、吊筋等）） 鉄筋（組立て（かぶり））	組立段階確認時 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 上段 組立段階確認時 各層 組立段階確認時	鉄筋と型枠の間隔が 判明できるよう撮影
		型枠（組立完了）	組立確認時	函台、函台の平坦性 （敷砂等）及び剥離材 （ルーフィング等）敷 設状況の撮影
コンクリート（形状寸法、外観） 完成（完成品）	打設時 完成時	番号等を入れて撮影 個数が確認できれば 1枚に複数枚入れて 撮影（全個数確認必要 枚数撮影）		
完成（仮置状況）	仮置時	積重ね段数が判明で きるように撮影		

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
基 礎 工	2) 基礎ブロック据付	1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、台船等）	作業時	使用する船舶機械等 が判明できるように 撮影 据付作業が判明でき るように撮影
		据付作業（据付作業状況）	据付時	
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	目地測定時及び法線出 入りの測定時	
	6. 水中コンクリート工	1. 施工管理 打設（打設状況） 打設用機械器具等（打設状況）	施工時 施工時	据付の全体が判明で きるように撮影
		2. 出来形管理 出来形の確認（出来形寸法等の測定 状況）	出来形測定時	
		7. 水中不分離コンクリ ート	1. 施工管理 打設（打設状況） 打設用機械器具等（打設状況）	
	2. 品質管理 各種試験（スランプフロー、圧縮強 度、懸濁物質等の試験状況）		試験時	
3. 出来形管理 出来形の確認（出来形寸法等の測定 状況）	出来形測定時			

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	4節 本体工 1. ケーソン製作工 1) ケーソン製作用台船	1. 施工管理 使用船舶機械等（フローティングドック、引船、起重機船、運搬船、クレーン運搬機械等） ヤード等（ヤード及び設備）	作業時 着工時全景	使用する船舶、機械の種類が判明できるように撮影 ヤード全景及び設備が判明できるように撮影
	2) 底面	1. 施工管理 函台（製作函台）作業状況	着工時及び作業時	函台、函台の平坦性（敷砂等）及び剥離材（ルーフィング等）の敷設状況全景の撮影
	3) マット	1. 施工管理 摩擦増大用マット類の確認（補強材セット状況） 摩擦増大用マット類の確認（アスファルトコンクリート打設状況） 摩擦増大用マット類の確認（搬入仮置） 摩擦増大用マット類の確認（アンカー取付・加工） 摩擦増大用マット類の確認（運搬） 摩擦増大用マット敷設状況（敷設状況と使用船舶機械）	作業中、完了時 アスファルトコンクリート打設時 搬入仮置時 取付加工時 運搬時 敷設時	作業状況が判明できるように撮影
	4) 支保	2. 品質管理 材料の試験測定状況（マット、アンカー形状寸法） 3. 出来高管理 摩擦増大用マット出来高の確認（敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認） 1. 施工管理 型枠（製作及び大組製作の状況） 型枠（組立状況） 型枠（取外し状況）	試験測定時 敷設完了時 製作時 組立時 取外し時	確認箇所が判る背景を入れる 内枠、外枠、隔壁の

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	5) 足場	型枠（型枠清掃状況）	清掃時	取外し状況を撮影
		足場（組立て）	組立時	内足場及び外足場の組立状況（全景）を撮影
		足場（昇り足場、壁継ぎ、足場スペース）	組立時	足場の構造、安全ネット等（全景）が判明できるように撮影
		足場（解体状況）	解体時	
	6) 鉄筋	1. 施工管理		
		棒鋼（保管状況）	荷卸し後、加工組立後、製作スパン毎	まくら木の配置、覆いの状態等
		鉄筋（保管状況）	加工後、製作スパン毎	同上
		鉄筋（組立て及び結束）	組立時、製作スパン毎	組立、結束状態が確認
		鉄筋（吊筋）	取付後、製作スパン毎	
		2. 出来形管理		
		鉄筋組立状況（底版、フーチング）	組立段階確認時、完了時	組立完了状況（数量、寸法、間隔）が判明できるように撮影
		鉄筋組立状況（外壁（側壁）、隔壁） 鉄筋組立状況（ハンチ部、吊筋等） 鉄筋組立状況（かぶり、重ね継）	各層組立段階確認時 上段組立段階確認時 各層組立段階確認時	鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影
	7) 型枠	1. 施工管理		
		型枠（製作及び大組製作状況）	製作時、製作スパン毎	
		型枠（組立状況）	組立時、製作スパン毎	
型枠（取外し状況）		取外し時、製作スパン毎	内枠、外枠、隔壁の取外し状況を撮影	
型枠（型枠清掃状況）		清掃時、製作スパン毎		
2. 出来形管理				
型枠組立（底版、フーチング）	組立段階確認時	組立完了状況（寸		

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	8) コンクリート		法) が判明できるように撮影、製作スパン毎
	型枠組立 (外壁 (側壁)、隔壁)	各層組立段階確認時	
	型枠組立 (ハンチ部)	上段組立段階確認時	
	1. 施工管理		
	準備 (打設準備)	打設前	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影
	ルーフィング摩擦マット敷設状況	打設前	
	運搬 (コンクリートの運搬状況)	運搬時	但し、JIS 工場の場合は省略
	打設 (コンクリート打設)	打設時、各製作スパン毎	ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の打設方法及び打込状態、締固状態等を撮影
	打継目 (レイタンス除去状況)	施工時、各製作スパン毎	レイタンス除去状況を撮影
	表面仕上げ (仕上げ状況)	表面仕上げ時	天端均し仕上げ状況を撮影
養生状況	養生時	打設時 (底版、打継各層、天端) の養生状況を撮影	
2. 品質管理			
試験練り (試験状況、供試体作成及び養生状況)	試験時、養生時	但し、JIS 工場の場合は省略	
強度試験 (試験状況)	試験時	設計基準強度の撮影は $\sigma 28$ のみ	
現場試験 (スランプ、空気量、温度測定状況)	供試体作成時	同上	
3. 出来形管理			
コンクリート (形状寸法、外観)	打設後、各層	打設完了状況が判明できるように撮影	
完成 (完成品全景)	完成時、各函毎	ケーソン番号、喫水	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	2. ケーソン進水据付工	型枠外し後	マーク等を入れて	
	1) バラスト	1. 施工管理 バラスト投入 (バラスト材投入状況)	投入時	バラスト投入方法及び材料が判明できるように撮影
	2) 止水板	1. 施工管理 止水板 (止水板の設置状況)	進水時	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影
	3) 上蓋	1. 施工管理 蓋 (ネットを含む) の設置状況	進水時	同上
	4) 進水	1. 施工管理 進水 (進水方法)	進水時	斜路式、ドライドック、FD、吊降し等の方法が判明できるように撮影
		進水 (進水設備 (起重機船、FD、台車、警戒船を含む) )	進水時	設備 (吊降しの場合、起重機船、吊具を含む) が判明できるように全景撮影
		進水 (進水状況)	進水時	漏水がある場合は漏水状況及び処置状況を撮影
		浮上 (浮上又は吊上げ完了状況)	進水 (吊上げ) 完了時	計画喫水であることが確認できるように撮影
		2. 出来形管理 浮上・水平・計測確認 (計画喫水)	進水後	
	5) 仮置	1. 施工管理 (沈設、係留) 使用船舶機械等 (起重機船、発電機、ポンプ等設置状況)	設置時、配置後	使用する船舶機械等の種類が判明できるように撮影 (全景確認)
	仮置作業 (沈設状況)	仮置時	沈設作業 (注水を含む) が判明できるよ	

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	6) 回航・えい航	仮置作業（係留状況）  2. 出来形管理（係留） 仮置完了（沈設完了状況）  仮置完了（係留完了、アンカーロープ 保安設備確認状況）  1. 施工管理 蓋の設置状況（完了状況） 使用船舶（引船等船団全景）  えい航・回航用ロープ（取付状況及び 吊具・保安具取付状況）  えい航・回航姿勢（背景、喫水線状）  寄港避難（寄港及び避難の状況）  2. 出来形管理 えい航・回航完了（完了、喫水線確認 （目的地到着）状況）	仮置時   完了時、各函毎   完了時、各函毎    完了時、各函毎 えい航開始時   えい航開始時   えい航・回航時   寄港時及び避難時、各函 毎   えい航・回航完了時	うに撮影 係留作業（係留アン カーを含む）が判明 できるように撮影   沈設完了状態が判 明できるように撮 影 係留完了状態（係留 ロープを含む）が判 明できるよう背景 を入れる    形象物等が判明で けるように撮影（各 函毎） えい航・回航用ロー プの取付位置及び 状況を撮影（各函 毎） えい航・回航の姿勢 が判明できるよう に撮影（各函毎） 途中寄港した場合 には、その係留等の 状態が判明できる ように撮影（各函 毎）  えい航・回航が完了 したことが判明で けるように撮影（付 近の背景・全景を同 時撮影）
	7) 据付	1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、発電機、 ポンプ等配置状況）	作業時、各函毎	使用する船舶機械 等が判明できるよ

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	据付作業状況	据付時、各函毎	うに撮影 据付作業が判明で きるように撮影	
	据付位置（前面又は背面の確認）	据付時、各函毎	配筋が非対象の場 合に適用	
	2. 出来形管理 出来形の確認（据付完了状況）	完了時、各函毎	据付完了が判明で きるように撮影	
	ケーソン据付天端高（据付完了状況）	完了時、各函毎	据付完了が判明で きるように撮影	
	据付目地（据付完了状況）	完了時、各函毎	代表的な部分を撮 影	
	据付法線の出入（据付完了状況）	完了時、各函毎	完成法線が判明で きるように撮影（延 長方向へ撮影）	
	3. 中詰工 1) 砂・石材中詰	1. 施工管理 使用船舶機械等（運搬船等）	施工時	作業状況が判明で きるように撮影
		投入状況	施工時	同上
		均し状況	施工時	同上
		締固め状況	施工時	同上
		2. 品質管理 品質試験状況	施工時	同上
		試験項目毎		
		材料の確認（材料及び作業船等）	搬入時に適宜	テープ等を同時撮 影
		3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	均し完了後	中詰材の天端とケ ーソン天端との高 低差が判明できる ようにテープ等を 同時撮影
	2) コンクリート中詰	1. 施工管理 材料の貯蔵（セメント、混和材料及び 骨材の貯蔵状況 プラントの設備（全景及び細部） 材料の計量及び練混ぜ（計量及び練混	貯蔵時 施工時	但し、JIS 工場の場合 は省略 同上

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工		ぜ状況)	打設前	同上
		準備 (打設準備)	打設時	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影
		運搬 (コンクリートの運搬状況)	運搬時	但し、JIS 工場の場合は省略
		打設 (コンクリート打設)	打設時	ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の打設方法及び打込状態、縮固状態等撮影
		打継目 (レイタンス除去状況)	施工時	レイタンス除去状況を撮影
		表面仕上げ (仕上げ状況)	表面仕上げ時	天端均し仕上げ状況を撮影
		養生	養生時	打設後 (底版、打継各層、天端) の養生状況を撮影
		使用船舶機械等 (運搬船等)	施工時	作業状況が判明できるように撮影
		投入状況	施工時	同上
		均し状況	施工時	同上
		締固め状況	施工時	同上
		2. 品質管理	施工時	同上
		試験練り (試験状況、供試体作成及び養生状況)	試験時、養生時	但し、JIS 工場の場合は省略
		強度試験 (試験状況)	試験時	設計基準強度の撮影はσ28のみ
		現場試験 (スランプ、空気量、温度測定状況)	供試体作成時	同上
		品質試験状況	試験項目毎搬入時に適宜	
		材料の確認 (材料及び作業船等)		
		3. 出来形管理		
		出来形の確認 (測定状況)	均し完了後	中詰材の天端とケーソン天端との高低差が判明できるようにテープ等を同時撮影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	4. 蓋コンクリート工			
	1) 蓋コンクリート	1. 施工管理		
		材料の貯蔵（セメント、混和材料及び骨材の貯蔵状況）	貯蔵時	但し、JIS 工場の場合省略
		プラントの設備（全景及び細部）		
		材料の計量及び練混ぜ（計量及び練混ぜ状況）	施工時 打設前	同上 同上
		準備（打設準備）		
		運搬（コンクリートの運搬状況）	打設時	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影
		打設（コンクリート打設）	運搬時	但し、JIS 工場の場合省略
		打継目（レイタンス除去状況）	打設時	ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の打設方法及び打込状態、締固状態等撮影
		表面仕上げ（仕上げ状況）	施工時	レイタンス除去状況を撮影
		養生	表面仕上げ時	天端均し仕上状況を撮影
		使用船舶機械等（運搬船等）	養生時	打設後（底版、打継各層、天端）の養生状況を撮影
		投入状況	施工時	作業状況が判明できるように撮影
		均し状況	施工時	同上
		締固め状況	施工時	同上
	2. 品質管理	施工時	同上	
	試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況）	試験時、養生時	但し、JIS 工場の場合省略	
	強度試験（試験状況）	試験時	設計基準強度の撮影はσ28のみ	
	現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）	供試体作成時	同上	
	品質試験状況			
	材料の確認（材料及び作業船等）	試験項目毎		
	3. 出来形管理	搬入時に適宜		
	出来形の確認（測定状況）			

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	5. 蓋ブロック工 1) 蓋ブロック製作	1. 施工管理 ヤード等（ヤード及び設備） 使用船舶機械等（クレーン等） 製作函台 2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況） 強度試験（試験状況） 現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況） 3. 出来形管理 鉄筋（組立てかぶり） 型枠（組立完了） コンクリート（形状寸法、外観） 完成（完成品） 完成（仮置状況）	均し完了後 着工時全景 作業時 着工時 試験時、養生時 試験時 供試体作成時 組立完了時 組立確認時 打設後 完成時 仮置時	中詰材の天端とケーソン天端との高低差が判明できるようにテープ等を同時撮影 但し、JIS 工場の場合省略 設計基準強度の撮影は28日強度のみ 同上 番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
	2) 蓋ブロック据付	1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、台船等） 据付作業状況 2. 出来高管理	作業時 据付時	使用船舶機械等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	3) 間詰コンクリート	出来形の確認 (測定状況)	測定時	据付の全体が判明できるように撮影
		1. 施工管理 使用船舶機械等 (コンクリートミキサー船及び付属船)	コンクリート打設前	コンクリートミキサー船及び付属船の付属船の形状が判るように前方、側面から撮影
		ルーフィング敷設 (中詰上面)	コンクリート打設前	同上
		2. 品質管理 試験練り (試験状況、供試体作成及び養生状況) 強度試験 (試験状況)	試験時、養生時	但し、JIS 工場の場合は省略
		現場試験 (スランプ、空気量、温度測定状況)	試験時	設計基準強度の撮影は28日強度のみ
		3. 出来高管理 出来形の確認 (測定状況)	供試体作成時	同上
			測定状況	間詰コンクリートの施工天端とケーソン又はセルラーブロックの天端との差が判明できるようにテープ等を同時撮影
	6. 本体工 (ブロック式)			
	1) 本体ブロック製作工			
	① 底面	1. 施工管理 ヤード等 (ヤード及び設備)  使用船舶機械等 (クレーン等) 函台 (製作函台)	着工時全景  作業時 着工時	
② 足場	足場 (組立て、解体)	組立時、解体時		
③ 鉄筋	1. 施工管理 棒鋼 (保管状況)	荷卸し後	まくら木の配置、覆	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	④ 型枠	鉄筋（保管状況） 鉄筋（組立て及び結束）  鉄筋（吊筋） 2. 出来形管理 鉄筋組立（底盤、フーチング、壁、ハンチ部、吊筋等）  鉄筋組立（かぶり）  1. 施工管理 型枠（型枠製作及び大組製作状況） 型枠（型枠組立状況） 型枠（取外し状況）  型枠（型枠清掃状況） 2. 出来形管理 型枠組立（組立完了）	加工後 組立時  取付後  組立完了時  同上  製作時 組立時 取外し時  清掃時  組立確認時	いの状態等を撮影 同上 組立て、結束状態が確認できるように撮影  組立完了状況が判明できるように撮影  鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影  内枠、外枠、隔壁の取外し状況を撮影  組立完了状況が判明できるように撮影
	⑤ コンクリート	1. 施工管理 準備（打設準備）  運搬（コンクリートの運搬状況）  打設（コンクリート打設）  打継目（レイタンス除去状況）  表面仕上げ（仕上げ状況）  養生状況	打設前  運搬時  打設時  施工時  表面仕上げ時  養生時	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影 但し、JIS工場の場合は省略 ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の打設方法及び打込状態、締固状態等撮影 レイタンス除去状況を撮影 天端均し仕上状況を撮影 打設後（底版、打継

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	2) 本体ブロック据付工 ・本体ブロック据付	2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況） 強度試験状況	試験時、養生時  試験時	各層、天端)の養生状況を撮影  但し、JIS工場の場合は省略 設計基準強度の撮影は28日強度のみ
		現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）	供試体作成時	
		3. 出来形管理 コンクリート（形状寸法、外観）	打設後	番号等を入れて撮影
		完成（完成品）	完成時	個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）
		完成（仮置状況）	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影
		1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、台船等）	作業時	使用船舶機械等が判明できるよう撮影
	3) 中詰工 ・砂・石材中詰	据付作業（据付作業状況）	据付時	据付作業が判明できるように撮影
		2. 出来高管理 出来形の確認（測定状況）	目地測定時及び法線出入の測定時	据付の全体が判明できるように撮影
		1. 施工管理 使用船舶機械等（運搬船等）	施工時	作業状況が判明できるように撮影
		投入状況	施工時	同上
		均し状況	施工時	同上
		締固め状況	施工時	同上
2. 品質管理 品質試験状況 材料の確認（材料及び作業船等）	試験項目毎 搬入毎に適時	テープ等を同時撮		

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	・コンクリート中詰	3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	均し完了後	影  中詰材の天端とブ ロック天端との高 低差が判明でき るようにテープ等 を同時撮影
		1. 施工管理 準備（打設準備）  運搬（コンクリートの運搬状況）  打設（コンクリート打設）  打継目（レイトランス除去状況）  表面仕上げ（仕上げ状況）  養生状況  2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び 養生状況） 強度試験状況  現場試験（スランプ、空気量、温度測 定状況）	打設前  運搬時  打設時  施工時  表面仕上げ時  養生時  試験時、養生時  試験時  供試体作成時	打設面の不純物除 去、散水状況等を撮 影  但し、JIS 工場の場合 は省略  ポンプ、スキップ、 シュート、コンベア 等の打設方法及び 打込状態、締固状態 等撮影  レイトランス除去状 況を撮影  天端均し仕上状況 を撮影  打設後（底版、打継 各層、天端）の養生 状況を撮影  但し、JIS 工場の場合 は省略  設計基準強度の撮 影は28日強度の み 同上
		3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	均し完了後	中詰コンクリート の天端とブロック 天端との高低差が 判明できるように テープ等を同時撮 影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蓋コンクリート工</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施工管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用船舶機械等（コンクリートミキサー船及び付属船）</li> <li>ルーフィング敷設（中詰上面）</li> </ul> </li> <li>2. 品質管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況）</li> <li>強度試験（試験状況）</li> <li>現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）</li> </ul> </li> <li>3. 出来形管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>出来形の確認（測定状況）</li> </ul> </li> </ol>	<p>コンクリート打設前</p> <p>コンクリート打設前</p> <p>試験時、養生時</p> <p>試験時</p> <p>供試体作成時</p> <p>打設完了後</p>	<p>コンクリートミキサー船及び付属船の形状が判るように前方、側面からそれぞれ撮影</p> <p>作業状況が判明できるように撮影</p> <p>但し、JIS 工場の場合は省略</p> <p>設計基準強度の撮影は28日強度のみ</p> <p>同上</p> <p>蓋コンクリートの天端とブロック天端との高低差が判明できるようにテープ等を同時撮影</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蓋ブロック工</li> <li>・ 蓋ブロック製作</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施工管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>ヤード等（ヤード及び設備）</li> <li>使用船舶機械等（クレーン等）</li> <li>函台（製作函台）</li> </ul> </li> <li>2. 品質管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況）</li> <li>強度試験（試験状況）</li> <li>現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）</li> </ul> </li> <li>3. 出来形管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋（組立てかぶり）</li> </ul> </li> </ol>	<p>着工時全景</p> <p>作業時</p> <p>着工時</p> <p>試験時、養生時</p> <p>試験時</p> <p>供試体作成時</p>	<p>但し、JIS 工場の場合は省略</p> <p>設計基準強度の撮影は28日強度のみ</p> <p>同上</p>

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	・ 蓋ブロック据付	型枠（組立完了）	組立完了時	番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
		コンクリート（形状寸法、外観）	組立確認時	
		完成（完成品）	打設後	
			完成時	
		完成（仮置状況）	仮置時	
		1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、台船等）	作業時	
	据付作業状況	据付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
	2. 出来高管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	据付の全体が判明できるように撮影	
	・ 間詰コンクリート	1. 施工管理 使用船舶機械等（コンクリートミキサー船及び付属船）	コンクリート打設前	コンクリートミキサー船及び付属船の形状が判るように前方、側面からそれぞれ撮影 作業状況が判明できるように撮影
		ルーフイング敷設（中詰上面）	コンクリート打設前	
		2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況） 強度試験（試験状況）	試験時、養生時	但し、JIS工場の場合は省略
		現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）	試験時	設計基準強度の撮影は28日強度のみ
3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）		供試体作成時	同上	
		打設完了後	蓋コンクリートの	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	7. 本體工（場所打式） 1) 場所打コンクリート工		天端とブロック天端との高低差が判明できるようにテープ等を同時撮影	
	① 足場	足場（組立）  昇り足場、壁継ぎ、足場スペース  解体状況	組立時  組立時  解体時	内足場及び外足場の組立状況を撮影 足場の構造、安全ネット等が判明できるように撮影 解体状況がわかるように撮影
	② 鉄筋	1. 施工管理 鉄筋（鉄筋の仮置、溶接、組立作業） 鉄筋（組立て、結束及び溶接） 2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	作業時 組立時  組立時	測定作業が判明できるように撮影
	③ 型枠	1. 施工管理 型枠（型枠の構造）  型枠（目地材等の取付状況） 2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	作業時  作業時  測定時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影 同上 測定状況が判明できるように撮影
	④ 伸縮目地	1. 施工管理 伸縮目地（伸縮目地の設置状況）	作業時	
	⑤ コンクリート	1. 施工管理 準備仮設（プラント打設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等） 準備仮設（コンクリートミキサー船回航）	着手前後作業中及び跡片付後  回航開始時、終了時及び	使用船舶、回航の状

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考		
本 体 工	⑥ 補助ヤード施設	準備仮設（仮設道路、登坂路等）	作業時	況等が判明できる ように撮影		
		打継ぎ処理（処理作業）	仮設作業時、設置後及び 撤去時	路線状況が判明で きるように撮影		
		コンクリート（仕上状況）	作業時	作業方法が判明で きるように撮影		
		同上	表面仕上時	天端均し仕上状況 を撮影		
		その他（灯台基礎、電柱穴、階段等）	穴埋時	型枠取外後の締付 材等の穴埋状況を 撮影		
		2. 品質管理	作業時			
		試験練り（試験状況、供試体作成及び 養生状況）	試験時、養生時	但し、JIS 工場の場合 は省略		
		強度試験（試験状況）	試験時	設計基準強度の撮 影はσ28のみ		
		現場試験（スランプ、空気量、温度測 定状況）	供試体作成時	同上		
		3. 出来形管理	測定時	測定作業が判明で きるように撮影		
2) 水中コンクリート工	1. 施工管理 補助ヤード	着工時全景		ヤード全景及び設 備が判明できるよ うに撮影		
		1. 施工管理				
		打設（打設状況）	施工時			
		打設用機械器具等（打設状況）	施工時			
		2. 出来形管理				
		出来形の確認（出来形寸法等の測定状 況）	出来形測定時			
		3) プレバックドコンク リート	1. 施工管理	型枠状況一般（型枠組立、建込状況）	施工時	
				骨材の投入（骨材洗浄、投入状況）	施工時	
				プラントの設備（設備の全景及び細部）	施工時	
				注入管及び検査管（管の配置状況）	施工時	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	<p>モルタル注入（注入状況）</p> <p>2. 品質管理 各種試験（圧縮強度、フロー値、膨張率、ブリージング率等の試験状況）</p> <p>3. 出来形管理 出来形の確認（出来形寸法等の測定状況、仕上がり面、岩盤かき均し状況等）</p>	<p>モルタル注入前</p> <p>注入時</p> <p>試験時</p> <p>測定時、作業時仕上がり面状況</p>	<p>配置間隔が判明できるようにテープ等を同時撮影</p> <p>注入の状態が判明できるように全景を撮影</p>
	<p>4) 水中不分離性コンクリート工</p> <p>1. 施工管理 打設（打設状況） 打設用機械器具等（打設状況）</p> <p>2. 品質管理 各種試験（スランプフロー、圧縮強度、懸濁物質等の試験状況）</p> <p>3. 出来形管理 出来形の確認（出来形寸法等の測定状況）</p>	<p>施工時</p> <p>施工時</p> <p>試験時</p> <p>出来形測定時</p>	
	<p>8. 本体外（捨石、捨ブロック式）</p> <p>1) 洗掘防止工</p> <p>1. 施工管理 マット類の確認（補強材セット状況） マット類の確認（アスファルトコンクリート打設状況） マット類の確認（搬入仮置） マット類の確認（アンカー取付、加工） マット類の確認（運搬） 敷設状況（敷設状況と使用船舶機械）</p> <p>2. 出来形管理 出来形の確認（敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認）</p>	<p>作業中、完了時</p> <p>アスファルトコンクリート打設時</p> <p>搬入仮置時</p> <p>取付加工時</p> <p>運搬時</p> <p>敷設時</p> <p>敷設完了時</p>	<p>作業状況が判明できるように撮影</p> <p>確認箇所が判る背景を入れる</p>
	<p>2) 本体外捨石工 ・ 本体外捨石</p>	<p>1. 施工管理</p>	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体捨石均し</li> </ul>	準備、仮設（ストックヤード、仮設道路等） 陸上運搬（ストック、積込み、運搬状況） 捨石投入（投入状況） 捨石均し（均し状況）	仮設道路、ストックヤード使用前後 運搬時 投入時、捨石規格毎及び作業船種毎 規格及び作業船毎	作業機械作業状況等が判明できるように撮影  公的機関が実施する場合は省略できる スタッフ、テープ等を同時撮影
	3) 捨ブロック工 <ul style="list-style-type: none"> <li>捨ブロック製作</li> </ul>	2. 品質管理 材料試験（試験状況） 材料の確認（産地・規格毎） 3. 出来形管理 出来形の確認（測量状況）	試験時 搬入時 測量作業時	
	1. 施工管理 ヤード等（ヤード及び設備） 使用船舶機械等（クレーン等） 函台（製作函台） 2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況） 強度試験（試験状況） 現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況） 3. 出来形管理 鉄筋（組立てかぶり） 型枠（組立完了） コンクリート（形状寸法、外観） 完成（完成品）	着工時全景 作業時 着工時 試験時、養生時 試験時 供試体作成時 組立完了時 組立確認時 打設後 完成時	但し、JIS 工場の場合は省略 設計基準強度の撮影は $\sigma 28$ のみ 同上 鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影 番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影（全個数確	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考		
本 体 工	・ 捨ブロック据付	完成（仮置状況）	仮置時	認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影	
		1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、台船等）	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
		据付作業（据付作業状況）	据付時	据付作業が判明できるように撮影	
	4) 場所打コンクリート工	2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	据付の全体が判明できるように撮影	
		・ 基礎砕石	1. 品質管理 材料の確認（材料）	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	
			材料の確認（品質試験状況）	試験時	
	・ 型枠	1. 施工管理 型枠（型枠の構造）	作業時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影	
		型枠（目地材等の取付状況）	作業時	同上	
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	測定作業が判明できるように撮影	
	・ 伸縮目地	1. 施工管理 伸縮目地（伸縮目地の設置状況）	作業時		
	・ コンクリート	1. 施工管理 準備仮設（プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等）	着手前後作業中及び跡片付け後		
		準備仮設（コンクリートミキサー船）	回航開始時、終了時及び作業時	使用船舶、回航の状況等が判明できる	

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工		準備仮設（仮設道路、登坂路等）	仮設作業時、設置後及び撤去時	ように撮影 路線状況が判明できるように撮影
		打継ぎ処理（処理作業）	作業時	作業方法が判明できるように撮影
		コンクリート（仕上状況）	表面仕上時	天端均し仕上状況を撮影
		同上	穴埋め時	型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影
		その他（灯台基礎、電柱穴、階段等）	作業時	
		2. 品質管理		
		試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況）	試験時、養生時	但し、JIS 工場の場合は省略
		強度試験（試験状況）	試験時	設計基準強度の撮影は $\sigma 28$ のみ
		現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）	供試体作成時	同上
		3. 出来形管理		
	出来形の確認（測定状況）	測定時	測定作業が判明できるように撮影	
9. 本体外工（鋼矢板式）				
1) 鋼矢板工				
・先行掘削	1. 施工管理	掘削（掘削状況）	作業時	
・鋼矢板	1. 施工管理	矢板の保管（保管状況）	保管時	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影
		矢板の積込み（吊上げ及び積込状況）	作業時	使用機械器具、積込方法が判明
		矢板の運搬（運搬状況）	作業時	荷くずれ防止装置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	導材の設置（導材の設置状況）	作業時	使用材料及び船舶機械、導材の構造が判明できるように撮影	
	矢板の建込み（建込状況（位置出し、吊込み、建込み等））	作業時	作業状況が判明できるように撮影	
	矢板の打込み（打込状況）	作業時	杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影	
	矢板の打込み（ハンマーの種類、形式等）	適宜	同上	
	矢板の打込み（打込記録中）	測定時	同上	
	矢板の打込み（飛油、騒音防止対策）	対策を講じた時	飛油対策、騒音防止対策等を行った場合	
	継ぎ手部の離脱（離脱箇所）	離脱があったとき	離脱部が撮影できない場合は監督員の承諾を得ること	
	2. 品質管理 矢板の規格、外観、形状寸法（観察、測定状況）	観察、測定時	種類、形状寸法が変わる毎にテープ等を同時撮影	
	3. 出来形管理 出来形の確認（測定作業状況）	施工中及び打込完了時		
	2) 控工 ・控鋼矢板 ・控鋼管 ・腹起 ・タイ材	1. 施工管理 腹起しの取付（取付け及び締付状況） タイロッド受杭 タイロッド、タイワイヤーの組立て、取付、プレキャストコンクリート控壁、控杭、控矢板、控頂部コンクリート、場所打コンクリート控壁＜組立て及び取付状況＞ 2. 品質管理 腹起し材、タイロッド、タイワイヤーの規格、外観、形状寸法＜観察、測定状況＞ タイロッド、タイワイヤーの試験杭、	施工中及び完了時 施工時、施工単位1回 施工時、施工単位1回 観察、測定時 試験時	9. 1) 鋼矢板準用全景が判るように撮影  種類、形状寸法が変わる毎にテープ等を同時撮影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	10. 本体工（鋼管矢板工） 1) 先行掘削  2) 鋼管矢板	矢板の品質、コンクリートの品質<引張試験の状況> 3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況、完成状況）	施工中及び取付完了時	
		1. 施工管理 掘削（掘削状況）	作業時	
		1. 施工管理 矢板の保管（保管状況）	保管時	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影
		矢板の積込み（吊上げ及び積込状況）	作業時	使用機械器具、積込方法が判明できるように撮影
		矢板の運搬（運搬状況）	作業時	荷崩れ防止措置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影
		導材の設置（導材の設置状況）	作業時	使用材料及び船舶機械、導材の構造が判明できるように撮影
		矢板の建込み（建込み状況（位置出し、吊込み、建込み等））	作業時	作業状況が判明できるように撮影
		矢板の打込み（打込状況）	作業時	杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影
		矢板の打込み（ハンマーの種類、形式等）	適宜	同上
		矢板の打込み記録	測定時	同上

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
本 体 工	矢板の打込み（飛油、騒音防止対策）	対策を講じた時	飛油、騒音防止対策等を行った場合	
	2. 品質管理 矢板の規格、外観、形状寸法（観察、測定状況）	観察、測定時	種類、形状寸法が変わる毎にテープ等を同時撮影	
	3. 出来形管理 出来形の確認（測定作業状況）	施工中及び打込完了時		
	1 1. 本体工（鋼杭工） 1) 先行掘削	1. 施工管理 掘削（掘削状況）	作業時	
	2) 鋼杭	1. 施工管理 杭の保管（保管状況）	保管時	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影
		杭の積込み（吊上げ及び積込状況）	作業時	使用機械器具、積込方法が判明できるように撮影
		杭の運搬（運搬状況）	作業時	荷崩れ防止措置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影
		導材の設置（導材の設置状況）	作業時	使用材料及び船舶機械、導材の構造が判明できるように撮影
		杭の建込み（建込み状況（位置出し、吊込み、建込み等））	作業時	作業状況が判明できるように撮影
		杭の打込み（打込状況）	作業時	杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影
		杭の打込み（ハンマーの種類、形式等）	適宜	同上
		杭の打込み記録	測定時	同上
	杭の打込み（飛油、騒音防止対策）	対策を講じた時	飛油、騒音防止対策等を行った場合	

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
本 体 工	2) 控工 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 控鋼矢板</li> <li>・ 控鋼管</li> <li>・ 腹起</li> <li>・ タイ材</li> </ul>	2. 品質管理 杭の規格、外観、形状寸法（観察、測定状況）  3. 出来形管理 出来形の確認（測定作業状況）  1. 施工管理 腹起しの取付（取付け及び締付状況） タイロッド受杭 タイロッド、タイワイヤーの組立て、 取付、プレキャストコンクリート控壁、 控杭、控矢板、控頂部コンクリート、場 所打コンクリート控壁＜組立て及び取 付状況＞  2. 品質管理 腹起し材、タイロッド、タイワイヤ ーの規格、外観、形状寸法＜観察、測定 状況＞ タイロッド、タイワイヤーの試験杭、 矢板の品質、コンクリートの品質＜引張 試験の状況＞  3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況、完成状況）	観察、測定時   施工中及び打込完了時   施工中及び完了時 施工時、施工単位 1 回 施工時、施工単位 1 回   観察、測定時  試験時   施工中及び取付完了時	種類、形状寸法が変 わる毎にテープ等 を同時撮影                     9. 1) 鋼矢板準用 全景が判るように 撮影                     種類、形状寸法が変 わる毎にテープ等 を同時撮影
被 覆 ・ 根 固 工	5節 被覆・根固工 1) 被覆石 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被覆石</li> <li>・ 被覆石本均し</li> <li>・ 被覆石荒均し</li> </ul>	1. 施工管理 準備、仮設（ストックヤード、仮設道 路等設置状況） 陸上運搬（ストック、積込み、運搬状 況）  捨石投入状況（潜水夫指示状況）  捨石均し状況（潜水夫作業状況）  2. 品質管理 材料試験（試験状況）  材料の確認（産地・規格毎）	仮設道路、ストックヤード使用前後 運搬時  投入時、捨石規格毎及び 作業船種毎 規格及び作業船種毎  試験時  搬入時	使用機械作業状況 等が判明できるよ うに撮影                     公的機関が実施す る場合は省略 スタッフ、テープ等

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
被 覆 ・ 根 固 工	2) 袋詰コンクリート	3. 出来形管理 出来形確認（測量状況）  1. 施工管理 使用船舶機械等（使用船舶、機械等） 袋詰（コンクリート袋詰状況） 設置（設置状況）  2. 出来形管理 出来形の確認（出来形寸法の測定状況、設置（積上）状態）	測量作業時   施工時 施工時 施工時  出来形測定時	を同時撮影
	3) 被覆ブロック工 ・被覆ブロック製作	1. 施工管理 ヤード等（ヤード及び設備）  使用船舶機械等（クレーン等）  函台（製作函台） 鉄筋（保管状況、組立・結束状況） 型枠（組立・取外し、清掃はくり剤状況） コンクリート（打設・締固・養生状況）  2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況） 強度試験（試験状況）  現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）  3. 出来形管理 鉄筋（組立かぶり、配筋寸法）  型枠（組立完了）	着工時全景  作業時  着工時 保管時、加工組立時 組立・取外し、清掃時  打設時、養生時  試験時、養生時  試験時  供試体作成時   組立完了時  組立確認時	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影 使用する機械等の種類が判明できるように撮影              但し、JIS 工場の場合は省略 設計基準強度の撮影は $\sigma 28$ のみ 同上   底盤、フーチング筋、ハンチ筋、吊筋

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
被 覆 ・ 根 固 工	・被覆ブロック据付  4) 根固めブロック工 ・根固めブロック製作	コンクリート（形状寸法、外観）	打設後	番号等を入れて撮影
		完成（完成品）	完成時	個数が確認できれば1枚に複個数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）
		完成（仮置状況）	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影
		1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、台船等）	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		据付作業（据付作業状況）	据付時	据付作業が判明できるように撮影
		2. 出来形管理 出来形の確認（法線出入り測定状況）	測定時	据付の全体が判明できるように撮影
		1. 施工管理 ヤード等（ヤード及び設備） 使用船舶機械等（クレーン等） 函台（製作函台） 鉄筋（保管状況、組立・結束状況） 型枠（組立・取外し、清掃はくり剤状況）	着工時全景 作業時 着工時 保管時、加工組立時 組立・取外し、清掃時	
		コンクリート（打設・締固・養生状況）	打設時、養生時	
		2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況） 強度試験（試験状況）  現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）	試験時、養生時  試験時  供試体作成時	但し、JIS工場の場合は省略 設計基準強度の撮影は $\sigma 28$ のみ 同上
		3. 出来形管理 鉄筋（組立かぶり、配筋寸法）	組立完了時	鉄筋と型枠の間隔が判明できるよう

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
被 覆 ・ 根 固 工	・根固めブロック据付	型枠（組立完了）	組立確認時	に撮影  番号等を入れて撮 影  個数が確認できれ ば1枚に複個数入 れて撮影（全個数確 認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明 できるように撮影	
		コンクリート（形状寸法、外観）	打設後		
		完成（完成品）	完成時		
		完成（仮置状況）	仮置時		
		1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、台船等）	作業時		使用する船舶機械 等が判明できるよ うに撮影
		据付作業（据付作業状況）	据付時		据付作業が判明で きる
		2. 出来形管理 出来形の確認（法線出入測定状況）	測定時		据付の全体が判明 できるように撮影
		1. 施工管理 打設（打設状況） 打設用機械器具等（打設状況）	施工時 施工時		
		2. 出来形管理 出来形の確認（出来形寸法等の測定状 況）	出来形測定時		
		・水中コンクリート工	1. 施工管理 打設（打設状況） 打設用機械器具等（打設状況）		施工時 施工時
・水中不分離性 コンクリート工	1. 施工管理 打設（打設状況） 打設用機械器具等（打設状況）	施工時 施工時			
	2. 品質管理 各種試験（スランプフロー、圧縮強度、 懸濁物質等の試験状況）	試験時			
	3. 出来形管理 出来形の確認（出来形寸法等の測定状 況）	出来形測定時			
・サンドマスチック	1. 施工管理				
・サンドマスチック	1. 施工管理				

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
		使用船舶機械等（起重機船、台船等） 施工状況（作業状況） 2. 品質管理 材料の確認 3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	作業時 作業中  試験及び検査時  測定時	
上部工	6節 上部工 1. 上部工 1) 上部コンクリート ・ 準備工  ・ 支 保  ・ 足 場・手摺  ・ 鉄 筋  ・ 型 枠	1. 施工管理 仮設、回航、運搬、仮設道路、仮設プラント、ヤード、ミキサー船回航、登坂路等  1. 施工管理 型枠（製作及び大組製作の状況） 型枠（組立状況）  型枠（取外し状況）  型枠（型枠清掃・剥離材塗布状況）  足場（組立）  足場（解体状況）  1. 施工管理 鉄筋（鉄筋の仮置、溶接、組立作業） 鉄筋（組立て、結束及び溶接） 2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況、かぶり）  1. 施工管理	着手前後、作業中、跡片付け後   製作時 組立時   取外し時  清掃時、塗装時  組立時  解体時  作業時 組立時  測定時	内足場及び外足場の組立状況を撮影、足場の構造、安全ネット等が判明できるように撮影 内枠、外枠、隔壁の取外し状況を撮影  内足場、外足場等の組立状況を撮影 内足場、外足場等の取外し状況を撮影  測定作業が判明できるように撮影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
上 部 工	・ 伸縮目地  ・ コンクリート	型枠（型枠の構造）	作業時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影
		型枠（目地材等の取付状況）	作業時	
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	測定作業が判明できるように撮影
		1. 施工管理 伸縮目地（伸縮目地の設置状況）	作業時	
		1. 施工管理 準備仮設（プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等）	着手前後作業中及び跡片付後	
		準備仮設（コンクリートミキサー船回航）	回航開始時、終了時及び作業時	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影
		準備仮設（仮設道路、登坂路等）	仮設作業時、設置後及び撤去時	路線状況が判明できるように撮影
		打継ぎ処理（ハツリ・穴開作業、差筋状況及び寸法確認）	作業時、完了全景	作業方法が判明できるように撮影
		コンクリート（仕上状況）	表面仕上げ時	天端均し仕上状況を撮影
		同上	穴埋時	型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影
		その他（灯台基礎、電柱穴、階段等）	作業時	
		2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況）	試験時、養生時	但し、JIS 工場の場合は省略 設計基準強度の撮影はσ28のみ 同上
強度試験（試験状況）	試験時			
現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）	供試体作成時			
3. 出来形管理				

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
上 部 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助ヤード施設</li> <li>・ 灯台基礎、電柱</li> <li>・ 階段</li> <li>・ 管理施設基礎</li> </ul> <p>2) 上部ブロック工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上部ブロック製作</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上部ブロック据付</li> </ul>	出来形の確認（測定状況）	測定時	測定作業が判明できるように撮影
		1. 施工管理 補助ヤード（補助ヤード）	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影
		1. 施工管理 基礎用穴開け状況	完了後	
		1. 施工管理 設置状況	完了後	
		1. 施工管理 各施設用穴開け状況	完了後	
		2. 出来形管理 穴寸法、基礎寸法	測定時	
		1. 施工管理 ヤード等（ヤード及び設備） 使用船舶機械等（クレーン等） 函台（製作函台）	着工時全景 作業時 着工時	
		2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況） 強度試験（試験状況）  現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）	試験時、養生時  試験時  供試体作成時	但し、JIS 工場の場合は省略 設計基準強度の撮影は $\sigma 28$ のみ "
		3. 出来形管理 鉄筋（組立かぶり） 型枠（組立完了） コンクリート（形状寸法、外観） 完成（完成品）	組立完了時 組立確認時 打設後 完成時	番号札を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
		1. 施工管理 使用船舶機械等（起重機船、台船等）	作業時	使用する船舶機械

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
上 部 工		据付作業（据付作業状況）	据付時	等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	据付の全体が判明できるように撮影
付 属 工	7節 付属工			
	1. 係船柱工	1. 施工管理 使用船舶機械等（杭打機、クレーン車（船）、トラック等）	設置時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		施工（基礎工施工状況）	施工時	基礎工施工状況（杭打ち、基礎石投入、均し及びコンクリート打設等）を撮影（押込ボルトを含む）
		据付（本体据付状況）	据付時	据付状況が判明できるように撮影
		2. 品質管理 搬入数量の確認（係船柱）	搬入時	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
		3. 出来高管理 杭（基礎杭）	杭打完了時	基礎杭打込完了状況が判明できるように撮影
		石材投入、均し（基礎石投入均し完了状況）	均し完了時	基礎石均しが判明できるように撮影
		型枠（型枠組立完了状況）	組立完了時	打設前の型枠、埋込ボルト検査状態
		基礎完成（基礎完成状況）	完成時	完成が判明できるように撮影
		据付完成（本体据付確認状況）	完成時	据付完了状態が判明できるように撮影
	2. 防舷材工			
	1) 防舷材	1. 施工管理 使用船舶機械等（台船、クレーン車（船））	取付時	使用する船舶機械等が判明できるよ

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
付 属 工	3. 車止・縁金物工 1) 車止・縁金物	取付（取付位置の状況）	取付前	うに撮影 埋込（取付）ボルト の部分及び全景取 付状況の撮影	
		取付（取付状況）	取付時	同上	
		2. 品質管理 搬入数量の確認（防舷材）	搬入時	搬入数量及び所定 の規格表示が判明 できるように撮影	
		3. 出来形管理 出来形の確認（取付完了状態）	取付完了時	取付完了状態の部 分（1基）及び正面 全体と延長方向全 景	
		1. 施工管理 使用船舶機械等（台船、溶接機、クレーン）	取付時	使用する船舶機械 等が判明できるよ うに撮影	
		取付（取付状況）	取付時	取付状況（取付け、 溶接、コンクリート 打設）	
		取付（塗装状況）	塗装時、各層毎	各層毎の塗装状況 （警戒色塗装を含 む）	
		2. 品質管理 形状寸法（測定状況） 塗料（塗料の種類毎）	測定時 搬入時	塗料の種類別に内 容が判明できるも の	
		3. 出来形管理 取付（取付完了状態）	取付完了時	取付完了状態の部 分（1基）及び正面 全体と法線方向全 景	
		4. 防食工 1) 電気防食	1. 施工管理 使用船舶機械等（曳船、台船、潜水士船、溶接機）	取付時	使用する船舶機械 等が判明できるよ うに撮影

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
付 属 工	製品（陽極）（取付陽極）	取付前	取付陽極の部分（1組）及び取付陽極全体	
	取付け（陽極）取付状況	取付時	取付状況（水中写真）	
	電位測定装置（設置状況）	取付時	測定用端子の設置状況	
	2. 品質管理 形状寸法（測定状況）	測定時		
	3. 出来形管理 出来形の確認（陽極）（取付完了状態）	取付完了時	潜水士船による確認検査状況	
	電位測定装置（電位測定）	測定時	電位差測定の状況	
	(素地調整)	1. 施工管理 使用機械（ブレーカ、ブラスト等）	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況（作業状況）	作業中	
		2. 出来形管理 完成（完成全景）	完成時	
	2) PFP モルタル被覆	1. 施工管理 使用船舶機械（曳船、台船、潜水士船、溶接機）	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		施工状況（モルタル注入）	施工時	
		製品（FRP）	取付前、取付後	
		施工状況（設置状況）	取付時	FRP被覆材の設置状況
		2. 品質管理 形状寸法（測定状況）	測定時	
		3. 出来形管理 出来形の確認（陽極）（取付完了状態）	取付完了時	潜水士船による確認検査状況
		電位測定装置（電位測定）	測定時	電位差測定の状況
(素地調整)	1. 施工管理 使用機械（ブレーカ、ブラスト等）	施工時	使用機械器具が判	

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考		
付 属 工	(モルタル工)	施工状況（作業状況）	作業中	明できるように撮影		
		2. 出来形管理 完成（完成全景）	完成時			
		1. 施工管理 使用機械（ブレーカ、ブラスト等）	施工時		使用機械器具が判明できるように撮影	
		施工状況（作業状況）	作業中			
	3) ペトロタム被覆	2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況） 完成（完成全景）	測定時 完成時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影		
		1. 施工管理 使用船舶機械（曳船、台船、潜水士船、溶接機）	取付時			
		製品（FRP） 施工状況（設置状況）	取付前、取付後 取付時		FRP被覆材の設置状況	
		2. 品質管理 形状寸法（測定状況）	測定時			
		3. 出来形管理 出来形の確認（陽極）（取付完了状態）	取付完了時		潜水士船による確認検査状況 電位差測定の状況	
		電位測定装置（電位測定）	測定時			
		(素地調整)	1. 施工管理 使用機械（ブレーカ、ブラスト等）		施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
			施工状況（作業状況）		作業中	
	(モルタル工)	2. 出来形管理 完成（完成全景）	完成時	使用機械器具が判明できるように撮影		
		1. 施工管理 使用機械（ブレーカ、ブラスト等）	施工時			
施工状況（作業状況）		作業中				

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
付 属 工	(コンクリート被覆)	2. 出来形管理 出来形の確認 (測定状況) 完成 (完成全景)	測定時 完成時		
		1. 施工管理 使用船舶機械等 (使用船舶、機械類)	施工時	使用する船舶機械 等が判明できるよ うに撮影	
		被覆防食の作業状況 (施工状況)	施工時		
		2. 出来形管理 出来形の確認 (被覆防食完了状態)	完了時	完了の部分 (1 箇 所) 及び正面全体と 延長方向を撮影	
		1. 施工管理 使用船舶機械等 (使用船舶、機械類)	施工時	曳船、台船、コンブ レッサー等が判明 できるように撮影	
		塗装 (施工状況)	施工時、各層毎		
	(防食塗装)	2. 出来形管理 出来形の確認 (塗装完了状態)	完了時	完了の部分 (1 箇 所) 及び正面全体と 延長方向を撮影	
		塗料使用量確認、厚さ確認、完了全景	完了時		
		5. 付属設備工 1) 係船環	1. 施工管理 使用船舶機械等 (クレーン車 (船)、 トラック等)	設置時	使用する船舶機械 等が判明できるよ うに撮影
		取付 (本体取付状況)	取付時	取付状況が判明で きるように撮影	
		2. 品質管理 搬入数量の確認 (係船環)	搬入時	搬入数量及び所定 の規格表示が判明 できるように撮影	
		3. 出来形管理 取付完了 (本体取付確認状況)	完了時	取付完了状態が判 明できるように撮	

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
消 波 工	8節 消波工 1. 洗掘防止工	1. 施工管理 マット類の確認（補強材セット状況）  マット類の確認（アスファルトコンクリート打設状況） マット類の確認（搬入仮置） マット類の確認（アンカー取付、加工） マット類の確認（運搬） 敷設状況（敷設状況と使用船舶機械）  2. 出来形管理 出来形の確認（敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認）	作業中、完了時  アスファルトコンクリート打設時 搬入仮置時 取付加工時 運搬時 敷設時  敷設完了時	影  作業状況が判明できるように撮影  確認箇所が判る背景を入れる
	2. 消波ブロック工 1) 消波ブロック製作	1. 施工管理 ヤード等（ヤード及び設備） 使用船舶機械等（クレーン等） 函台（製作函台） 鉄筋（保管状況、組立・結束状況） 型枠（組立・取外し、清掃はくり剤状況） コンクリート（打設・締固・養生状況）  2. 品質管理 試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況） 強度試験（試験状況）  現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）  3. 出来形管理 鉄筋（組立かぶり、配筋寸法）  型枠（組立完了） コンクリート（形状寸法、外観）  完成（完成品）	着工時全景 作業時 着工時 保管時、加工組立時 組立・取外し、清掃時  打設時、養生時  試験時、養生時  試験時  供試体作成時  組立完了時  組立確認時 打設後  完成時	但し、JIS 工場の場合は省略 設計基準強度の撮影は $\sigma 28$ のみ 同上  底盤、フーチング筋、ハンチ筋、吊筋  番号札を入れて撮影  個数が確認できれば1枚に複個数入れて撮影（全個数確

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
消 波 工	2) 消波ブロック据付	完成 (仮置状況)	仮置時	認必要枚数撮影)
	2) 消波ブロック据付	1. 施工管理 使用船舶機械等 (起重機船、台船等)	作業時	使用する船舶機械 等が判明できるよ うに撮影
		据付作業 (据付作業状況)	据付時	据付作業が判明で きるように撮影
		2. 出来形管理 出来形の確認 (法線出入測定状況)	測定時	据付の全体が判明 できるように撮影
	3. 異形ブロック工 1) 異形ブロック製作	1. 施工管理 ヤード等 (ヤード及び設備) 使用船舶機械等 (クレーン等) 函台 (製作函台) 鉄筋 (保管状況、組立・結束状況) 型枠 (組立・取外し、清掃はくり剤状 況) コンクリート (打設・締固・養生状況)	着工時全景 作業時 着工時 保管時、加工組立時 組立・取外し、清掃時	
		2. 品質管理 試験練り (試験状況、供試体作成及び 養生状況) 強度試験 (試験状況)  現場試験 (スランプ、空気量、温度測 定状況)	試験時、養生時  試験時  供試体作成時	但し、JIS 工場の場合 は省略 設計基準強度の撮 影はσ28のみ 同上
		3. 出来形管理 鉄筋 (組立かぶり、配筋寸法)  型枠 (組立完了) コンクリート (形状寸法、外観)	組立完了時  組立確認時 打設後	底盤、フーチング 筋、ハンチ筋、吊筋  番号札を入れて撮 影
		完成 (完成品)	完成時	個数が確認できれ

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
消 波 工	1) 異形ブロック据付	完成 (仮置状況)	仮置時	ば1枚に複個数入 れて撮影 (全個数確 認必要枚数撮影) 積重ね段数が判明 できるように撮影
		1. 施工管理 使用船舶機械等 (起重機船、台船等)	作業時	使用する船舶機械 等が判明できるよ うに撮影
9節 裏込・裏埋工	1) 裏込工 ・目地材	据付作業 (据付作業状況)	据付時	据付作業が判明で きるように撮影
		2. 出来形管理 出来形の確認 (法線出入測定状況)	測定時	据付の全体が判明 できるように撮影
裏 込 ・ 裏 埋 工	・裏込材 ・瀬取り ・裏込均し	1. 施工管理 目地板の確認 (搬入) 敷設状況 (敷設状況と使用船舶機械)	搬入時 敷設時	
		2. 品質管理 材料試験 (試験状況) 目地板の形状寸法 (測定状況)	試験時 測定時	
		3. 出来形管理 出来形の確認 (敷設完了状態)	敷設完了時	
		1. 施工管理 準備、仮設 (ストックヤード、仮設道 路等) 陸上運搬 (ストック、積込み、運搬状 況)	仮設道路、ストックヤ ード、使用前 後 運搬時	作業機械作業状況 等が判明できるよ うに撮影
		瀬取り (瀬取り状況) 裏込材投入 (投入状況)	作業時 投入時、捨石規格毎及び 作業船種毎	
		裏込均し (均し状況)	規格及び作業船毎	
		2. 品質管理		

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
裏 込 ・ 裏 埋 工	材料試験（試験状況）	試験時	公的機関が実施する場合は省略可 スタッフ、テープ等を同時撮影	
	材料の確認（産地・規格毎）	搬入時		
	3. 出来形管理 出来形の確認（測量状況）	測量作業時		
	1. 施工管理 吸い出し防止材の確認（搬入） 敷設状況（敷設状況と使用船舶機械）	搬入時 敷設時		
	2. 品質管理 材料試験（試験状況） 吸い出し防止材の形状寸法（測定状況）	試験時 測定時		
	3. 出来形管理 出来形の確認（敷設完了状態）	敷設完了時		
	2) 裏埋工 ・裏埋材	1. 施工管理 使用船舶機械（主要船舶機械）		作業時、船舶機械毎
	3) 裏埋土工 ・土砂掘削	施工状況一般（埋立材の採取状況）	採取作業時	余水吐が判明できるように撮影
		施工状況一般（埋立材運搬の状況）	運搬作業時	
		施工状況一般（埋立材整地状況）	整地作業時	
施工状況一般（余水吐の設置及び撤去）		設置作業時及び撤去時		
施工状況一般（公害防止対策）		防止処置作業時		
	2. 品質管理 材料の品質管理状況（「特」に定められた作業状況）	品質管理作業時、品質管理内容毎	撮影項目は、港湾工事品質管理基準（以下：「品」という） 1. 土及び2. 石材等による。	
	3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時		
	1. 施工管理 使用機械（主要機械）	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように	

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
裏 込 ・ 裏 埋 工	・土砂盛土	仮置場及び土砂処分場（位置及び土砂処分状況）	作業時、機械毎	撮影 各作業状況が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影 埋没物等は、その状況が判明できるように撮影 同上 同上 使用機械の種類が判明できるように撮影 撮影 各作業状況が判明できるように撮影 同上 同上 主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影項目は「品」の 1. 土及び2. 石材等による 盛土の各層の仕上り厚さが判明できるように撮影
		掘削・切土（掘削、切土、穿孔及び発破状況）	作業毎、機械毎	
		運搬（土砂の搬入、搬出状況）	同上	
		埋戻し及び裏込め（材料の投入及び均し状況）	同上	
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時、作業毎	
		1. 施工管理 使用機械（主要機械）	作業時、機械毎	
		仮置場及び土砂処分（仮置及び土砂処分状況）	作業時、機械毎	
		運搬（土砂の搬入、搬出状況）	同上	
		盛土（盛土及び各層の転圧状況）	同上	
		2. 品質管理 材料の確認（試験及び搬入状況）	試験及び搬入時	
3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時、作業毎			
埋 立 工	10 節 埋立工 1. 余水吐 1) 余水吐	1. 施工管理 施工状況一般（余水吐の設置及び撤去）	設置作業時及び撤去時	余水吐が判明できるように撮影

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
埋 立 工	2. 固化工 1) 事前混合処理	<p>施工状況一般（公害防止対策）</p> <p>1. 施工管理 使用船舶機器等（主要船舶機械）</p> <p>材料の貯蔵（貯蔵状況） プラントの設備（全景及び細部） 施工状況（混合処理状況） 施工状況（処理土運搬状況） 施工状況（処置土投入状況）</p> <p>2. 品質管理 材料の確認（固化材料） 材料の確認（品質管理試験状況）</p>	<p>防止処置作業時</p> <p>搬入時、船舶機械毎</p> <p>貯蔵時 施工時 混合作業時 運搬時 投入時</p> <p>現場搬入時、材料毎 試験時、試験種類毎</p>	<p>使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影</p>
	3. 埋立工 1) ポンプ土取 2) グラブ土取 3) ガット土取	<p>1. 施工管理 使用船舶機械（主要船舶機械）</p> <p>施工状況一般（埋立材運の採取状況） 施工状況一般（埋立材運搬の状況） 施工状況一般（埋立材整地状況） 公害防止対策（防止膜、環境対応、飛砂防止状況） 安全・住民対策（交通整理、監視、警戒船、工事案内説明状況）</p> <p>2. 品質管理 材料の品質管理状況（「特」に定められた品質管理の作業状況）</p> <p>3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）</p>	<p>作業時、船舶機械毎</p> <p>採取作業時 運搬作業 整地作業時 実施時 実施時</p> <p>品質管理作業時、品質管理内容毎</p> <p>測定時</p>	<p>使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影</p>
	4. 排砂管設備工 1) 排砂管設備	<p>1. 施工管理 排砂管設備（排砂管、零号等設置撤去）</p>	<p>布設撤去の作業時</p>	<p>設置状況が判明できるように撮影</p>
				<p>撮影項目は「品」の 1. 土及び2. 石材等による</p>

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
埋 立 工	5. 土運船運搬 1) 土運船運搬	1. 施工管理 土砂の運搬状況（運搬時積載状況）	土砂運搬時	運搬経路が判明できる背景を入れて撮影
	6. 揚土土捨工 1) バージアン ローダ揚土 2) 空気圧送揚土 3) リクレーマ揚土 4) バックホー揚土	1. 施工管理 使用船舶機械等（作業現場）	現地搬入前及び現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影
		バージアンローダ揚土、空気圧送揚土（排砂状況）	排砂時	
		バージアンローダ揚土、空気圧送揚土（海洋汚染防止対策）	余水吐における濁り防止 処置、設置及び状態	「特」の内容に対応させる
		リクレーマ揚土、バックホー揚土（土砂の揚土状況）	揚土作業時	
	7. 埋立土工 1) 土砂掘削	1. 施工管理 使用機械（主要機械）	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影
		仮置場及び土砂処分場（位置及び土砂処分状況）	作業時、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影
		掘削・切土（掘削、切土、穿孔及び発破状況）	作業毎、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影
		運搬（土砂の搬入、搬出状況）	同上	同上
		埋戻し及び裏込め（材料の投入及び均し状況）	同上	同上
2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）		測定時、作業毎		
2) 土砂盛土	1. 施工管理 使用機械（主要機械）	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影	
	仮置場及び土砂処分（仮置及び土砂処分状況）	作業時、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
埋立工	運搬（土砂の搬入、搬出状況） 盛土（盛土及び各層の転圧状況）	同上 同上	同上 同上	
	2. 品質管理 材料の確認（試験及び搬入状況）  3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	試験及び搬入時  測定時、作業毎	主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影項目は「品」の 1. 土及び2. 石材等による  盛土の各層の仕上り厚さが判明できるように撮影	
	3) 仮設置  1. 施工管理 仮柵、堤、栈橋、ヤード、仮道路状況 2. 材料管理・出来形確認 材料品質管理、測量状況	設置時、撤去時  実施時		
陸上地盤改良工	11 節 陸上地盤改良工 1) 圧密排水工 ・サンドドレーン	1. 施工管理 使用施工機械（クローラークレーン）  その他（発動発電機） 施工状況（作業状況） 2. 品質管理 材料の確認（品質試験状況） 材料の確認（材料置場）	現場搬入時、組立時、機械毎 同上 施工時  試験時 現場搬入時	全景  全景 全景  全景 全景
	・敷砂 ・敷砂均し	1. 施工管理 使用船舶機械等（運搬船舶機械）  使用船舶機械等（均し船舶機械）  その他（海洋汚染防止対策） その他（飛砂防止対策） 2. 品質管理 材料の確認（材料）	投入時  均し作業時  対策を講じた時 対策を講じた時  現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる）	全景が判明できるように撮影 均し用具は作業前に撮影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
陸 上 地 盤 改 良 工	・ 載荷土砂	材料の確認（品質試験状況）	毎） 試験時	全景は、位置が判明 できる背景を入れ る
		3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	
		1. 施工管理 使用船舶機械等（砂運搬船、機械）	運搬時、船舶機械毎	
		使用船舶機械等（排砂管設備）	敷設時、排砂中	
		使用船舶機械等（浚渫船（採取船））	浚渫中	
		その他（海洋汚染防止対策）	対策を講じた時	
	・ ペーパードレーン	2. 品質管理 材料の確認（材料）	現場搬入時（種類、品質 及び形状寸法の異なる 毎）	全景は、位置が判明 できる背景を入れ る
	材料の確認（品質試験状況）	試験時		
	3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時		
	1. 施工管理 使用施工機械（クローラークレーン）	現場搬入時、組立時、機 械毎	全景	
	その他（発動発電機） 施工状況（作業状況）	同上 施工時	全景 全景	
	2. 品質管理 材料の確認（品質試験状況） 材料の確認（材料置場）	試験時 現場搬入時	全景 全景	
・ グラベルドレーン	1. 施工管理 使用施工機械（クローラークレーン）	現場搬入時、組立時、機 械毎	全景	
その他（アースオーガーマシン、リー ダーオーガ、発動発電機、コンプレッサ、 トラクターショベル） 施工状況（作業状況）	現場搬入時、組立時、機 械毎 施工時	全景 全景		

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
陸 上 地 盤 改 良 工	・グラベルマット	2. 品質管理 材料の確認（品質試験状況） 材料の確認（材料置場）	試験時 現場搬入時	全景 全景	
		1. 施工管理 使用船舶機械等（運搬及び均し（船舶機械））	作業時	全景が判明できるように撮影 均し用具は作業前に撮影	
		施工状況（碎石投入状況）	投入時、規格毎及び作業機規格及び作業機械・船種毎		
		施工状況（碎石均し状況）	同上		
		その他（海洋汚染防止対策）	対策を講じた時		
		2. 品質管理 材料の確認（材料）	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）		
		材料の確認（品質試験状況）	試験時		
		3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	全景は、位置が判明できる背景を入れる	
		2) 締固工 ・サンドコンパクションパイル	1. 施工管理 使用施工機械（クローラークレーン）	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
			その他（リーダー、発動発電機、コンプレッサ、トラクターショベル） 施工状況	現場搬入時、組立時、機械毎 施工時	全景 全景
	2. 品質管理 材料の確認（材料置場） 材料の確認（品質試験状況）	現場搬入時 試験時	全景 全景		
	1. 施工管理 使用船舶機械等（使用船舶、機械等）	施工時	使用機械器具が判		

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
陸上地盤改良工	3) 固化工 深層混合処理杭	施工状況（撤去状況） その他（海洋汚染防止対策） 2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況） 1. 施工管理 使用機械等（クローラークレーン等） 施工状況（測量装置） 施工状況（障害物撤去状況） 施工状況（改良杭打設状況） 施工状況（汚染防止対策） 施工状況（改良計器類 代表的計器） 2. 品質管理 材料の確認（固化材料） 材料の確認（品質管理試験状況）	撤去中 対策を講じた時 測定時 搬入時、使用機械毎 測量時 障害物調査、撤去時 試験杭打時、作業時 対策を講じた時 計測時 現場搬入時、材料毎 試験時、試験種類毎	明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影 使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影 同上 同上 同上
土工	12 節 土工 1. 掘削工 1) 土砂掘削	1. 施工管理 使用機械（主要機械） 仮置場及び土砂処分場（位置及び土砂処分状況） 掘削・切土（掘削、切土、穿孔及び発破状況） 運搬（土砂の搬入、搬出状況） 埋戻し及び裏込め（材料の投入及び均し状況） 2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	作業時、機械毎 作業時、機械毎 作業毎、機械毎 同上 同上 測定時、作業毎	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影 埋没物等は、その状況が判明できるように撮影 同上 同上

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
土工	2. 盛土工 1) 土砂盛土	1. 施工管理 使用機械（主要機械）  仮置場及び土砂処分（仮置及び土砂処分状況） 運搬（土砂の搬入、搬出状況） 盛土（盛土及び各層の転圧状況）  2. 品質管理 材料の確認（試験及び搬入状況）  3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	作業時、機械毎  作業時、機械毎  同上 同上  試験及び搬入時  測定時、作業毎	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影 同上 同上  主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影項目は「品」の 1. 土及び2. 石材による  盛土の各層の仕上がり厚さが判明できるように撮影
	3. 路床盛土工 1) 路床盛土	1. 施工管理 使用機械（主要機械）  運搬（土砂の搬入状況）  路床盛土（路床盛土及び各層の転圧状況）  2. 品質管理 材料の確認（試験及び搬入状況）	作業時、機械毎  作業時、機械毎  試験及び搬入時	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影  主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影項目は「品」の 1. 土及び2. 石材による

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
土 工	4. 排水処理工 1)排水処理	3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時、作業毎	路床盛土の各層の 仕上がり厚さが判 明できるように撮 影
		1. 施工管理 使用機械（主要機械）	作業時、機械毎	使用機械の種類が 判明できるように 撮影
		排水（排水処理状況）	作業時、機械毎	作業状況が判明で きるように撮影
		2. 出来形管理 完了（完了全景）	完了時	
	5. 土砂運搬	1. 施工管理 使用機械（ダンプトラック、バックホ ー等）	作業時、機械毎	運搬経路がわかる ように背景を入れ る
		仮置場及び土砂処分（仮置及び土砂処 分状況）	作業時、機械毎	過積載の有無の確 認
		土砂の搬出入状況	搬出入時	
		2. 品質管理 材料の確認（搬入土の確認）	搬入時	土質の確認
	6. 伐開工 1) 伐開	3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	
		1. 施工管理 使用機械（主要機械）	作業時、機械毎	使用機械の種類が 判明できるように 撮影
		伐開（伐開、除根状況）	作業時、機械毎	各作業状況が判明 できるように撮影
		運搬（切株等の搬出状況）		
	7. 法面工 1) 法面	2. 出来形管理 完了（完了全景）	完了時	
		1. 施工管理 使用機械（主要機械）	作業時、機械毎	使用機械の種類が 判明できるように 撮影
法面（切取り状況）		作業時、機械毎	各作業状況が判明	

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
土工		運搬（土砂の搬出状況） 植生 2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時、作業毎	できるように撮影
舗装工	13節 舗装工 1. 路床工 1) 不陸整正  2. コンクリート舗装工 1) 下層路盤 2) 上層路盤          3) コンクリート舗装 4) 目地 5) 小口止め	1. 施工管理 路床（施工状況）  1. 施工管理 路盤（路盤材料均し、転圧、締固め） 2. 品質管理 材料の確認（試験及び検査）  3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）  厚さ、幅、全景  1. 施工管理 コンクリート舗装、目地（型枠据付時の路盤確認、型枠組立て、組外し、コンクリート運搬及び打設） コンクリート舗装、目地（締固め及び表面仕上げ） コンクリート舗装、目地（スリッパー、タイバー、目地材及び鉄網の設置） コンクリート舗装、目地（養生） スリッパー、タイバー鉄網寸法・位置 小口止め（施工状況） 2. 品質管理	作業時  上層、下層作業中  試験及び検査時  測定時  各層ごと60m/回  作業時  据付後40m/回  作業時	主要資材については「品」の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影  路盤の厚さが判明できるように撮影  各作業が判明できるように撮影

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
舗 装 工	3. アスファルト舗装工 1) 下層路盤 2) 上層路盤       3) 基層 4) 表層	材料の確認（試験及び検査）	試験及び検査時	主要資材については、「品」の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影 但し、JIS 工場の場合は省略 設計基準強度の撮影はσ28のみ  コンクリート舗装の鉄網、目地及び舗設厚さが判明できるように撮影  主要資材については「品」の項目による試験及び検査の状況がわかるように撮影 路盤の厚さが判明できるように撮影  各作業が判明できるように撮影  主要資材について
		試験練り（試験状況、供試体作成及び養生状況）	試験時、養生時	
		強度試験（試験状況）	試験時	
		現場試験（スランプ、空気量、温度測定状況）	供試体作成時	
		3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	
		路盤紙重ね寸法	敷設後40m/回	
		1. 施工管理 路盤（路盤材料均し、転圧、締固め）	上層、下層作業中	
		2. 品質管理 材料の確認（試験及び検査）	試験及び検査時	
		3. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時	
		厚さ、幅、全景	各層ごと60m/回	
1. 施工管理 基層、表層（型枠組立て）	作業時			
基層、表層（タックコート、プライムコート散布）				
基層、表層（舗設、締固め）				
2. 品質管理 材料の確認（試験及び検査）	試験及び検査時			

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
舗 装 工		3. 出来形管理 出来形の確認(測定状況)	測定時	は「品」の項目による試験及び検査の状況がわかるように撮影	
	4. 道路付属工			舗設厚さが判明できるように撮影	
	1) 縁石	1. 施工管理 縁石(据付、目地材の設置) 2. 品質管理 材料の確認(試験及び検査)	コア全数、実施中 60m/回  作業時	試験及び検査時	主要資材については「品」の18の項目による試験及び検査の状況がわかるように撮影
		3. 出来形管理 出来形の確認(測定状況)	測定時	測定作業が判明できるように撮影	
	2) 区画線及び道路標示	1. 施工管理 区画線、道路標示(舗装状況) 2. 品質管理 材料の確認(試験及び検査)	作業時  試験及び検査時	主要資材については「品」の18のその他の項目による試験及び検査の状況がわかるように撮影	
		3. 出来形管理 出来形の確認(測定状況)	測定時	測定作業が判明できるように撮影	
	3) 道路標識	1. 施工管理 道路標識(基礎幅、深さ、標識設置状況) 2. 品質管理 材料の確認(試験及び検査)	作業時  試験及び検査時	主要資材について	

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
舗 装 工	4) 防護柵	3. 出来形管理 出来形の確認(測定状況)  1. 施工管理 防護柵(設置穴の状況、防護柵設置状 況)  2. 品質管理 材料の確認(試験及び検査)  3. 出来形管理 出来形の確認(測定状況)	測定時  作業時  試験及び検査時  測定時	は「品」の18のそ の他の項目による 試験及び検査の状 況がわかるように 撮影  測定作業が判明で けるように撮影  主要資材について は「品」の18のそ の他の項目による 試験及び検査の状 況がわかるように 撮影  測定作業が判明で けるように撮影
維 持 補 修 工	14節 維持補修工 1. 維持塗装工 1) 係船柱塗装 2) 車止塗装 3) 縁金物塗装  2. 防食工 1) 電気防食	1. 施工管理 使用船舶機械等(使用船舶、機械類)  塗装(施工状況)  2. 出来形管理 出来形の確認(塗装完了状態)  1. 施工管理 使用船舶機械等(曳船、台船、潜水土 船、溶接機)  製品(陽極)(取付陽極)	施工時  施工時、各層毎  完了時  取付時  取付前	曳船、台船、コンプ レッサ等が判明で けるように撮影  完了の部分(1箇 所)及び正面全体と 延長方向を撮影  使用する船舶機械 等が判明できるよ うに撮影  取付陽極の部分(1 組)及び取付陽極全 体

区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
維持 補 修 工	(素地調整)	取付け (陽極) 取付状況	取付時	取付状況 (水中写真)	
		電位測定装置 (設置状況)	取付時	測定用端子の設置状況	
		2. 品質管理 形状寸法 (測定状況)	測定時		
		3. 出来形管理 出来形の確認 (陽極) (取付完了状態)	取付完了時	潜水士船による確認検査状況	
		電位測定装置 (電位測定)	測定時	電位差測定の状況	
		1. 施工管理 使用機械 (ブレーカ、ブラスト等)	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影	
		施工状況 (作業状況)	作業中		
		2. 出来形管理 完成 (完成全景)	完成時		
		2) FRPモルタル被覆	1. 施工管理 使用船舶機械 (曳船、台船、潜水士船、溶接機)	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
			施工状況 (モルタル注入) 製品 (FRP)	施工時 取付前、取付後	
	施工状況 (設置状況)		取付時	FRP被覆材の設置状況	
	2. 品質管理 形状寸法 (測定状況)		測定時		
	3. 出来形管理 出来形の確認 (陽極) 取付完了状態		取付完了時	潜水士船による確認検査状況	
	電位測定装置 (電位測定)		測定時	電位差測定の状況	
	(素地調整)	1. 施工管理 使用機械 (ブレーカ、ブラスト等)	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影	
	施工状況 (作業状況)	作業中			
2. 出来形管理 完成 (完成全景)	完成時				

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
維 持 補 修 工	(モルタル工)	1. 施工管理 使用機械（ブレーカ、ブラスト等）	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況（作業状況）	作業中	
		2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況） 完成（完成全景）	測定時 完成時	
	3) ペトロラタム被覆	1. 施工管理 使用船舶機械（曳船、台船、潜水土船、溶接機）	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		製品（FRP） 施工状況（設置状況）	取付前、取付後 取付時	FRP被覆材の設置状況
		2. 品質管理 形状寸法（測定状況）	測定時	
		3. 出来形管理 出来形の確認（陽極）取付完了状態	取付完了時	潜水土船による確認検査状況
		電位測定装置（電位測定）	測定時	電位差測定の状態
	(素地調整)	1. 施工管理 使用機械（ブレーカ、ブラスト等）	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況（作業状況）	作業中	
		2. 出来形管理 完成（完成全景）	完成時	
	(モルタル工)	1. 施工管理 使用機械（ブレーカ、ブラスト等）	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
	施工状況（作業状況）	作業中		
	2. 出来形管理 出来形の確認（測定状況）	測定時		

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
維持補修工	4) コンクリート被覆	完成 (完成全景) 1. 施工管理 使用船舶機械等 (使用船舶、機械類) 被覆防食の作業状況 (施工状況) 2. 出来形管理 出来形の確認 (被覆防食完了状態)	完成時 施工時 施工時 完了時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影 完了の部分 (1箇所) 及び正面全体と延長方向を撮影
	5) 防食塗装	1. 施工管理 使用船舶機械等 (使用船舶、機械類) 塗装 (施工状況) 2. 出来形管理 出来形の確認 (塗装完了状態)	施工時 施工時、各層毎 完了時	曳船、台船、コンプレッサー等が判明できるように撮影 完了の部分 (1箇所) 及び正面全体と延長方向を撮影
構造物撤去工	15節 構造物撤去工 1. 取壊し工 1) コンクリート取壊し 2. 撤去工 1) 水中コンクリート撤去 2) 鋼矢板等切断撤去 3) 腹起・タイ材撤去	1. 施工管理 使用船舶機械等 (使用船舶、機械類) 施工状況 (作業業況) 2. 出来形管理 出来形の確認 (測定状況) 完成 (完成全景) 1. 施工管理 使用船舶機械等 (使用船舶、機械等) 施工状況 (作業状況) 2. 出来形管理	施工時 作業中 測定時 完成時 施工時 作業中	使用機械器具が判明できるように撮影 使用機械器具が判明できるように撮影

区 分		撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
構 造 物 撤 去 工	4) 舗装版撤去 5) 石材撤去 6) ケーソン撤去 7) ブロック撤去 8) 鋼矢板・H形鋼 杭引抜き撤去	出来形の確認（測定状況） 完成（完成全景）	測定時 完成時	
仮 設 工	16節 仮設工 1. 仮設鋼矢板港 1) 仮設鋼矢板・H 形鋼杭	1. 施工管理 矢板の保管（保管状況）  矢板の積込み（吊上げ及び積込状況）  矢板の運搬（運搬状況）  導材の設置（導材の設置状況）  矢板の建込み（建込状況（位置出し、 吊込み、建込み等）） 矢板の打込み（打込状況）  矢板の打込み（ハンマーの種類、形式 等） 矢板の打込み（打込記録中） 矢板の打込み（飛油、騒音防止対策）	保管時  作業時  作業時  作業時  作業時  適宜  測定時 対策を講じた時	全景及びまくら木、 くさび等の変形、転 落防止措置を撮影 使用機械器具、積込 方法が判明できる ように撮影 荷くずれ防止装置、 台船への積載状況、 使用船舶機械等が 判明できるように 撮影 使用材料及び船舶 機械、導材の構造が 判明できるように 撮影 作業状況が判明で きるように撮影 杭打船等の全景、打 込み方法、順序等が 判明できるように 撮影 同上  同上 飛油対策、騒音防止 対策等を行った場 合

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
仮設工	継ぎ手部の離脱（離脱箇所）	離脱があったとき	離脱部が撮影できない場合は監督員の承諾を得ること	
	2. 品質管理 矢板の規格、外観、形状寸法（観察、測定状況）	観察、測定時	種類、形状寸法が変わる毎にテープ等を同時撮影	
	3. 出来形管理 出来形の確認（測定作業状況）	施工中及び打込完了時		
	2. 仮設鋼管杭・鋼管矢板工 1) 先行掘削	1. 施工管理 掘削（掘削状況）	作業時	
	2) 仮設鋼管杭・鋼管矢板	1. 施工管理 杭の保管（保管状況）	保管時	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影
		杭の積込み（吊上げ及び積込状況）	作業時	使用機械器具、積込方法が判明できるように撮影
		杭の運搬（運搬状況）	作業時	荷崩れ防止措置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影
		導材の設置（導材の設置状況）	作業時	使用材料及び船舶機械、導材の構造が判明できるように撮影
		杭の建込み（建込み状況（位置出し、吊込み、建込み等））	作業時	作業状況が判明できるように撮影
		杭の打込み（打込状況）	作業時	杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影
		杭の打込み（ハンマーの種類、形式等）	適宜	同上
		杭の打込み（打込記録中）	測定時	同上
	杭の打込み（飛油、騒音防止対策）	対策を講じた時	飛油、騒音防止対策	

区 分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考	
仮設工	<p>2. 品質管理 杭の規格、外観、形状寸法（観察、測定状況）</p> <p>3. 出来形管理 出来形の確認（測定作業状況）</p>	<p>観察、測定時</p> <p>施工中及び打込完了時</p>	<p>等を行った場合</p> <p>種類、形状寸法が変わる毎にテープ等を同時撮影</p> <p>舗装工を準用</p>	
雑工	<p>17節 雑工</p> <p>1. 現場鋼材溶接工</p> <p>1) 現場鋼材溶接</p> <p>2) 被覆溶接（水中）</p> <p>3) スタッド溶接（水中）</p> <p>2. 現場鋼材切断工</p> <p>1) 現場鋼材切断</p>	<p>1. 施工管理 開先の加工（加工状況）</p> <p>溶接（作業状況）、カキケレン状況（陸上）</p> <p>水中溶接（作業状況）、カキケレン状況（水中）</p> <p>2. 品質管理 溶接棒、溶接ワイヤー（「特」の品質であることの表示）</p> <p>3. 出来形管理 外観、形状寸法（観察、測定状況） 外観、形状寸法（形状寸法） 試験（試料の採取状況） 試験（強度試験の状況） 試験（非破壊試験の状況） 試験（カラーチェックの結果）</p> <p>1. 施工管理 切断作業状況、カキケレン状況（陸上）</p> <p>水中切断作業状況、カキケレン状況</p>	<p>作業中</p> <p>作業中</p> <p>作業中</p> <p>使用前</p> <p>測定時 測定時 採取前及び採取時 試験時 同上 同上</p> <p>作業中</p> <p>作業中</p>	<p>使用機械器具が判明できるように撮影</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>包装の表示が判明できるように撮影</p> <p>ゲージを同時撮影</p> <p>使用機械器具が判明できるように撮影</p>

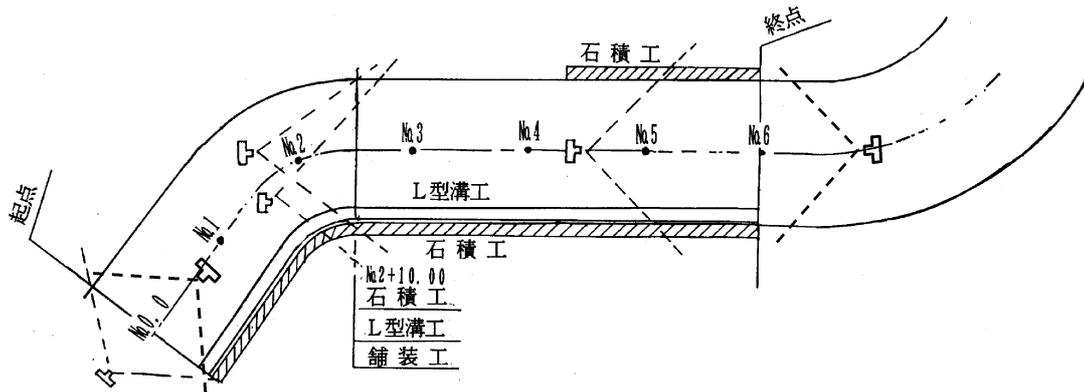
区	分	撮影箇所及び内容	撮影時期頻度	備 考
雑工	3. その他雑工 1) 清掃	(水中) 2. 品質管理 酸素ガス及び溶解アセチレン (「特」の品質であることの表示) 3. 出来形管理 外観、形状寸法 (観察、測定状況) 外観、形状寸法 (形状寸法) 1. 施工管理 使用機械 (ブレーカ、ブラスト等) 施工状況 (作業状況) 2. 出来形管理 施工前区域 (施工前) 完成 (完成全景)	使用前 測定時 測定時 施工時 作業中 施工前 完成時	ボンベの表示等が判明できるように撮影 ゲージを同時撮影 同上 使用機械器具が判明できるように撮影 全体区域、部分的に施工前及び完成の状況が判明できるように撮影
	2) 削孔	1. 施工管理 使用機械 (ブレーカ、ブラスト等) 施工状況 (作業状況) 2. 出来形管理 出来形の確認 (測定状況) 完成 (完成全景)	施工時 作業中 測定時 完成時	使用機械器具が判明できるように撮影
	橋梁工 (本基準にない工種) 電線共同溝 街築工 トンネル工 河川工事 砂防工事	工事記録写真撮影基準 (建設局) による		

(3) 撮影の要点及び撮影例

A. 参考・撮影の要点 (土木)

1) 施工位置区間の表示

- a. 施工区間の長いものについては、つなぎ写真として起終点及び中間点 (数点) にポール等を立て、図-1. 1 のように表示する。
- b. 各種の着手前及び完了後の撮影は、測点にポール等を立て、図-1. 2 のように表示する。



工事記録写真計画図

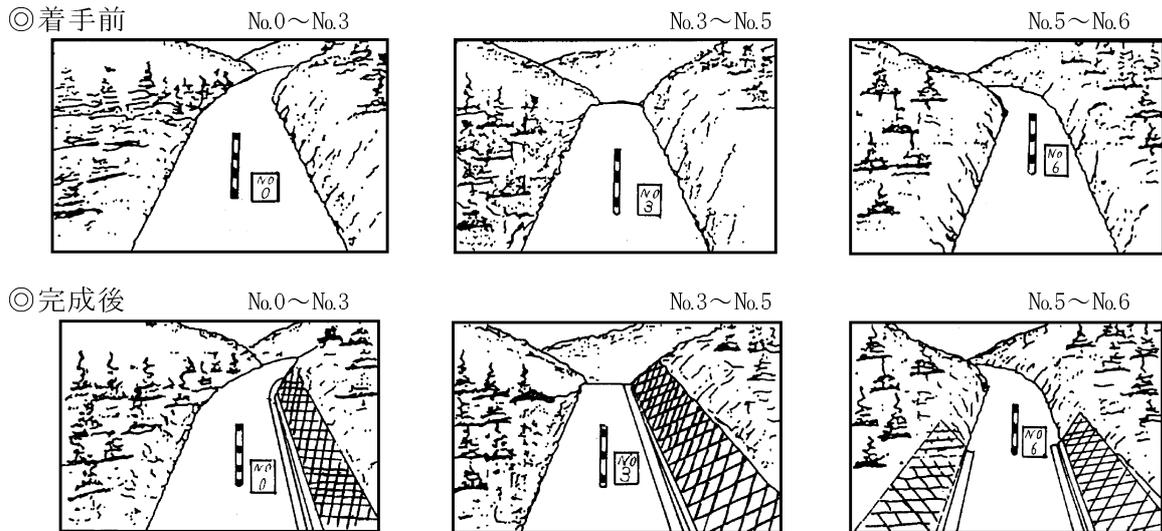


図-1. 1

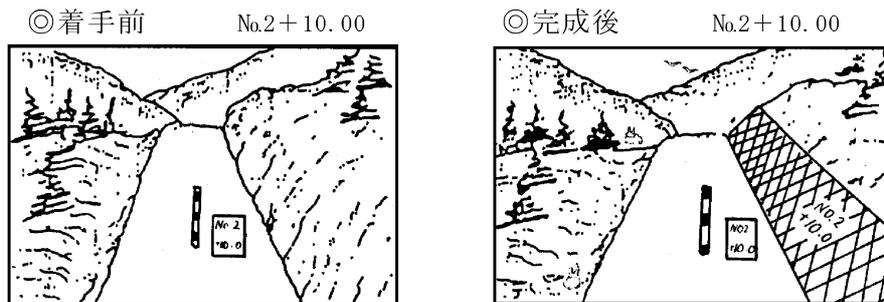


図-1. 2 各工種着手前・完成後写真

## 2) 形状寸法の確認方法

構造物等については、付近を整理整頓して、形状寸法、位置等が判別できるように黒板と測定尺、ポール又はリボンテープ等を目的物に添える。

また、位置の確認を容易にするため、丁張及び背景を入れ、黒板には目的物の形状寸法及び位置（測点）を記入する（図-2. 1, 2. 2）。

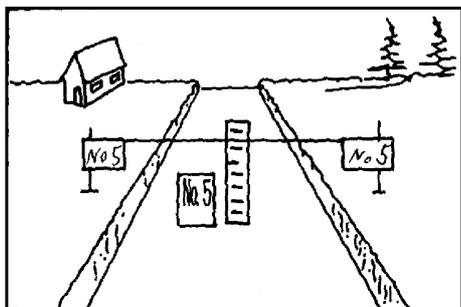


図-2. 1

工 事 件 名	
路 線	
測 点	
説明図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計寸法</li> <li>・ 実測寸法</li> <li>・ 撮影日</li> </ul>

(注) 構造物を撮影する場合は、  
構造物と説明図は同じ向き  
とする。

図-2. 2 黒板記載事項

### ・ 測 定 器 具

スタッフ

測定尺

リボンテープ



(注) 1. スタッフ、測定尺を使用する場合には、寸法が正確に確認できるように指示棒を添える（図-2. 3）。

2. 指示糸（水糸）を曇りや夜間などに使用した場合は、糸が判別しにくいことがあるので、うすい白紙等を糸にかけて高さを明示する（図-2. 4）。

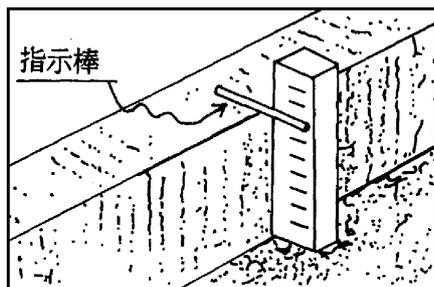


図-2. 3

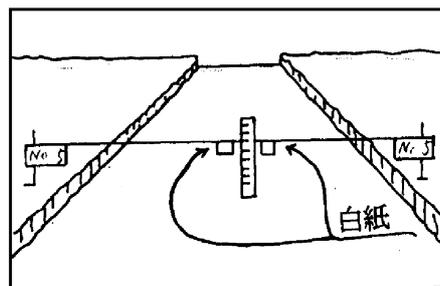


図-2. 4

### 3) 撮影の方法

- 各工種の撮影は、同一箇所を施工の各段階において、施工状況や形状寸法、試験状況等を同一位置、同一方向から同一背景を画面に入れて行う（図-3.1）。
- 最終工程の完成時の写真にも、丁張を入れて撮影する。
- 写真撮影は、その工種の完了を証明するものなので、他の工種の手直しややり残しが見受けられるような写真は撮らない。

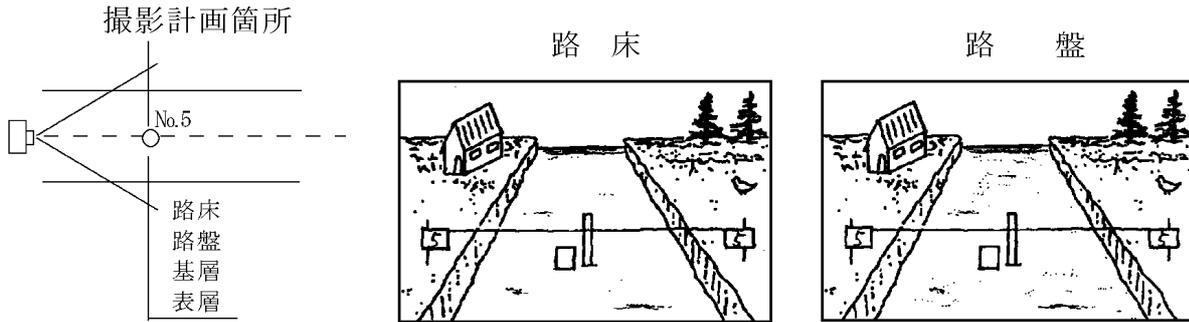


図-3.1

ただし、上記写真で寸法が判読しにくい場合には、全景（図-3.1）を撮影した後、接近して局部を撮影する（図-3.2）。

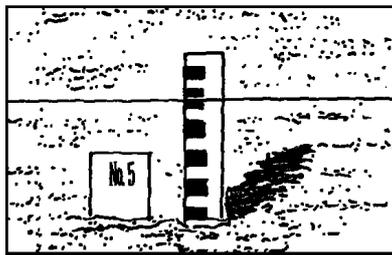


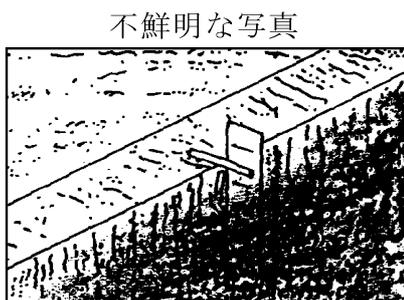
図-3.2

- (注) 1. 測点番号を含めて撮影する。  
2. 幅員が広い場合、測定尺を等間隔に数カ所撮影する。

#### ① 構造物の撮影

形状寸法の撮影については、目的物がカメラの枠内に入るように撮影の位置や方向、角度、目的物の鮮明度等に注意して撮影する。

ただし、目的物が不鮮明（影、夜間等）な場合には、照明又は反射板等を使用して撮影する。



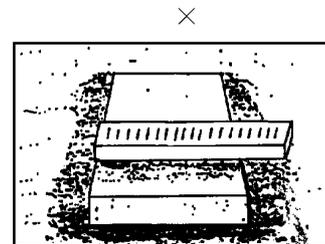
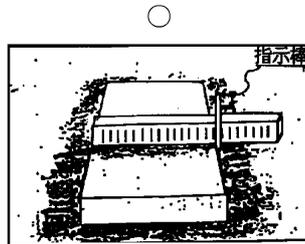
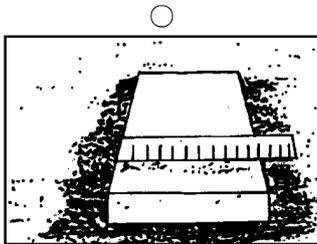
- (注) 1. 測定尺の目盛と構造物の底部や基礎との接触部が確認できない。  
2. 測定尺の目盛と構造物を密着する。

撮影時の測定器具の使い方について、正しい撮り方（○）と悪い撮り方（×）の事例を次に示す。

①-1 平面部の撮影

・測定尺又はリボンテープ等使用の場合

・スタッフ又は測定尺等使用の場合

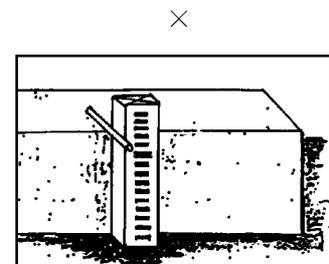
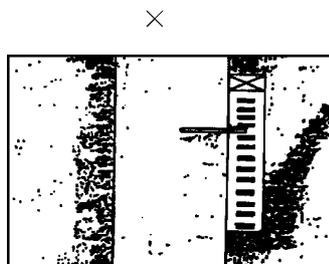
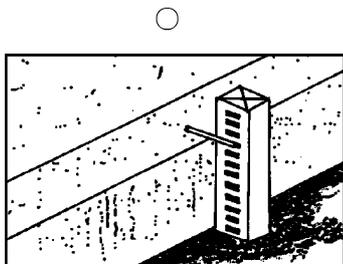
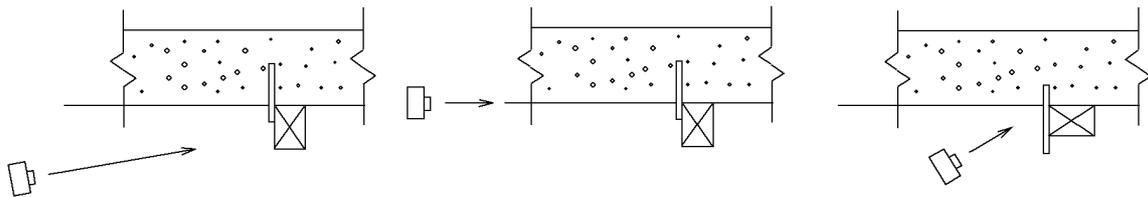


（注）構造物と測定器具等に指示棒を添えて位置寸法を明確に撮影する。

（注）構造物と目盛との間に空間があるため位置寸法が明確でない。

①-2 側面部の撮影

・スタッフ又は測定尺等を使用

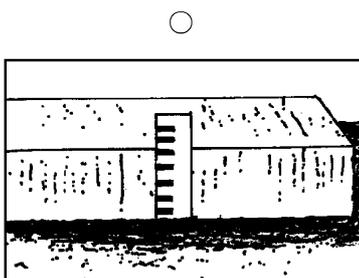


（注）構造物と測定器具等に指示棒を添えて位置寸法を明確に撮影する。

（注）平面図カメラ位置からの撮影は目的物の側面と底部が明確でない。

（注）構造物と目盛との間に空間があるため位置寸法が明確でない。

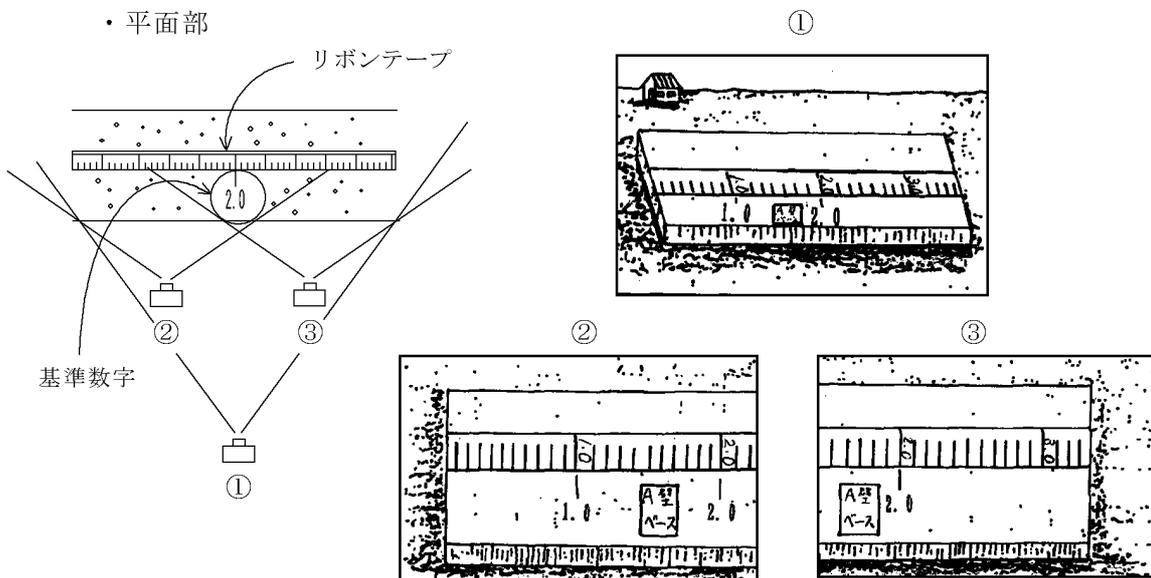
・測定尺等を使用



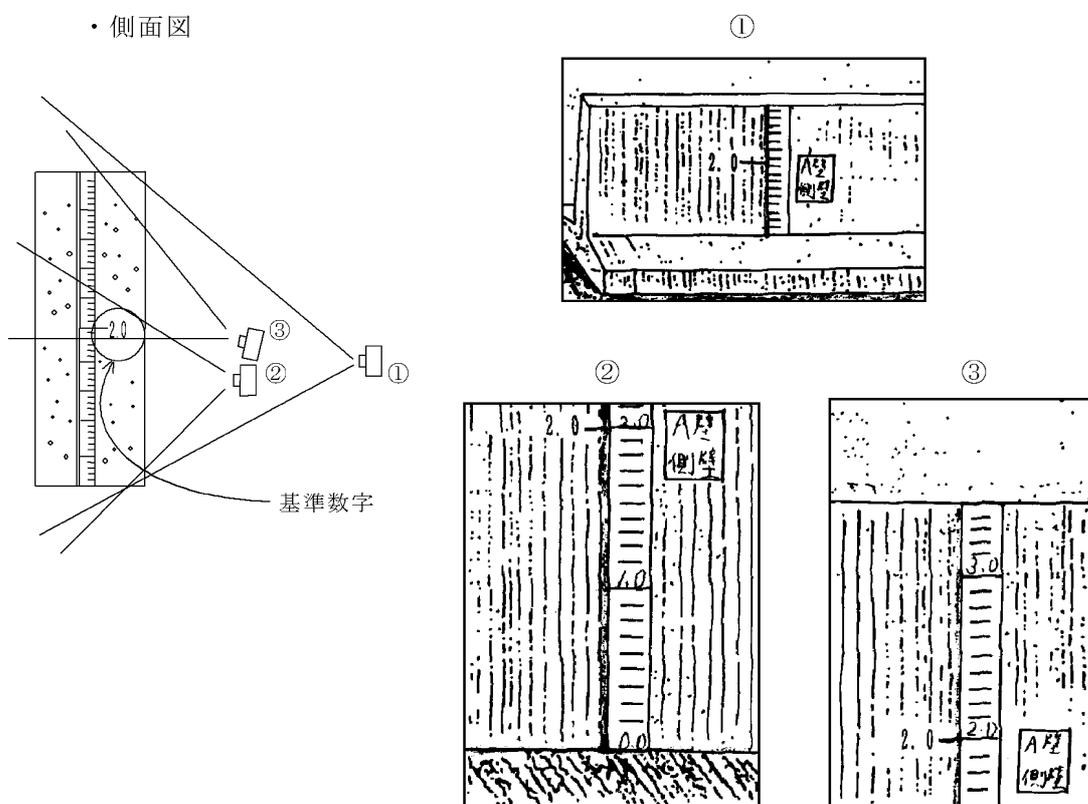
（注） 1. 斜め上部から地上部を確認できるように撮影する。  
2. 測定尺の下に零位点を明示するため白紙等を敷き撮影する。

①-3 長大構造物の撮影

長大構造物の撮影の場合、全景写真①のみでは目盛が判読しにくい時は、全景を撮影したあと②、③のようにそれぞれ基準数字を重ねて拡大撮影する。



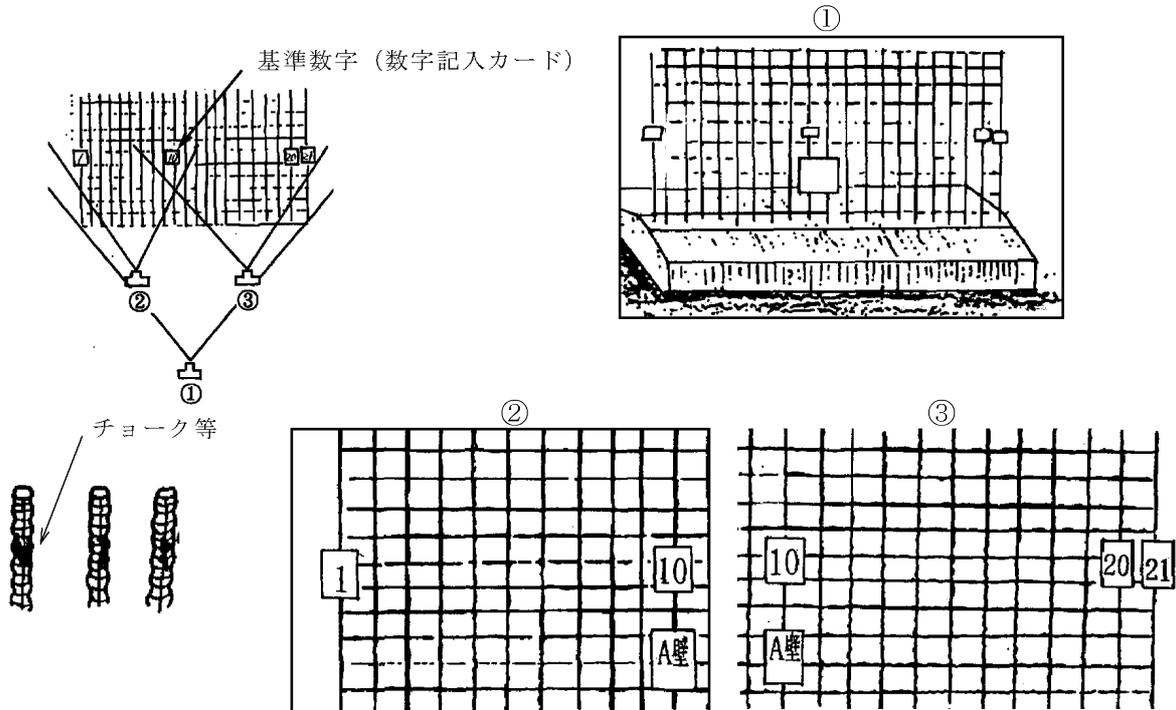
(注) 基準数字はチョーク又はマジック等で表示する。



(注) 基準数字はチョーク又はマジック等で表示する。

② 鉄筋配筋本数の撮影

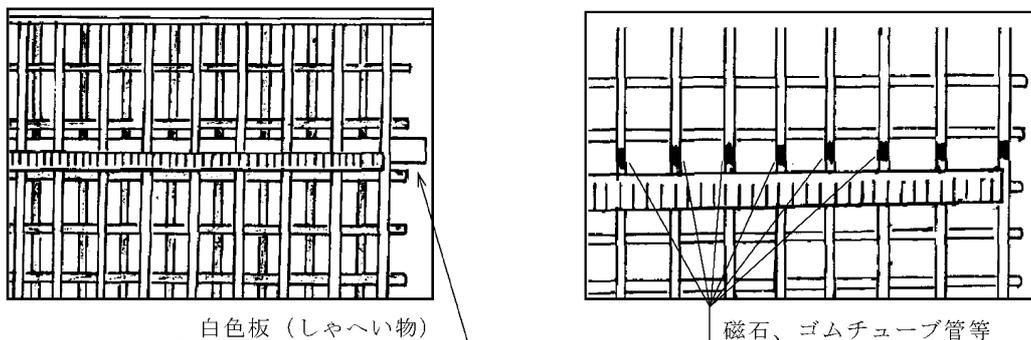
配筋本数の撮影の場合、全景写真①のみでは本数が明確に確認できない時は、全景を撮影した後、②、③のようにそれぞれ基準数字を重ねて拡大撮影する。



- (注) 1. 10本間隔の数字カード並びに最終数字カード等を鉄筋に取り付ける。  
 2. 鉄筋に磁石、ゴムチューブ管、チョーク等で目印をする（テープは後に残るので不可）。  
 3. 黒板に鉄筋の形状等を記入する。

③ 重複する被写体の処理

被写体が重なる等判別が困難な場合には、原則としてその中間に白色等しゃへい物を挿入する。または、磁石、ゴムチューブ管等で目的物に表示する。



- (注) 表筋、裏筋等を色別にする。

④ 壺掘りの撮影

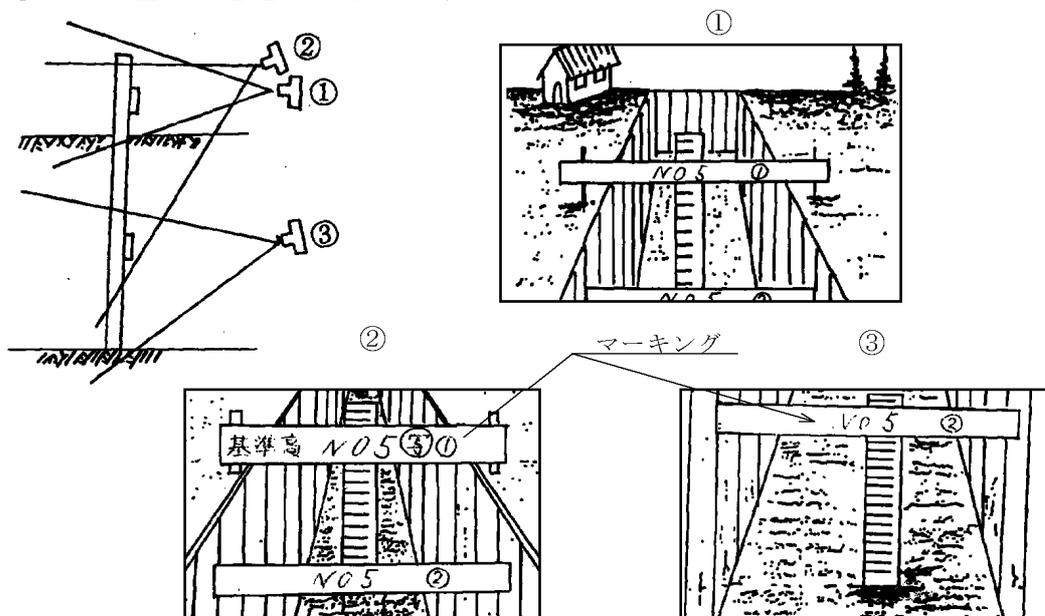
写真は、丁張からの下がり寸法の積み重ね写真で管理するので、原則として壺掘りの写真は撮影しない。

なお、撮り忘れた場合等には、監督員の立ち会いで撮影する。

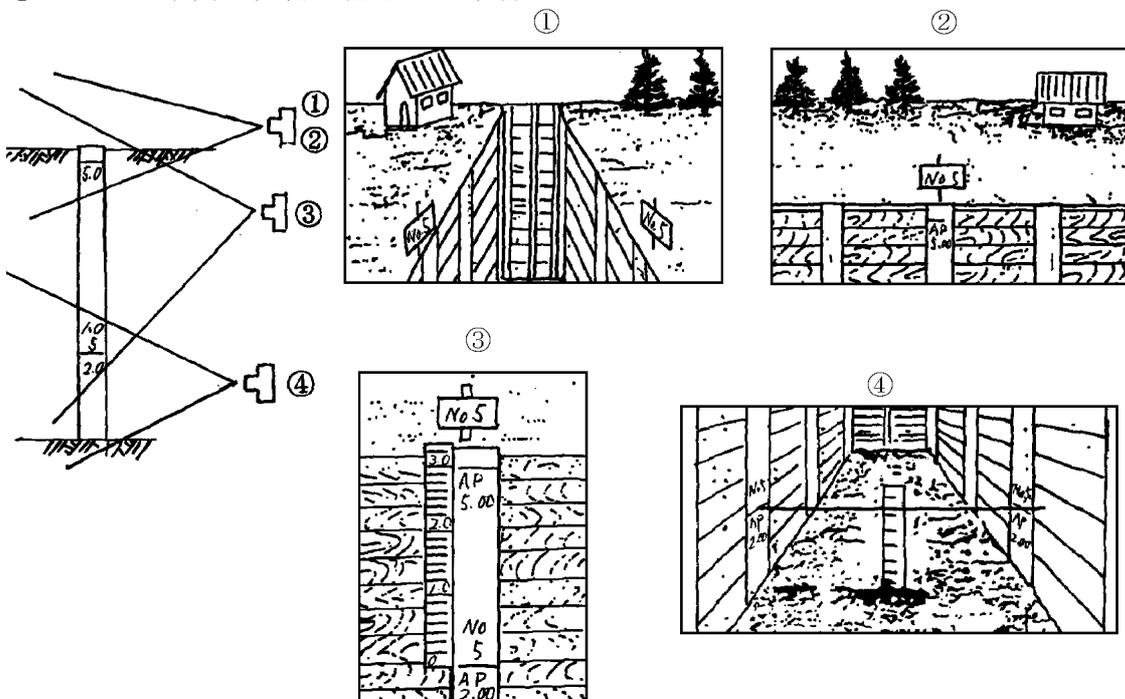
⑤ 床付が深い場合の撮影

基準高点（丁張）から床付までの高さを撮影する場合には、丁張を設置して、横木に撮影計画番号をペンキ又はマジックで表示する。全景を撮影した後、接近して、丁張又は基準線（水系）並びに測定尺の零位点が明確にできるよう拡大撮影する。

⑤-1 基準高さを丁張とした場合



⑤-2 基準高を山留側面とした場合

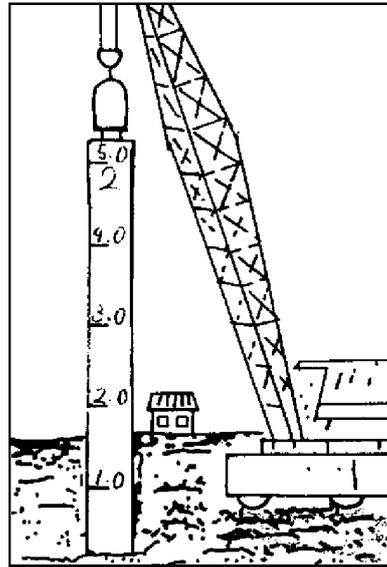


(注) 1. 丁張にも基準高を記入する。

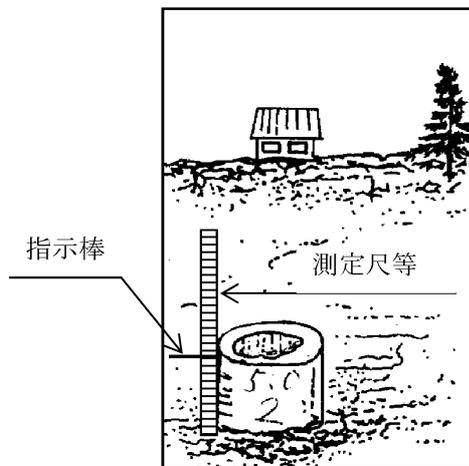
2. 逆光や夏期の撮影は、映像が得られないことがあるので注意する。

#### 4) 番号による表示

矢板や杭などの施工状況を撮影する場合には、打込み番号をつけて、建込みの状況及び終了の状況が判別できるようにする。



(注) 打込み前に、矢板及び杭などにリボンテープ等をあて、高さの表示をする。



(注) 打込み後に、矢板及び杭などに測定尺等をあて、高さの表示をする。

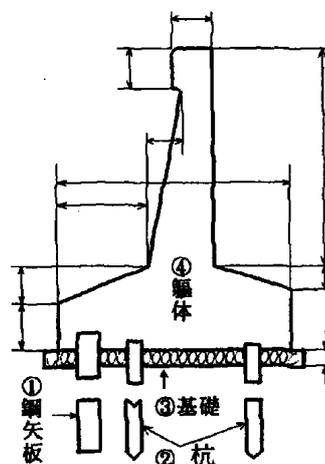
B. 参考・撮影例（土木）

黒板記載事項

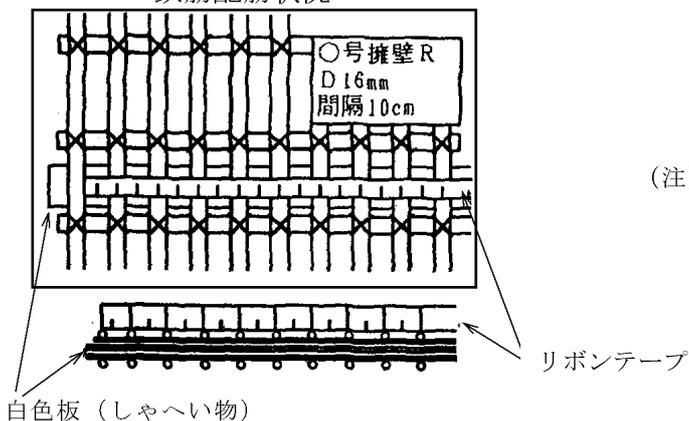
工事件名	
工種	
測点	
撮影日	
説明	
請負者:○○(株)	

(注) 構造物を撮影する場合は、  
構造物と説明図は同じ向きと  
すること。

擁壁の例



鉄筋配筋状況

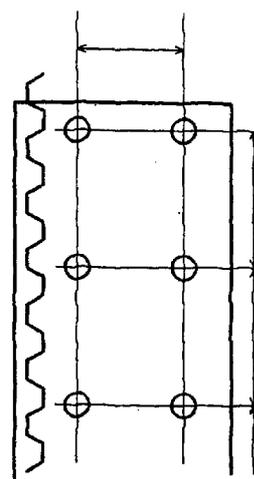


(注) 1. 寸法線は測定個所  
2. 番号は説明順序

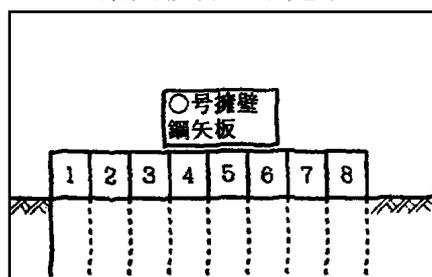
(注)

1. 配筋完了の際、配筋の間隔がわかるように全景写真を撮ること。
2. 鉄筋10本ごとに番号札等を付けること。
3. 継手のある場合は継手箇所並びにラップ長を撮ること。
4. 鉄筋の被りを撮ること。

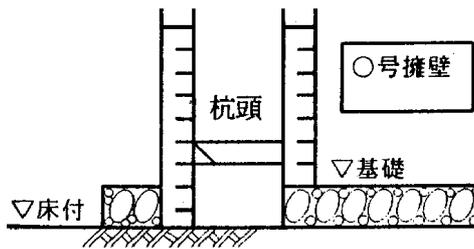
基礎杭測定個所



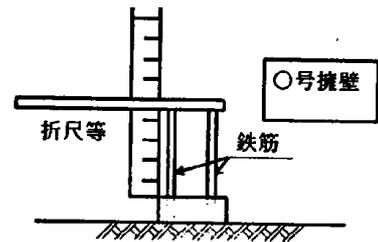
鋼矢板打込み完了



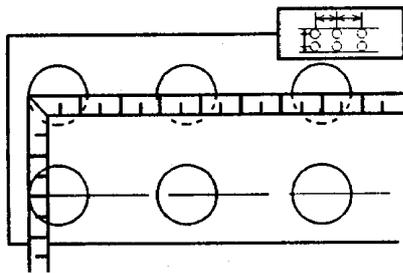
床付（基礎）面から杭頭までの高さ



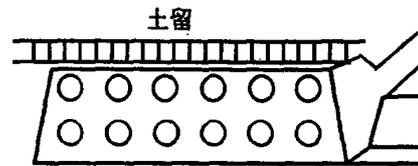
杭頭部仕上げ



杭の間隔

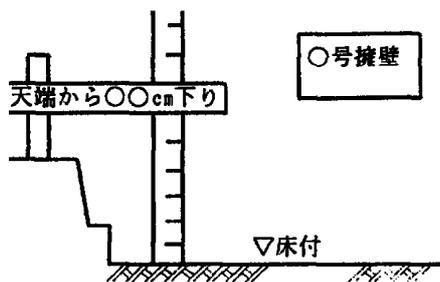


杭配置全景

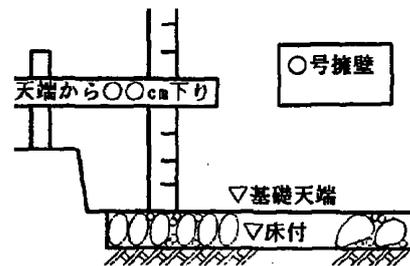


(注) 杭番号は杭頭部側面に記入する。

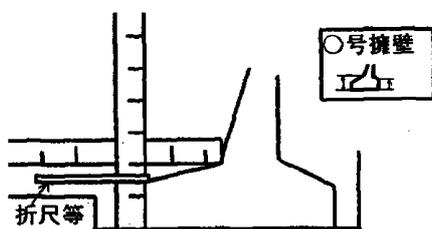
床付



基礎の厚さ



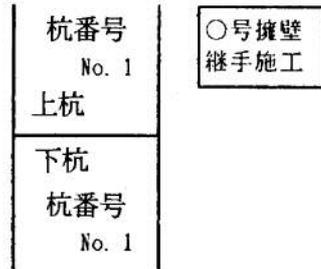
躯体形状寸法



(注) 基礎は、目潰し材を入れた転厚後の写真とする。

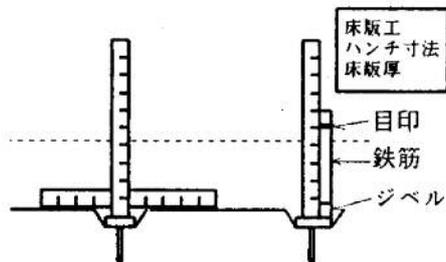
- (注) 1. 黒板の図は必ず向きを同じにして記入すること。
2. 高さ、厚さ等についてはリボンテープ等に折尺等を添えて寸法の位置を明確に写すこと。
- (以下、各工事共同)

## 杭継手

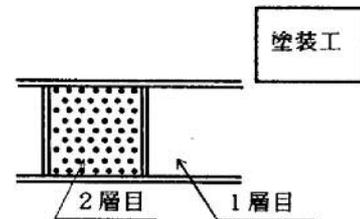


- (注) 1. 杭番号は、チョーク又はマジック等で表示すること。  
2. 溶接部と同じ高さで水平に2方向から撮影すること。

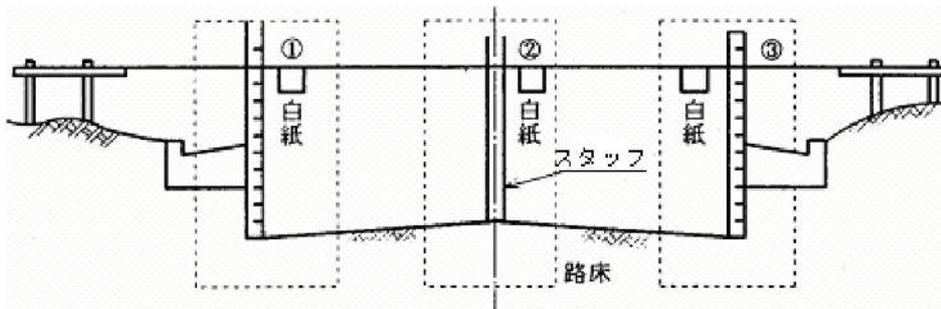
## 床版工（床版厚、ハンチ高、幅）



## 塗装（塗装施工中）

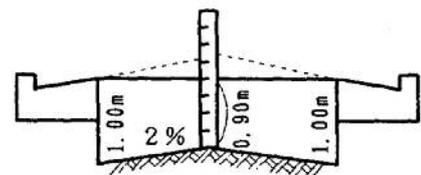


## 舗装工及び路盤工（断面測定例）

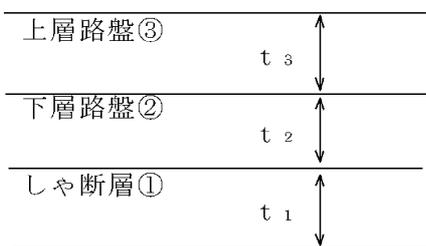


- (注) 1. 全景を撮影した後、①、②及び③をそのネガ等を利用してトリミング（拡大）する。トリミング不能な場合は、全景撮影後、①、②及び③をそれぞれ部分的に撮影すること。  
2. 下層、上層路盤とも上図に準ずる。  
3. 曇、夜間の場合は、水系に白紙をかけて高さを明示する。  
4. 黒板に横断勾配の表示をする。  
5. 夜間は、中心部の撮影が難しいので、測点を明示した両側とつなぎ写真とする。  
6. 片側施工の場合又は施工幅員の大きな場合は、丁張を基準とする。

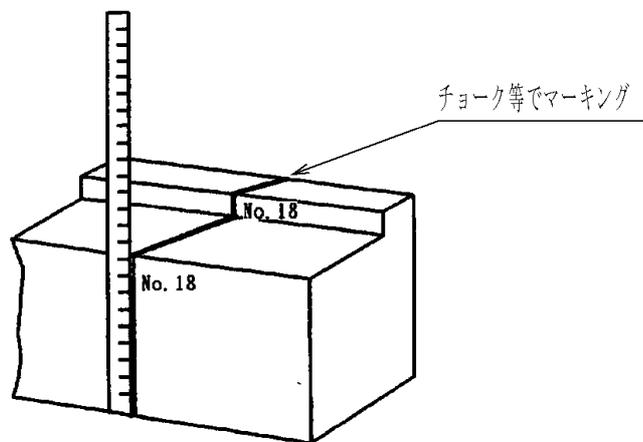
## 黒板記載例



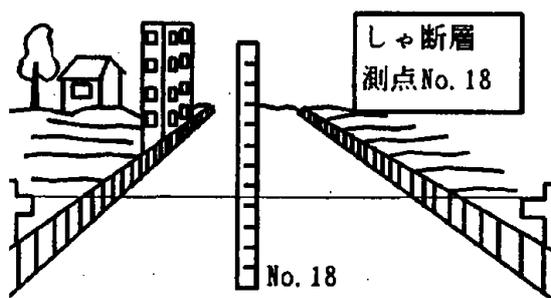
路盤工の例



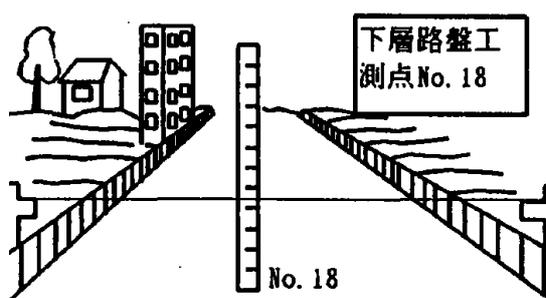
舗装工測点表示の例



路盤厚測定①しゃ断層（転圧後）

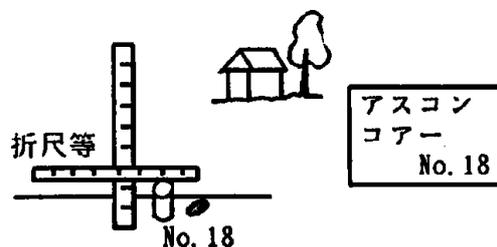


路盤厚測定②下層路盤層（転圧後）



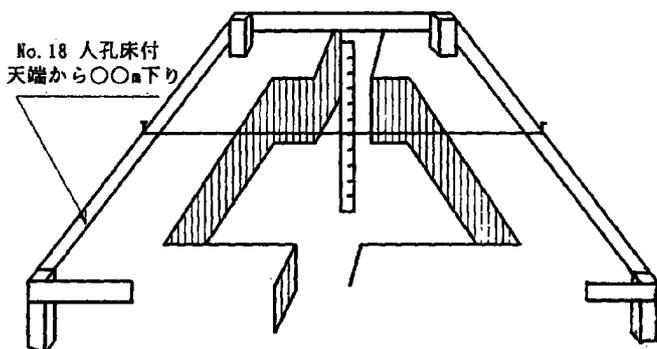
(注) 同一箇所を積上げ、厚さは水糸を基準として測定する。

(注) ③の上層路盤層は②に準じ写すこと。



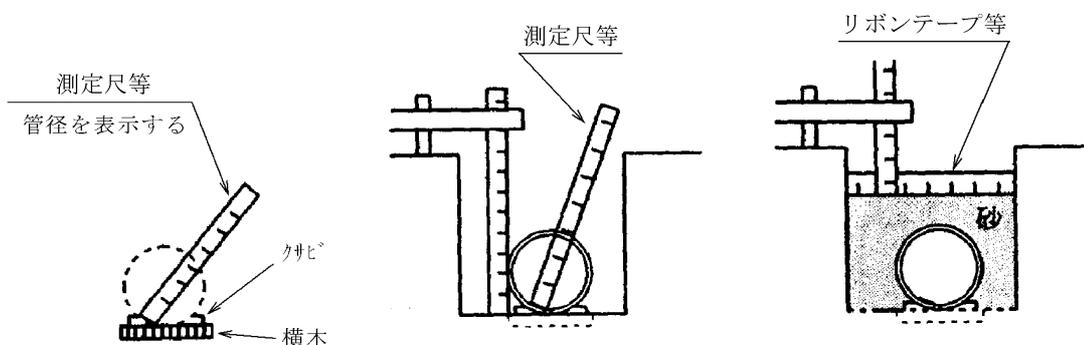
(注) コアの採取場所は図面と対比できるように図面にその位置を記載しておくこと。

### 人孔工（床付）

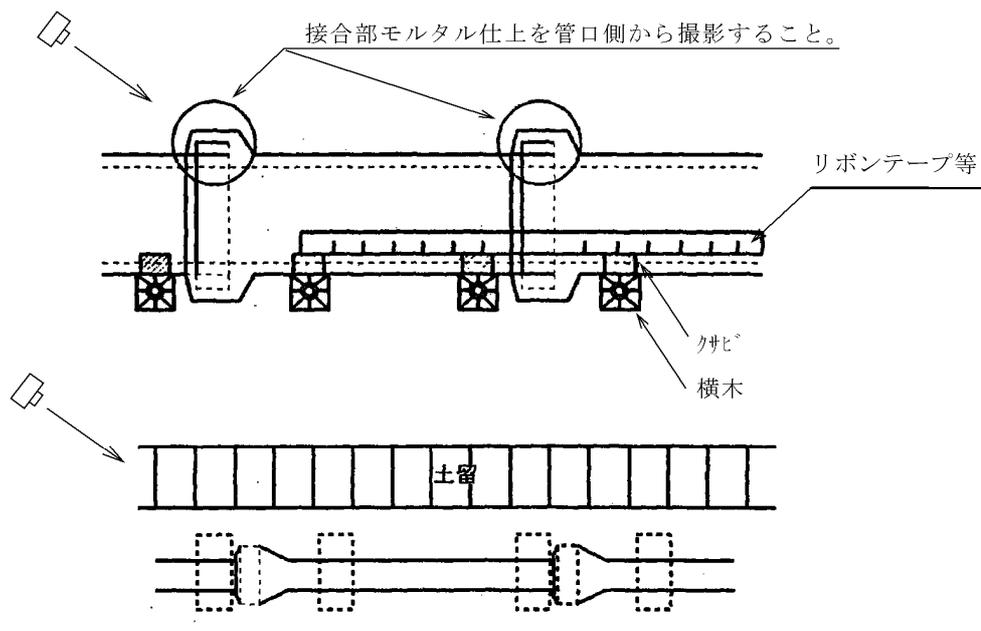


- (注) 1. 原則として床付、基礎等の高さを確認するため丁張を入れて撮影すること（以下、各工事共同じ）  
 2. 丁張は測点（No.点）に設置することを原則とし、位置を明記すること。

### 枕土台基礎管きょ工

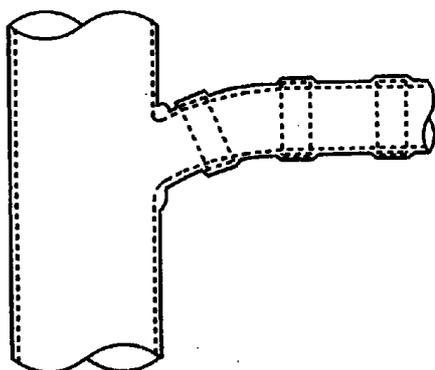


撮影方向



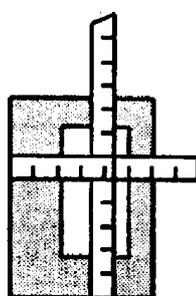
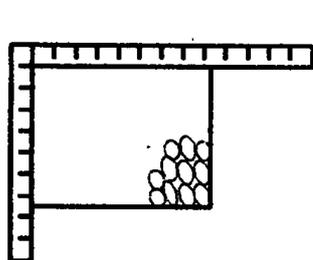
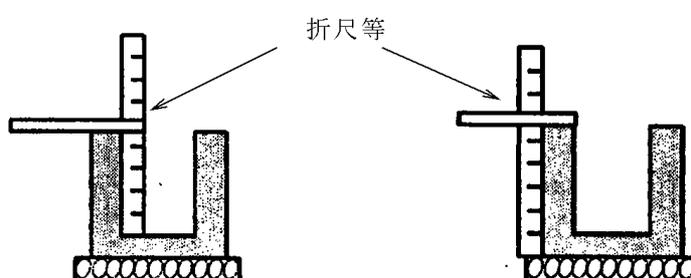
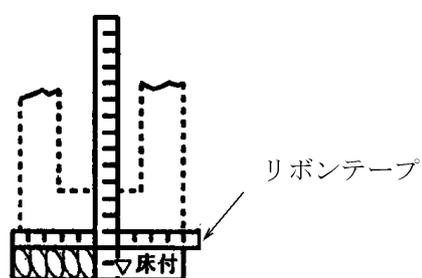
- (注) 1. 横木、クサビの敷設状況を明確に写すこと。  
 2. 梯子胴木基礎についてもこれに準じる。

### 取付管工



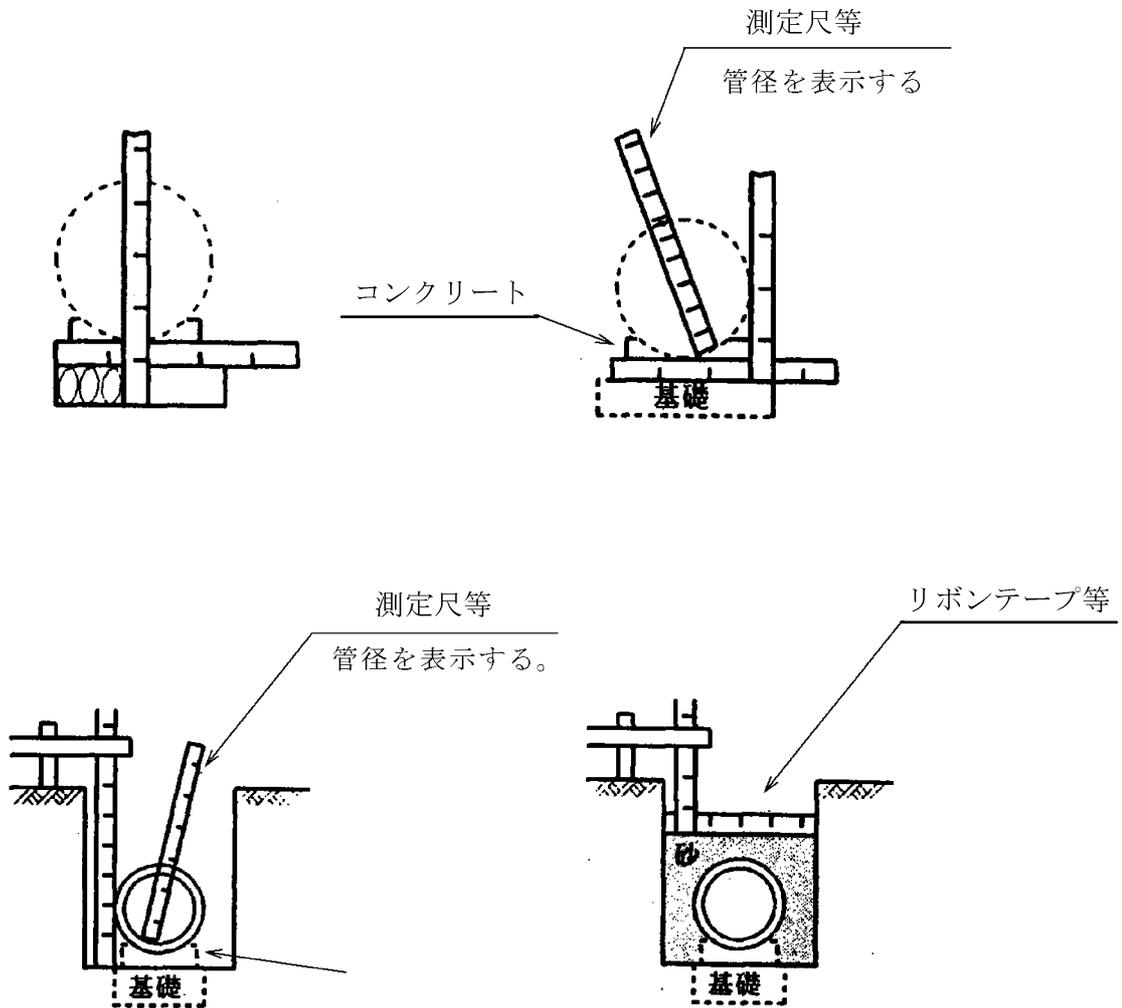
- (注) 1. 排水本管との接続部及び敷設後を撮影すること。  
2. 断面は管きよ工に準じる。

### ます工

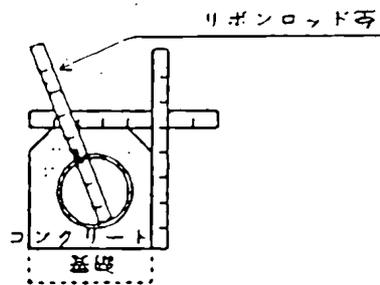


- (注) 1. 街きよます、L形用ます及び集水ますとも共通とする。  
2. 鉄筋コンクリート側塊使用の場合もこれに準じる。

## コンクリート基礎管きょ工

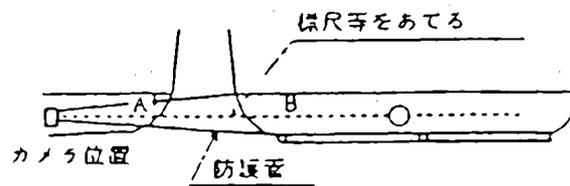


## 防護管きょ工



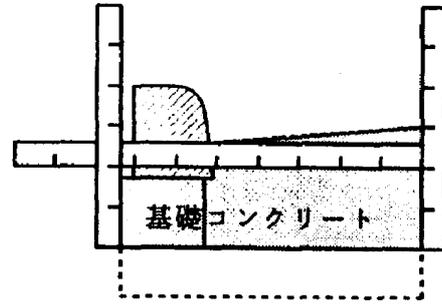
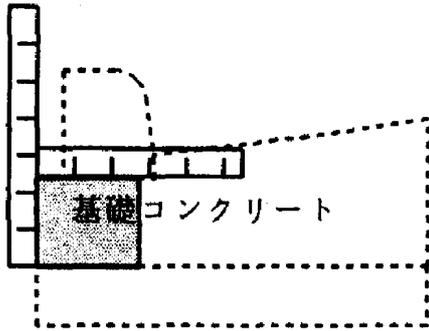
(注) 巻立部分の厚さも写す。

## 防護管きょ工延長の撮影方法



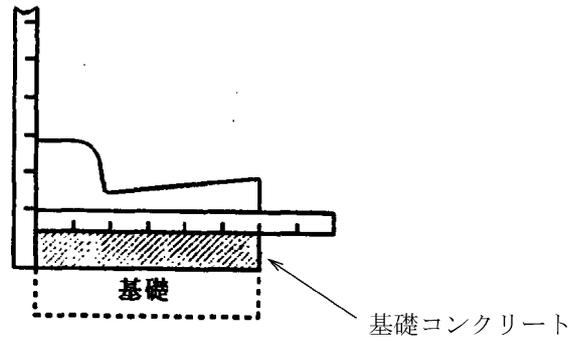
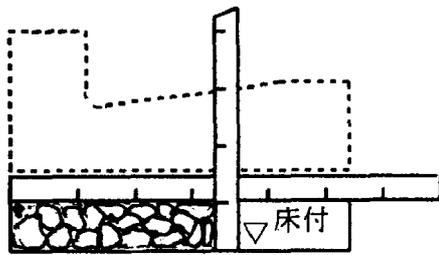
- (注) 1. 防護管延長の撮影は図のように全延長を写す。  
 2. A (起点)、B (終点) は、1により撮影したネガを拡大するか又はそれぞれ部分的に撮影すること。  
 3. カメラ位置はA、B間全景が写せる位置とする。

街きよ工



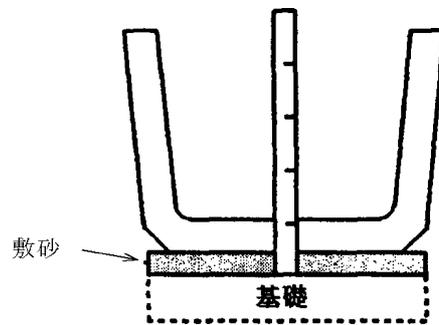
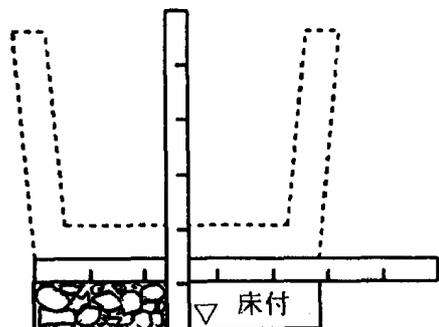
(注) 分離帯縁石工についても準じる。

L形溝工

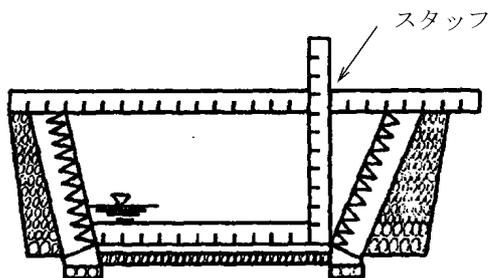


(注) コンクリート製品については測定しない。

U形溝工

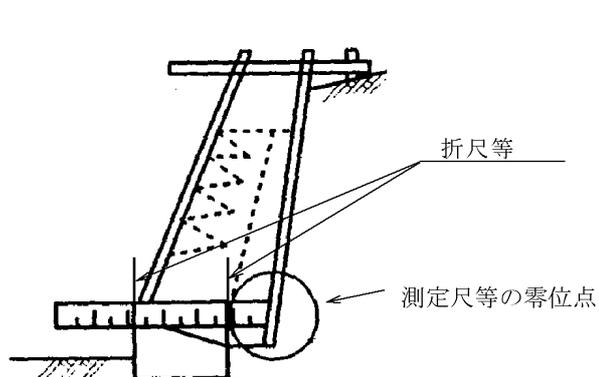


### 流路工

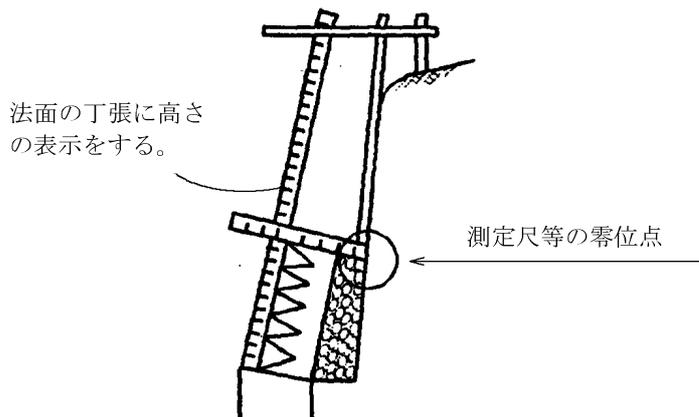


(注) 完了後測定できない場合に撮影。

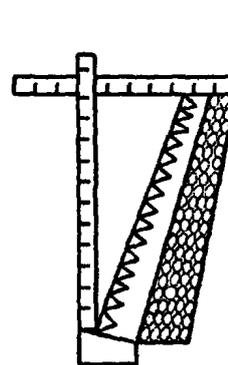
### 石積工



(注) 1. 測定尺等の目盛りの零位点を明確に写すこと。  
2. 暗い場合は照明を用いるか又は反射鏡を利用すること。

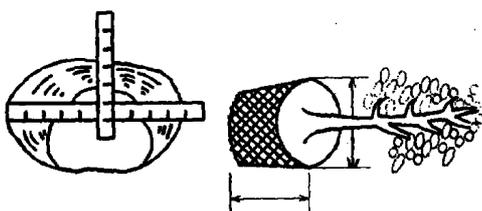


(注) 設計厚（石積底部、中間及び天端）を測定するときは法面に直角に測定尺をあてて写すこと。この場合、黒板に石積、裏込コンクリート等の寸法を明記すること。



(注) スタッフ等の水平、垂直に気をつけること。

### 植栽工





## 2 建築、電気設備、機械設備

- (1) 共通事項
- (2) 建築
- (3) 電気設備
- (4) 機械設備

この一覧表は、3,000 m<sup>2</sup>程度の庁舎を想定し作成されたものであり、クレーン等特殊設備を追加したものである。

それぞれの工事の撮影計画書を作成する場合は、これを参考とし、規模、現場の特殊性等を考慮し、撮影箇所・頻度等を決める。

### (1) 共通事項

工種	区分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備考
	施工の進捗状況	建物・外構等を同一位置・方向から撮影する	着手前、着手後からしゅん功まで月1回程度	必要に応じ高所からの俯瞰撮影を行う。
	敷地状況	工事敷地内外の状況 工事搬入路の状況 敷地境界、近隣建物	必要箇所数	家屋調査写真は別途処理する。
	障害物	埋設物等の障害物の処理状況とその寸法、位置	適宜	
	発生材	発生材の状況	適宜	土木工事の撮影箇所一覧表の建設副産物等のリサイクルの状況を参照のこと。
	災害及び事故	工事中災害及び事故が発生した場合の現況及び復旧状況	適宜	デジタル写真等を使用し、速やかに報告する。
	試験	工場、試験場等における試験状況	適宜	監督員の立ち会いを必要とする場合
	数量確認	使用数量の確認が必要な材料等	材料ごとに1枚	構造材料以外で、施工後特に数量確認が困難な材料に限る。 規格、製造業者名、商標等を入れて撮影する。

(2) 建築

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
仮設工事	仮設物等	1 境界石	1		1		各ポイントごと
		2 ベンチマーク	4	2	2		2方向
		3 仮囲い等の保安施設及び特殊仮設	4	2	2		特殊仮設は適宜
		4 地縄張り及びやりかた	2	2			2方向
土工	根切及び床付け	1 根切状況	1	1			深さが異なるごと
		2 根切深さ	1		1		〃
		3 床付け状態	1		1		〃
	山止め	1 矢板、腹起し、切梁等	4	2	2		切梁一段ごと2方向
2 特殊工法（柱列工法連続壁工法等）の場合は掘削機械、挿入鉄筋、スペーサー等		適				水替等は適宜	
事	残土処分	処分状況（仮置場等が指定されている場合）	1	1			
	基礎地業	割石張りの厚さ	部位別に1枚				
及び地業工事	<p><b>（割石張り厚さの撮り方）</b></p>						
	埋戻し・盛土	施工状況	適				施工前、締め固め状況

(注) 総：総撮影枚数，遠：遠景，近：近景，細：細部，適：適宜を、数字は撮影枚数を示す。

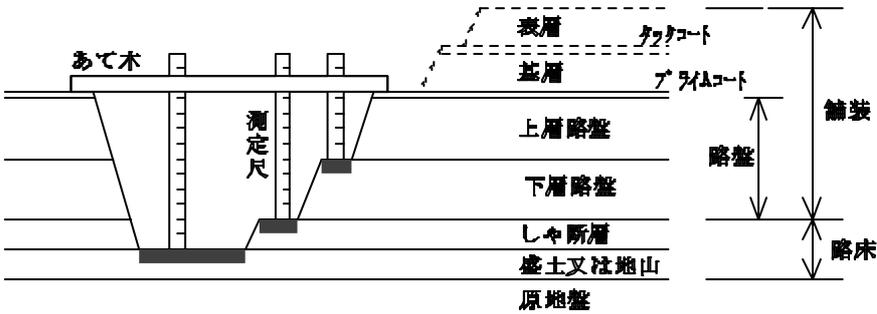
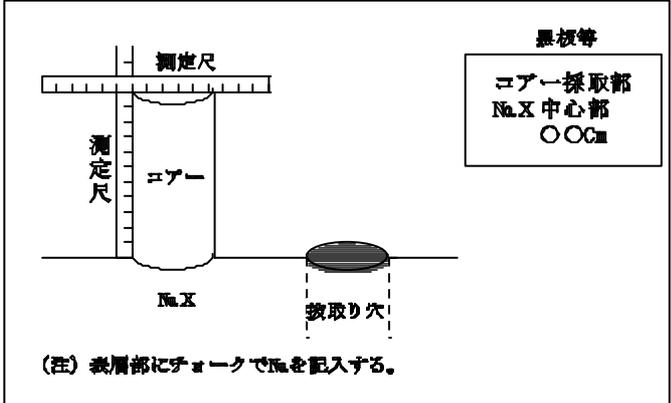
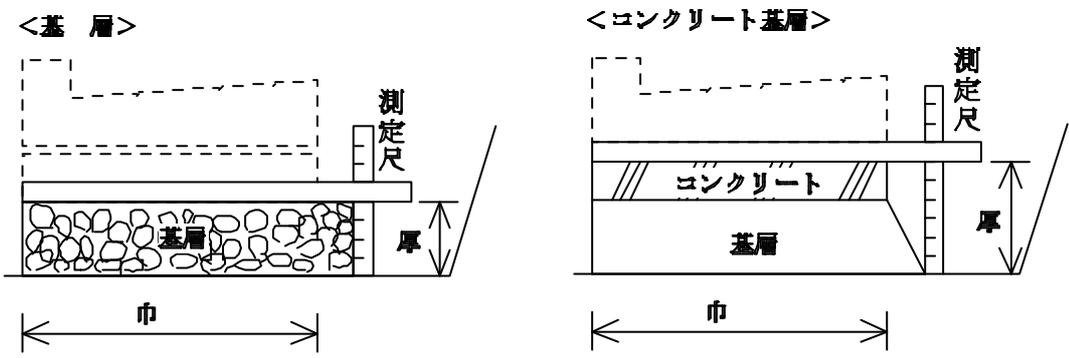
工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考																		
			総	遠	近	細																			
く い 工 事	材料	規格表示及び製作所の確認	2	1	1		くいの径及び種類の異なるごと																		
	試験ぐい	1 打込み状況	1	1			試験ぐいごと																		
		2 継手	1		1		継手ごとに施工後撮影																		
	載荷試験	実施状況	4	1	2	1																			
	既製コンクリートぐ い及び鋼ぐい	1 建込み管理状況	1	1																					
		2 貫入量測定状況	2		1	1	径の異なるごと																		
		3 継手作業状況	2		1	1	径の異なるごと																		
		4 継手部検査状況 (超音波探傷試験等)	2		1	1	径の異なるごと																		
		5 くい頭処理	3	2		1	処理中、処理後細部の写真は径 の異なるごと																		
		6 芯ずれの測定状況	2		2		2方向																		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="text-align: center;"><b>（くい継手の撮り方）</b></p> <table style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">異径等</td> </tr> <tr> <td style="border: none; text-align: center;">上くい</td> <td style="border: none; text-align: center;">くい</td> <td style="border: none; text-align: center;">くい</td> <td style="border: none; text-align: center;">くい</td> <td style="border: none; text-align: center;">←継手部分</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none; text-align: center;">下くい</td> <td style="border: none; text-align: center;">くい</td> <td style="border: none; text-align: center;">くい</td> <td style="border: none; text-align: center;">くい</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">（注）くい番号はチョーク、マジック等でく い本体に明瞭に表示すること。</p> </div>										異径等	上くい	くい	くい	くい	←継手部分		下くい	くい	くい	くい		
						異径等																			
	上くい	くい	くい	くい	←継手部分																				
	下くい	くい	くい	くい																					
埋込みぐい (セメントミルク 注入工法)	1 掘削状況	1	1			建込み管理状況を含む																			
	2 支持地盤の確認状況	1		1		電流計、計測等																			
	3 継手作業状況	2		1	1	径の異なるごと																			
	4 継手部検査状況 (超音波探傷試験等)	2		1	1	径の異なるごと																			
	5 くい頭処理	3	2		1	処理中、処理後 細部の写真は径の異なるごとに 処理後を撮影する。																			
	6 芯ずれの測定状況	2		2		2方向																			

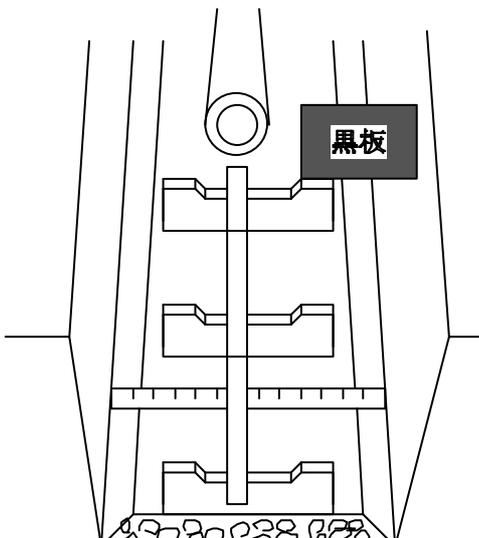
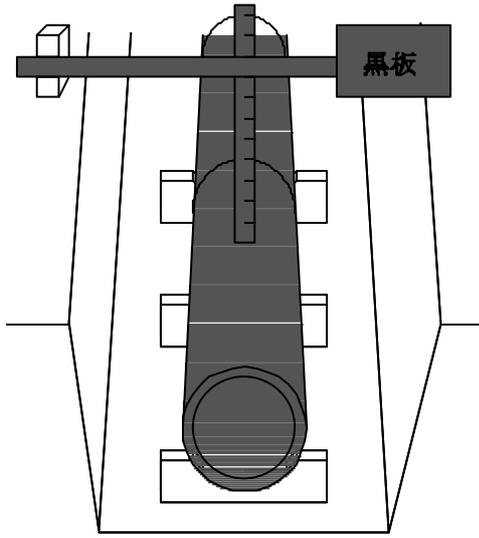
工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
く い 工 事	場所打ちコンクリートぐい	1 掘削状況	2	1	1		くい心セット状況を含む
		2 挿入鉄筋の組立状況 鉄筋建込み	4	2	1	1	フープ、ピッチ、継手長さ細部の写真は径の異なるごと
		3 検尺・コンクリート打設	2		2		近景は径の異なるごと
		4 くい頭処理	3	2	1		処理中、処理後 近景の写真は径の異なるごとに処理後を撮影する。
		5 芯ずれの測定状況	2	1		1	
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 工 事	鉄筋の組立  【共通注意事項】 ・配筋の本数 ・間隔 ・部材の厚さ ・かぶり ・継手  ※遠景及び細部は必要に応じ適宜撮影。	1 基礎（独立）		※	2	※	間隔、ダイヤ筋
		2 基礎（布）		※	2	※	2方向側面、内部
		3 基礎（ベタ）		※	2	※	形状の異なるごと、2方向
		4 地中梁（主筋端部・継手、スタラップ筋間隔）		※	2	※	形状・配筋の異なるごと
		5 柱（主筋下部及び柱頭部の処理、継手、フープ筋の間隔）		※	2	※	形状・配筋の異なるごと
		6 大梁（主筋端部・継手、スタラップ筋間隔）		※	2	※	形状・配筋の異なるごと
		7 小梁（主筋端部・継手、スタラップ筋間隔）		※	2	※	主筋、スタラップ各々の、端部、中央部
		8 スラブ （間隔・厚さ）		※	2	※	各階2方向
		9 片持ちスラブ （間隔・厚さ）		※	2	※	
		10 階段（間隔・端部）		※	3	※	段部、踊場、手摺
		11 壁		※	2	※	
		12 耐震壁（厚さ）		※	2	※	各階、ア150以上ダブル配筋
		13 開口補強		※	1	※	補強方法が異なるごと
		14 スラブ配筋完了後	2	2			2方向
		15 型枠の組立状況	4	2	2		コンクリート打設ごと
		16 材料	3	1	1	1	規格、径ごと

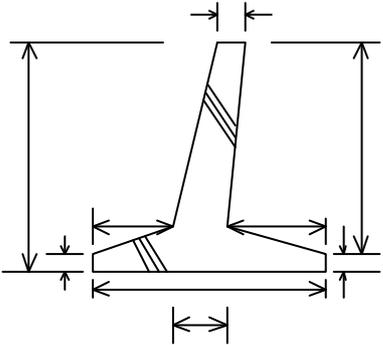
工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
鉄筋 コンクリート 工事	鉄筋の組立	17 圧接状況	4	2	2		遠景柱・梁近景抜取箇所
	コンクリート打設	1 試験状況	2		1	1	スランプ、空気量測定状況
			2		1	1	テストピース採取状況
		2 打設状況	1	1			各階
		3 打設面の仕上げ状況	2	1	1		
	4 養生	1	1				
鉄 骨 工 事	材料（工場）	1 積置状況	1	1			
		2 製造会社明, JIS 表示	1			1	
	鉄骨加工（工場）	1 原寸検定状況	3	1	2		近景テープ合わせ
		2 溶接部の検定状況（開先形状、 仮付け非破壊検査）	適				
		3 製品検査状況	2	1	1		
	建方	1 建方状況	1	1			各節工程の半ば
		2 建て入れ検査状況	2	1	1		
	高力ボルトの締付	締め付け状況	2		2		各1次締め、本締め
	アンカーボルト埋込み	固定状況	2		1	1	
	柱底均し仕上げ	仕上げ状況	2	1	1		
耐火被覆	1 施工状況	2	1	1			
	2 厚さ	2			2	柱、梁	
ブ ロ ック ・ A L C ・ P C 工 事	（ブロック） 材料	J I S 表示	1		1		種別ごと
		施工	2	1	1		
	（ALCパネル） 材料	厚さ、使用部位	3	1	1	1	床・壁等種別ごと
		施工	4	1	3		ファスナー部、開口部、コーナ ー
	（PCパネル） パネル製作（工場）	1 鉄筋組立	1		1		コンクリート打設直前
2 製品検査状況		2	1	1			
施工		5	1	4		ファスナー部、コーナ ー	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
防 水 工 事	材料	製造会社名、規格表示	1		1		材料ごと
	防水下地	清掃状況	1	1			
	防水層の施工 (アスファルト防水)	プライマー塗、張付け状況	適				重ね代、ドレン廻り、出隅入隅、張り仕舞
	防水層押さえ	1 ポリエチレンフィルム敷き	1	1			
		2 伸縮目地	3	1		2	部分設置高さ(水上・下)
	シーリング	材料・施工状況	2		1	1	プライマー、バックアップ材、シーリング材等
アスファルト防水以外の防水層の施工	アスファルト防水に準ずる	適					
石・ タイル 工事	はく落防止措置	1 張付け状況	3	1	1	1	
		2 つなぎ金物	3		2	1	
金 属 工 事	軽量鉄骨天井下地	取付け状況	3	1		2	
	軽量鉄骨壁下地	取付け状況	3	1		2	開口部付近, スタッド見込み他
	手摺り等	固定状況	1			1	
建具 工事	防火区画	隠ぺい部の状況	3	1	1	1	
仕 上 げ 工 事	材料	認定表示等	1			1	該当材料ごと
	施工	1 下地の状態 2 金物取付け時の埋込み又は溶接状況 3 建具の取付け状況 4 サッシ廻りモルタルづめ 5 塗装の層別記録	適宜 適宜 適宜 適宜 適宜				
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>(塗装施工中の撮り方)</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">異板等</div>  </div> <p style="text-align: center;">(注) 各層ごとにカラー写真とする。</p> </div>				

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
外 構	(舗装) アスファルトコンク リート舗装	1 路床の状況	1	1			千㎡ごと転圧状態
		2 路盤の確認	2	1	1		同上試掘測定
		3 プライムコート	1	1			同上散布後
		4 タックコート	1	1			同上
		5 表層の確認	2	1	1		同上転圧施工中
		6 基層の確認	2	1	1		同上
		7 コア採取状況	2		1	1	1,000㎡につき1組 (3箇所)
整 備 工 事	コンクリート舗装	1 路床の状況	1	1			千㎡ごと転圧状態
		2 路盤の確認	2	1	1		同上試掘測定
		3 路盤紙敷設状況	2	1	1		同上貼付施工中 近景は重ね代
		4 タックコート	1	1			
		5 配筋状況	1		1		
		6 表層の確認	2	1	1		コンクリート打込みの状況近景 はコンクリート厚
事	歩道舗装	1 路盤の確認	2	1	1		締め固め作業状態
		2 プライムコート及びタックコー ト	1	1			散布後
		3 表層の確認	2	1	1		施工状況、厚さ確認等

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
外 構 整 備		 <p>1 試掘測定は路盤転圧完了後に行う。 2 図中網掛け部分で転圧状態を確認出来るようにする。</p> <p>(コア採取状況の撮り方)</p>  <p>(注) 表層部にチョークでNo.Xを記入する。</p>		
	縁石・側こう等	1 基層 2 コンクリート基層	60mにつき1枚 巾、厚 60mにつき1枚 巾、厚	
事				

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
外 構 整	排水工事 (透水管敷設工事は 除く)	1 根切り、横木 2 管据付け状態	1 1		1 1	60mごと横木ピッチ 60mごと管天端高さ	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;横 木&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;管天端高さ&gt;</p>  </div> </div>						
備	マス、その他外構付 帯構造物	集水マス、支柱用埋筒礎石、角石、 砂場、防球柵、支柱基礎、その他 外構付帯構造物類	適 宜		深さ、基礎の状態等		
工 事	植栽工事	1 高木類	1		種類ごと 植穴形状及び計測状態、根巻き 計測状態		
		2 中木類	1		種類又は植群ごと 植込み施工状態		
		3 株物、芝類	1		植込み貼付け施工状態		
		4 客土	1		植群ごと 施工状態		
		5 土質改良	1		植群ごと 材料及び施工状態		
		6 施肥	1		植群ごと 材料及び施工状態		

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
外 構 整 備 工 事	擁壁工事 (高さ 1.2m 以下)	1 裏込材料 厚さ	2	1	1		40m毎
		2 基礎地業 巾、厚さ	2	1	1		擁壁断面の異なるごと
		3 型枠の組立て状況	1	1			コンクリート打設ごと
		4 配筋（底盤部）間隔	2	1	1		擁壁断面の異なるごと
		5 配筋（壁部）・水抜	1		1		擁壁断面の異なるごと 整間隔・継手
		6 テストピース採取、スランプ・ 空気量測定状況等		適 宜			
		7 躯体寸法の確認	1		1		擁壁断面の異なるごと
		8 間知ブロック	1			1	規格表示等
		<寸法確認>					

(3) 電気設備

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
仮設工事	仮設工事全体	1 切廻し配管・配線等の工事 2 機器の取付け状況 3 リース機器の据付け状況 4 その他	該当箇所ごとに 各室ごとに1枚 機器ごとに1枚	仮設工事の施工状況を後日確認できるようにする。
配管配線工事	埋込・いんぺい配管	1 コンクリート埋込部分及び天井裏のいんぺい配管の状況 2 配管及び位置ボックスのボンディング状況 3 インサート等の配管支持材の固定状況 4 プルボックス及び位置ボックス内の電線接続状況	各階 500 m <sup>2</sup> ごとに1枚 各階 500 m <sup>2</sup> ごとに1枚 各階 500 m <sup>2</sup> ごとに1枚 各階 500 m <sup>2</sup> ごとに1枚	
	特殊場所の配管	1 ガス、上記、粉じん危険場所の防爆処理状況 2 湿気の多い場所の防湿、防滴処理状況 3 塩害等のある場所の防食処理状況	該当箇所 10 箇所 当たり 1 枚 該当箇所 10 箇所 当たり 1 枚 該当箇所 10 箇所 当たり 1 枚	見えかくれする箇所を選んで撮影する。
貫通工事	電線・配管等の防火区画貫通部	防火区画を貫通する金属管、金属ダクト、バスダクト及びケーブルラックの耐火処理状況	該当箇所ごとに 1枚	容易に確認できない箇所とする。
器具取付工事	照明器具その他の器具の支持	1 躯体からの支持取付け状況 2 埋込支持取付の状況	各階 500 m <sup>2</sup> ごとに1枚 各階 500 m <sup>2</sup> ごとに1枚	
接地工事	A種、B種、C種及びD種接地	1 接地極の形状寸法及びその埋設状況 2 接地極と導線との接続状況	該当箇所ごとに 1枚 該当箇所ごとに 1枚	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
土 工 事 ・ 建 柱 工 事	根切及び床付け	1 根切状況 2 根切深さ 3 床付け状態	30m ごとに1枚 30m ごとに1枚 30m ごとに1枚	
	山留	1 矢板状況 2 掘削工法	30m ごとに1枚 工法ごとに1枚	機械掘、人掘
	残土処分	処分状況	適宜	
	埋戻し・盛土	施工状況	適宜	
	建柱工事	1 電柱、支線、支柱の根入れ或いは根かせの取付け状況 2 灯柱等の基礎施工状況	該当箇所ごとに1枚 該当箇所ごとに1枚	
	地中電線路	1 管等の寸法及び敷設状況 2 ハンドホール、マンホールの寸法及び施工状況 3 ケーブルの埋設位置確認材の埋設状況	区間30mごとに1枚 該当箇所ごとに1枚 区間30mごとに1枚	既製品を使用する場合は除く。
屋 上 施 設	避雷針突針部 空中線	1 避雷針突針部の取付状況及び避雷導体と建物構造体との接続状況 2 空中線、支持管及びこれなどと建物との取付状況	一箇所につき1枚 一箇所につき1枚	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
受変電・自家発電設備工事等	受変電・自家発電・蓄電池・中央監視制御設備工事等	1 機器据付のためのアンカーボルトの施工状況 2 防水層貫通箇所の処理状況	一機種ごとに1枚 該当箇所ごとに1枚	
	基礎工事	1 受変電、自家発電等の機器基礎の施工状況 地業・配筋・コンクリート等の施工状況	箇所ごとに3枚	
弱電設備工事	放送・電話・ITV・テレビ共視聴・火災報知・インターホ設備工事等	1 機器取付、配線施工状況 2 出来形	一機種ごとに1枚	
試験	試験実施状況	1 絶縁抵抗測定、接地抵抗測定、継電器試験、絶縁耐力試験及び動作試験実施状況 2 工場、試験場等における試験の状況 3 テレビジョン受信点における受像画面の状況 4 テレビジョン受信端末における受像画面の状況	測定又は試験の都度1枚 該当機種及び試験項目ごとに1枚 受信チャンネルごとに1枚 受信チャンネルごとに1枚	
その他	航空灯火工事	「航空灯火・電気施設工事共通仕様書」（運輸省航空局）による		

(4) 機械設備

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
仮工 設事	仮設物等	特別仮設	着手前から撤去まで工 程ごと	
土 工 事 及 び 地 業 工 事	根切り及び床付	建築の表による。	建築の表による	建築の表による。
	山留め	〃	〃	〃
	残土処分	〃	〃	〃
	基礎地業	〃	〃	〃
	埋戻し、盛土	〃	〃	〃
鉄 筋   コ ト ン 工 事	鉄筋の組立	建築の表による。	建築の表による。	建築の表による。
	コンクリート打設	〃	〃	〃
鋼 材 工 事	材料	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	材料ごと 規格ごと
	溶接加工	開先形状、仮付け等の状況	適宜	
配 管 工 事	材料	使用状況	全体1枚 材料ごと 細部1枚 規格ごと	隠ぺい部又は保温塗装前 材料ごと 規格ごと
	管の接合	1 各種接合の施工状況 2 異種管の接合及び伸縮管継手等	各種接合方法ごとで工 程ごとに2枚 施工箇所ごとに1枚	代表箇所 保温により隠ぺいされ る部分
	吊り及び支持	吊り状況、耐震支持状況等	各階ごと、500㎡ごとに 4枚	
	埋設配管	1 根切り、埋戻し状況及び床付け 2 給水管と排水管の交差 3 埋設表示テープの状況 4 埋設深さ 5 防食処理の状況	10m以内ごとに1枚 施工箇所ごとに1枚 10m以内ごとに1枚 計測時 10m以内ごとに2枚	施工中及び施工後
	防水層貫通部	貫通状況	施工箇所ごとに2枚	防水層施工前及び後

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
配管工事	躯体貫通部	1 スリーブ・インサート及び箱入れ箇所 2 エキスパンション部、防火区画	外壁等防水部ごと及び各階ごとに3枚 施工箇所ごとに1枚	コンクリート打設前の状況 隠ぺい箇所
	試験	水圧試験、満水試験、耐圧試験等の状況	その都度	
保温・塗装及び防錆工事	材料	使用状況	全体1枚 細部1枚	材料ごと 規格ごと
	保温	施工状況	保温の種別ごと及び工程ごとに3枚	コンクリート埋設部等は種別に係わらず工程ごと
	塗装	施工状況	塗装の種別ごと及び素地ごしらえから上塗りまで工程ごとに2枚	施工中及び施工後
	防錆	施工状況	防錆の種別ごと及び前処理から防錆処理まで工程ごとに2枚	施工中及び施工後
電気工事		電気の表による。	電気の表による。	電気の表による。
給排水衛生設備工事	器材	使用状況	全体1枚 細部1枚	器材ごと 規格ごと
	機器据付け	1 高所等の危険箇所及び水没箇所等 2 アンカーボルトの取付け状況 3 基礎の打設状況 4 レベル調整	施工後各2枚 機器1台ごとに1枚 工程ごと その都度	コンクリート打設前の状況
	衛生陶器の施工	和風大便器のコンクリート内埋込み保護状況	各階便所ごとで種別ごとに1枚	据付け後で穴埋め前
	本管接続等	水道本管分岐状況	撮影角度を変え3枚	埋戻し前
		下水道本管接続状況	撮影角度を変え3枚	埋戻し前
	排水トラップ	床下の配管トラップ	施工箇所ごとに1枚	防露前
	柵類	施工状況	種別ごとで10箇所以内ごとに1箇所を選定しその工程ごと	
	既設管の取合い	分岐等施工状況	撮影角度を変え箇所ごとに3枚	隠ぺい箇所

工種	区 分		撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
ガス設備工事	都市ガス	本管接続等	ガス本管分岐状況	撮影角度を変え3枚	埋戻し前
		配管	本表の配管工事による	本表の配管工事による。	本表の配管工事による
		試験	気密試験及び点火試験	その都度	
	液化石油ガス	材料	本表の配管工事による	本表の配管工事による。	本表の配管工事による
		配管	本表の配管工事による	本表の配管工事による。	本表の配管工事による
		試験	気密試験及び点火試験	その都度	
ダクト及び附属品工事	材料	使用状況	系統ごとに適宜	隠ぺい部又は保温塗装前材料ごと規格ごと	
	工法	各種工法	各種工法ごとで工程ごとに2枚	代表箇所の施工状況	
	ダクトの補強		補強の方法ごと	保温前	
	吊り及び支持	吊り状況、耐震支持状況等	各階ごと、500㎡ごとに4枚		
	躯体貫通部	スリーブ・インサート及び箱入れ箇所	外壁等防水部ごと及び各階ごとに3枚	コンクリート打設前の状況	
	ダクトのシール	多湿箇所のシール施工状況	系統ごとに2枚	施工中及び施工後	
	消音	内張り施工状況	施工箇所ごとに2枚	施工中及び施工後	
	外気取入れガラリ	防虫網等の施工状況	施工箇所ごとに1枚	ある場合で、施工後確認出来ないもの	
ダンパー類	防火ダンパーの躯体取付け状況	撮影角度を変え2枚			
空気調和設備工事	器材	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	器材ごと 規格ごと	
	機器据付け	1 高所等の危険箇所及び水没箇所等 2 アンカーボルトの取付け状況 3 基礎の打設状況 4 レベル調整	施工後各2枚 機器1台ごとに1枚 工程ごと その都度	コンクリート打設前の 状況	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
自動 制御 設備 工事	器材	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	器材ごと 規格ごと
	低圧屋内配線に該当する配線	電気の表による。	電気の表による。	電気の表による。
	空気配管	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。
	試験調整	試験調整の状況	その都度	
昇 降 機 設 備 工 事	器材	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	器材ごと 規格ごと
	機械室	1 マシンビームの躯体据付け状況 2 機器アンカーボルト埋込み施工状況 3 埋込み配管施工状況	施工箇所ごと 機器 1台ごとに1枚 撮影角度を変え2枚	なお、工場製作等に係る 部分は別途監督員の指示 により行うこと。
	昇降路	1 レール止めアンカーボルト埋込み施工状況 2 ピット部機器アンカーボルト埋込み施工状況 3 レール芯出し施工状況	要所を適宜 要所を適宜 要所を適宜	
	乗場	三方枠取付けアンカーボルト埋込み施工状況	各階 1枚	穴埋め前
	塗装	施工状況	塗装の種別ごと及び素 地ごしらえから仕上げ 塗り又は研磨・バフ仕 上げまでを工程ごとに 3枚	
	電気工事	電気の表による。	電気の表による。	電気の表による。

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
ク レ ー ン	鉄鋼部 (1) ガーダー、脚ト ロリーフレーム	部材曲がり、溶接部亀裂	施工箇所ごと	修繕工事は必ず施工前、 後を撮影すること 部品交換の場合は、新 旧部品をそろえて撮影す る。工場製作等に係る部 分は別途監督員の指示に より行うこと。以降全て 該当。
	(2) 走行、横行レー ル目	新替、頭部摩耗、継ぎ目部すきま、 溶接部亀裂	施工箇所ごと	
	(3) 梯子、手摺、踊 り場	破損、曲がり、腐食、脱落、溶接 部亀裂	施工箇所ごと	
	(4) 運転室	破損、曲がり、窓ガラス、床面の 損傷	施工箇所ごと	
	巻上装置 (1) 減速装置	歯車の歯面の状態、軸軸受けの摩 耗、新替	施工箇所ごと	
	(2) マグネットブレ ーキ	ドラム損傷、ライニング摩耗、継 ぎ手ボルト摩耗損傷、新替	施工箇所ごと	
	(3) 巻上ドラム	ロープ溝摩耗、損傷、ドラム軸受 け損傷	施工箇所ごと	
	(4) ワイヤロープ	素線の断線、キンク新替	施工箇所ごと	
	横行機械装置 (1) 減速装置	歯車の歯面の状態、軸軸受けの摩 耗、新替	施工箇所ごと	
	(2) マグネットブレ ーキ	グ摩耗、継ぎ手ボルト摩耗損傷、 新替		
	(3) 横行車輪	車輪フランジの変形、摩耗、踏面 の摩耗、軸受けの摩耗、新替	施工箇所ごと	
	走行機械装置 (1) 減速装置	歯車の歯面の状態、軸軸受けの摩 耗、新替	施工箇所ごと	
	(2) マグネットブレ ーキ	ドラム損傷、ライニング摩耗、継 ぎ手ボルト摩耗損傷、新替	施工箇所ごと	
	(3) 走行車輪	車輪フランジの変形、摩耗、踏面 の摩耗、軸受けの摩耗、新替	施工箇所ごと	
	(4) 足踏みブレーキ	ドラム損傷、ライニング摩耗、継 ぎ手ボルト摩耗損傷、レバー、ロ ッド等の摩耗、新替	施工箇所ごと	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
ク レ ー ン	塗装	施工状況	施工箇所ごと、塗装の種別ごと及び素地ごし らえから上塗りまで工 程ごとに2枚	
船	船体部 (1)船体	腐食、損傷、曲がり、亀裂	施工箇所ごと	修繕工事は必ず施工前、 後を撮影すること部品交 換の場合は、新旧部品を そろえて撮影する。以降 全て該当
	(2)艀装	腐食、損傷、曲がり、亀裂、漏洩、 新替	施工箇所ごと	
	(3)舵、プロペラ推 進軸、船尾管	腐食、損傷、曲がり、亀裂、新替	施工箇所ごと	
	機関部 (1)主機関、補機関 及びクラッチ	分解、組立の状態部品新替、清掃	施工箇所ごと	付属機器も含む。
	(2)管、弁類	腐食、損傷、新替	施工箇所ごと	
	電気部 (1)計気、配電盤類	点検、清掃、新替	施工箇所ごと	
	(2)電動機器	腐食、損傷、新替	施工箇所ごと	
	(3)発電機	点検、分解、組立	施工箇所ごと	
	浚渫部 バケット ラダー タンブラー コンベアー スパッド、ワ イヤローブ	腐食、損傷、曲がり、亀裂、分解、 組立、部品（ライナー、取り付け ボルト）新替	施工箇所ごと	
	塗装	施工状況	施工箇所ごと、塗装の 種別ごと及び素地ごし らえから上塗りまで工 程ごとに2枚	
水 門 及 び 陸 こ う	鉄鋼部 (1)扉体、車輪、タ ラップ、手摺り	腐食、損傷、曲がり	施工箇所ごと	修繕工事は必ず施工前、 後を撮影すること部品交 換の場合は、新旧部品を そろえて撮影する。工場 製作等に係る部分は別途 監督員の指示により行う こと。 以降全て該当
	(2)給油装置	腐食、損傷、新替	施工箇所ごと	
	(3)可動橋、管理橋	腐食、損傷、曲がり点検	施工箇所ごと	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
水門及び陸こう	機械部 門扉巻上装置 開閉装置 駆動装置	腐食、損傷、曲がり点検、分解、組立、新替	施工箇所ごと	
	機関部 エンジン 電動機	点検、分解、組立、新替	施工箇所ごと	
	塗装	施工状況	施工箇所ごと、塗装の種別ごと及び素地ごしらえから上塗りまで工程ごとに2枚	
排水機場	鉄鋼部 (1)ポンプ	点検、分解、組立、部品新替	施工箇所ごと	修繕工事は必ず施工前、後を撮影すること部品交換の場合は、新旧部品をそろえて撮影する。工場製作等に係る部分は別途監督員の指示により行うこと。 以降全て該当。
	(2)天井クレーンレール、建屋付属鋼構造物	腐食、損傷、曲がり点検	施工箇所ごと	
	機械部 油圧装置 送排風装置 天井クレーン 機械装置部	腐食、損傷、点検 分解、組立、新替	施工箇所ごと	
	機関部 エンジン 自家発用	点検、分解、組立、新替	施工箇所ごと	
	塗装	施工状況	施工箇所ごと、塗装の種別ごと及び素地ごしらえから上塗りまで工程ごとに2枚	